

FFG

ディスクロージャー誌

2019

統合報告書



あなたのいちばんに。

[わたしたちの目指すべき姿]

あなたのいちばんに。

- **いちばん身近な銀行**—— お客さまの声に親身に心から耳を傾け、対話し、共に歩みます。
- **いちばん頼れる銀行**—— 豊富な知識と情報を活かし、お客さま一人ひとりに最も適したサービスを提供します。
- **いちばん先を行く銀行**—— 金融サービスのプロ集団として、すべての人の期待を超える提案を続けます。

わたしたちには、どんなに時代が変化しても、頑なに守り、受け継ぐべき価値観があります。

お客さまのいちばん近くで、いちばん頼れる、いちばん先を行く銀行でありたい。わたしたちは、その想いをお客さまへの約束として、「あなたのいちばんに。」というスローガンに込めています。

この約束を実現していくことで、全てのステークホルダーの皆さまから、ともに価値を創造していくパートナーとして認められることを目指します。

[変わることをないわたしたちの志]

ふくおかフィナンシャルグループは、
高い感受性と失敗を恐れない行動力を持ち、
未来志向で高品質を追求し、
人々の最良な選択を後押しする、
すべてのステークホルダーに対し、価値創造を提供する
金融グループを目指します。

高い感受性と 失敗を恐れない行動力

様々な情報や世の中の動きにいつも好奇心のアンテナを張り、敏感に反応できる感受性と、様々な場面で失敗を恐れず行動を起こすチャレンジ精神を常に磨くことです。

未来志向で高品質を追求

意識をいつも少しだけ未来に置きながら、着実に進化させる。人々の役に立つための真に良い商品やサービスを最良のマナーで提供することがFFGの使命です。

人々の最良な選択を 後押しする

お客さまやパートナーと共に考え、悩み、選択のための後ろ盾となることが、FFGの目的であり、存在理由です。

わたしたちは、これまで築いてきた経営基盤を活かしながら、時代の変化を先取りし、さまざまなお客さまのニーズにお応えできる新たな金融サービス業を目指していきます。そのために、わたしたち一人ひとりが自分自身を高めていくという、揺らぐことのない「志」を言葉にしたものがグループ経営理念であり、グループの活動を方向付けるわたしたちの価値観です。

CONTENTS

FFGの大切な価値

FFGの概要

グループ概要	2
FFGの地域経済 ～九州のポテンシャル～	6
トップコミットメント	8
FFGの成長の軌跡	14
FFGの強み	16

FFGの価値創造

長期ビジョン達成に向けた経営の方向性	18
強みを活かして価値を創造するFFG	20
価値創造に向けた事業活動を支える基本戦略	22

価値創造の取り組み

重点的な取り組み ～デジタルトランスフォーメーション～	24
金融仲介機能の発揮に向けた取り組み	27
お客さま本位の業務運営に向けた取り組み	34
地域活性化に向けた取り組み	36
人材育成を通じた組織力向上と働きがいの向上	39
株主還元の実現	42

経営基盤

FFGにおけるCSR	43
CSRと経営戦略の融合	45
コーポレートガバナンス	47
コンプライアンスへの取り組み	50
リスクアペタイト・フレームワーク	52
リスク管理への取り組み	54
企業集団の状況	70
主な業務の内容	72

店舗一覧

福岡銀行	73
熊本銀行	81
親和銀行	85
十八銀行	91

●編集方針

ふくおかフィナンシャルグループは、このたび、投資家を中心としたステークホルダーの皆さまに、当社グループにおける短・中・長期的な価値創造をどのように実現していくかをご理解いただくため、「FFGディスクロージャー誌2019 統合報告書」を作成いたしました。編集にあたっては、国際統合報告評議会が提示する「国際統合報告フレームワーク」を参考にしました。

なお、詳細な財務データ等につきましては「FFGディスクロージャー誌2019 財務データ編」をご覧ください。

□報告対象

期間:2018年4月～2019年3月(一部、2019年4月以降の情報を含みます)

範囲:原則としてふくおかフィナンシャルグループおよび子会社・関連会社

□発行時期

2019年7月

■本誌は、銀行法第21条および第52条の29に基づいて作成したディスクロージャー資料です。

■本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境に関する前提条件の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

グループ概要

ふくおかフィナンシャルグループ(FFG)は、九州全域にネットワークを構築する広域展開型の地域金融グループです。

2007年4月に、福岡銀行と熊本ファミリー銀行(2013年4月、熊本銀行に商号変更)の2行でスタートし、同年10月には親和銀行、2019年4月には十八銀行がグループに加わりました。九州を地盤とする4つの地方銀行を中心に証券会社、カード会社、コンサルティング会社などをグループ傘下に持ち、地域金融機関として日本で最大規模を誇ります。

会社概要

2019年3月31日現在
(十八銀行を除く)

商号	株式会社ふくおかフィナンシャルグループ(略称:FFG)
本社所在地	福岡県福岡市中央区大手門一丁目8番3号
設立	2007年4月2日
資本金	1,247億円
従業員数 (連結ベース)	6,717人(銀行業5,757人、その他960人)
連結自己資本比率	10.23%(国内基準)
発行済株式総数	171,952,373株
上場証券取引所	東京証券取引所第一部、福岡証券取引所
証券コード	8354

事業内容

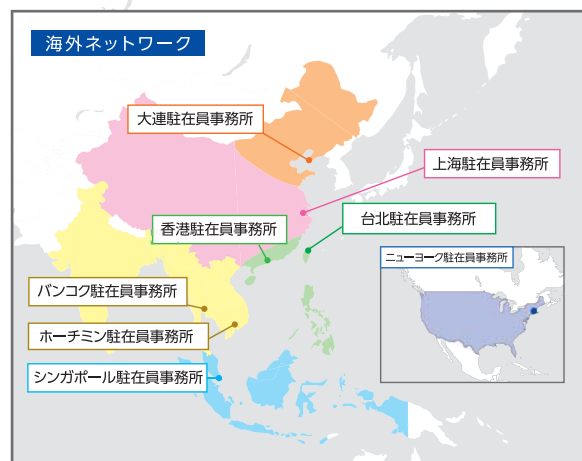
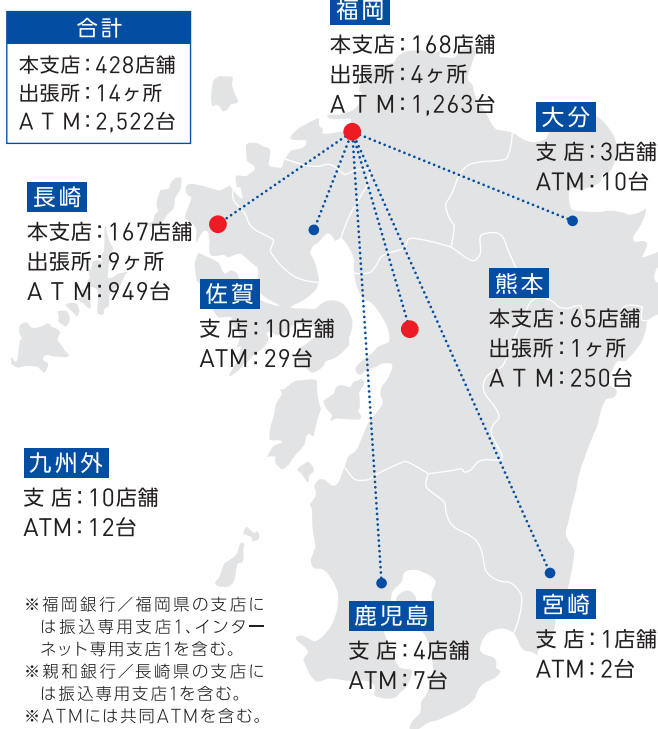
銀行業務(預金、融資、決済、預かり資産)を中心に、証券、保険、事業再生支援・債権管理回収などの総合的な金融サービスを通じて、法人・個人の双方にワンストップでお客さまの課題・ニーズに応えるソリューションを提供しています。

多様なニーズに対応できるグループ機能と人財力



グループ会社 全22社

拠点



2019年5月末現在

顧客基盤

グループ銀行は地盤である九州を中心に、個人・法人双方で、確固とした支持を獲得しています。

2019年3月31日現在
 (十八銀行を除く)

総 資 産	20兆8,397億円
総資金(預金+NCD)	14兆3,589億円
貸 出 金	13兆1,523億円
個人のお客さま	約576万先
法人のお客さま	約22万先

福岡銀行

本社：福岡県福岡市中央区天神二丁目13番1号

設立	1945年3月
資本金	823億円
従業員数	3,718人
事業所数	170店舗
連結自己資本比率	9.71%
総資金(預金+NCD)	10.6兆円
貸出金	9.8兆円

2019年3月末現在



取締役会長兼頭取 柴戸 隆成

株式会社福岡銀行は、明治10年(1877年)に九州初の銀行として設立された第十七銀行の流れを汲み、昭和20年(1945年)に県下の4銀行(十七銀行、筑邦銀行、嘉穂銀行、福岡貯蓄銀行)の合併により誕生しました。創業から140年以上、全国でも有数の歴史を有しております。

福岡は九州の経済・交通の要衝、またアジアの玄関口としても活気溢れる都市であり、同時に、歴史と文化、豊かな自然環境を享受できる、ビジネス環境と生活環境との調和が大きな魅力の一つです。福岡の街には、博多が誇る伝統芸能・博多祇園山笠のように、時代を颯爽と駆け抜ける力強さを感じます。

ブランドスローガン「あなたのいちばんに。」の旗印のもと、「いちばん身近な銀行」として役職員一丸となり、お客さまとともに持続的に成長する企業となるべく、汗を流してまいる所存です。

熊本銀行

本社：熊本市中央区水前寺六丁目29番20号

設立	1929年1月
資本金	338億円
従業員数	879人
事業所数	70店舗
自己資本比率	9.62%
総資金(預金+NCD)	1.4兆円
貸出金	1.5兆円

2019年3月末現在



取締役頭取 野村 俊巳

株式会社熊本銀行は、昭和初期に熊本に設立された2つの無尽会社(熊本無尽、肥後無尽)を起源とし、設立90年余りを数えます。平成25年(2013年)には、熊本ファミリー銀行から「熊本銀行」に商号変更を行いました。

熊本県は、阿蘇山を擁する「火の国」、そして豊かで美しい水源を誇る「水の国」としても知られていますが、2016年4月に二度の大規模な地震に見舞われました。以降、数多のご支援を賜りながら県民一体となり懸命に復旧・復興に向け取り組んでいるところです。足許ではさまざまな再開発が進行し明るい話題も多くなりましたが、被災者の方々の住宅再建、熊本が全国に誇る観光地である「熊本城」や「阿蘇地域」など、未だ復興途上のもも見られます。

ブランドスローガン「あなたのいちばんに。」の旗印のもと、役職員一丸となり、親しみやすさときめ細やかな対応で、熊本の創造的復興や更なる発展に貢献できるよう、努めてまいります。



親和銀行

本社：佐世保市島瀬町10番12号

設立	1939年9月
資本金	368億円
従業員数	1,160人
事業所数	88店舗
自己資本比率	9.96%
総資金(預金+NCD)	2.2兆円
貸出金	1.7兆円

2019年3月末現在



取締役頭取 吉澤 俊介

親和銀行は、明治12年(1879年)長崎県平戸市に創業した「第九十九国立銀行」を起源とし、昭和14年(1939年)に「親和銀行」の旗を揚げました。

長崎県は、江戸時代に西洋との唯一の玄関口となった面影が今なお残る観光都市・長崎市のほか、九十九島の美しい景観を誇る港町・佐世保市など、周囲を海に囲まれ自然豊かな土地です。当行は、佐世保の地において創業以来、街と時代の変化を見つめ、地域の皆さまとともに歩みを進めてきました。

これからも、ブランドスローガン「あなたのいちばんに。」の旗印のもと、役職員一丸となってお客さまのさまざまなニーズにお応えし、お客さまとともに持続的に成長する企業を目指してまいります。



18bank 十八銀行

本社：長崎市銅座町1番11号

設立	1897年7月
資本金	244億円
従業員数	1,289人
事業所数	100店舗
連結自己資本比率	11.43%
総資金(預金+NCD)	2.6兆円
貸出金	1.8兆円

2019年3月末現在



取締役頭取 森 拓二郎

株式会社十八銀行は、明治10年(1877年)に「第十八国立銀行」として創立以来、健全経営を旨とし、地域社会とともに歩んでまいりました。

長崎は地理的に東アジアに近く、古くからアジア諸国や西洋諸国との交流が盛んで、長崎特有の文化が育まれております。近年では「明治日本の産業革命遺産」、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録されるなど、あらためてその歴史・文化にスポットが当たっているほか、今後、九州新幹線西九州ルートの開業を控え、更に大きく生まれ変わろうとしています。

これからも地域経済の発展に貢献できるよう、ブランドスローガン「あなたのいちばんに。」の旗印のもと、役職員一丸となって全力で取り組んでまいります。

2020年10月に親和銀行と十八銀行を合併し、「十八親和銀行」を設立する予定です。

各銀行の詳細な財務情報については、財務データ編または当社ホームページ(<https://www.fukuoka-fg.com>)をご確認ください。

FFGの地域経済 ～九州のポテンシャル～

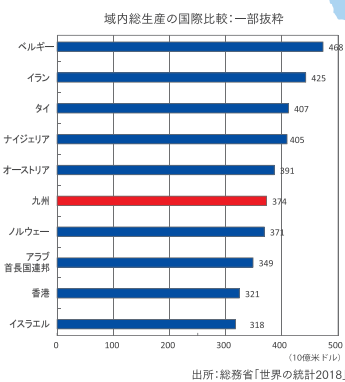
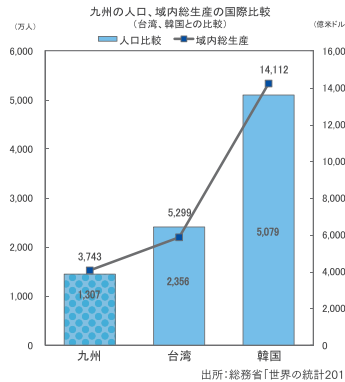
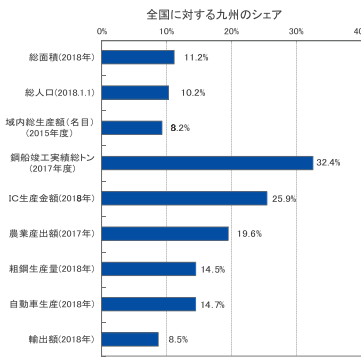
九州の経済状況 ～3大都市圏に次ぐ経済力～

ふくおかフィナンシャルグループは、九州を地盤とした広域展開型の地域金融グループです。広域展開型の地域金融グループのビジネスは、地盤とする地域経済との関係が密接であり、私たちの地盤である九州は、規模、産業構造、インフラの整備状況などにおいて、高いポテンシャルを有する経済圏となっています。また、地理的にアジアに近いことからさらなる経済圏の拡大が期待されています。こうした九州経済の恩恵を受けながら、エリア全体のさらなる成長を見据えた先進的なビジネスを展開するとともに、アジアを中心としたお客さまの海外進出サポートにも力を入れています。

■九州の経済規模

●九州はノルウェーと同程度の経済規模

- ・九州は、日本列島の南西部に位置し、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島県の7県で構成されています。
- ・九州の人口は1,307万人で(全国シェア10.2%)、面積やGDPなど各種経済指標も全国の約10%を占めており、「1割経済」と呼ばれています。
- ・九州の域内生産額は、ノルウェー(世界30位)と同程度の経済規模です。



※ふくおかフィナンシャルグループが本社を置く福岡県は、生産年齢人口(15歳以上65歳未満)の比率が九州で最も高く、県内総生産も九州全体の約4割を占めています。

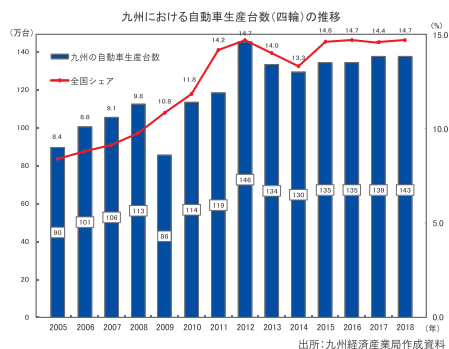
産業構造 ～拡がりをみせる成長産業～

九州の経済は、農業などの第1次産業から、製造業などの第2次産業、小売・サービス・観光などの第3次産業まで、バランスのとれた産業構造となっています。域内の農業産出額は1.8兆円(全国シェア20%)に達し、自動車や半導体の製造は国内の主要な生産拠点です。また、九州は医療・介護などのヘルスケア産業が盛んであり、水素や太陽光などの再生エネルギー分野でも数多くの研究・製造拠点が立地しています。さらに、福岡市と北九州市が国家戦略特区に指定されており、産業におけるイノベーションの創出や、新たな起業・創業が進むなど、九州全域への経済波及効果が期待されています。

■九州の主要産業

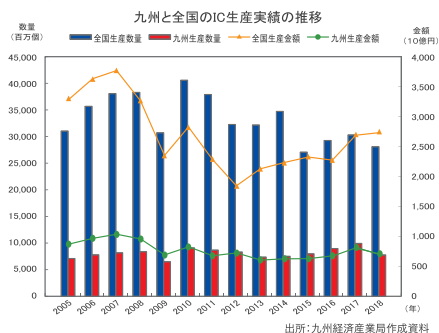
●九州は日本有数の自動車拠点

九州には、トヨタ自動車九州(株)、日産自動車九州(株)、ダイハツ九州(株)、日産車体九州(株)が操業し、自動車生産能力は150万台を超え、生産台数の全国シェアは約14%を占めます。また、二輪車の生産を行う本田技研工業(株)熊本製作所も立地しています。



●高付加価値の半導体

九州には、スマートフォン等の内蔵カメラ用途のCMOSイメージセンサに強みを持つソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)や、車載用集積回路(マイコン)に強みを持つルネサスグループ、家電・車載用途のパワー半導体に強みを持つ三菱電機(株)パワーデバイス製作所等が立地しています。



●九州は日本の食料生産基地

九州の農業産出額は全国の約2割を占めます。

主な農産物産出額(生産額の高い順)2016年 (単位: 億円)

農産物	九州	全国	全国比 (%)
1 肉用牛	3,015	7,334	41.1%
2 米	1,779	16,579	10.7%
3 豚	1,750	6,162	28.4%
4 ブロイラー	1,626	3,452	47.1%
5 トマト	767	2,574	29.8%

出所: 農林水産省「生産農業所得統計」

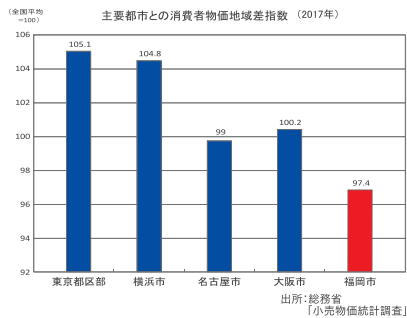
経済圏 ～域内経済を超え、拡大する経済圏～

近年、九州では九州新幹線の全線開通や高速道路の整備によって、「ヒト、モノ、シゴト」の流動化が進んでいます。この動きによって「域内経済」の一体化が加速し、さらに地理的に近いアジアの玄関口として「域外」にまで経済圏が大きく広がっています。韓国や中国、東南アジアからの観光客急増、また、九州企業のアジア進出が目立ってきているのもその一端です。

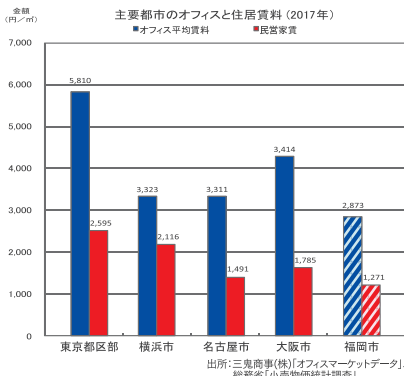
九州のインフラ情報

●九州のインフラの優位性

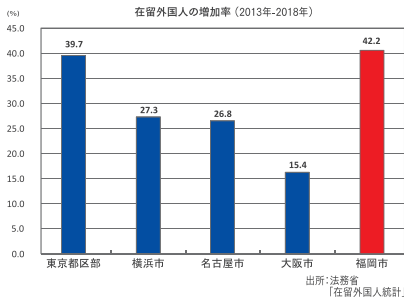
福岡市の消費者物価地域差指数は、主要都市部で最も低い。



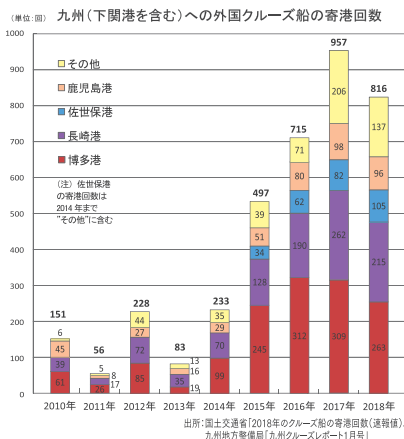
福岡市のオフィス、住宅賃料は、東京都区部の約半分。



福岡市の在留外国人の増加率は、主要都市部で第1位。



外国クルーズ船の寄港回数では、博多港が全国第1位、長崎港が第3位。



●アジア各国へのアクセスの利便性

アジアへのネットワークも充実。フライト時間は東京より約1時間以上短い。

	福岡	東京(成田)
空港～都心部	10分	50分
釜山(韓国)	55分	2時間30分
ソウル(韓国)	1時間30分	2時間45分
上海(中国)	1時間50分	3時間40分
台北(台湾)	2時間40分	4時間15分
香港	4時間	5時間30分
ホーチミン(ベトナム)	5時間30分	6時間55分
バンコク(タイ)	6時間	7時間15分
シンガポール	6時間45分	7時間45分

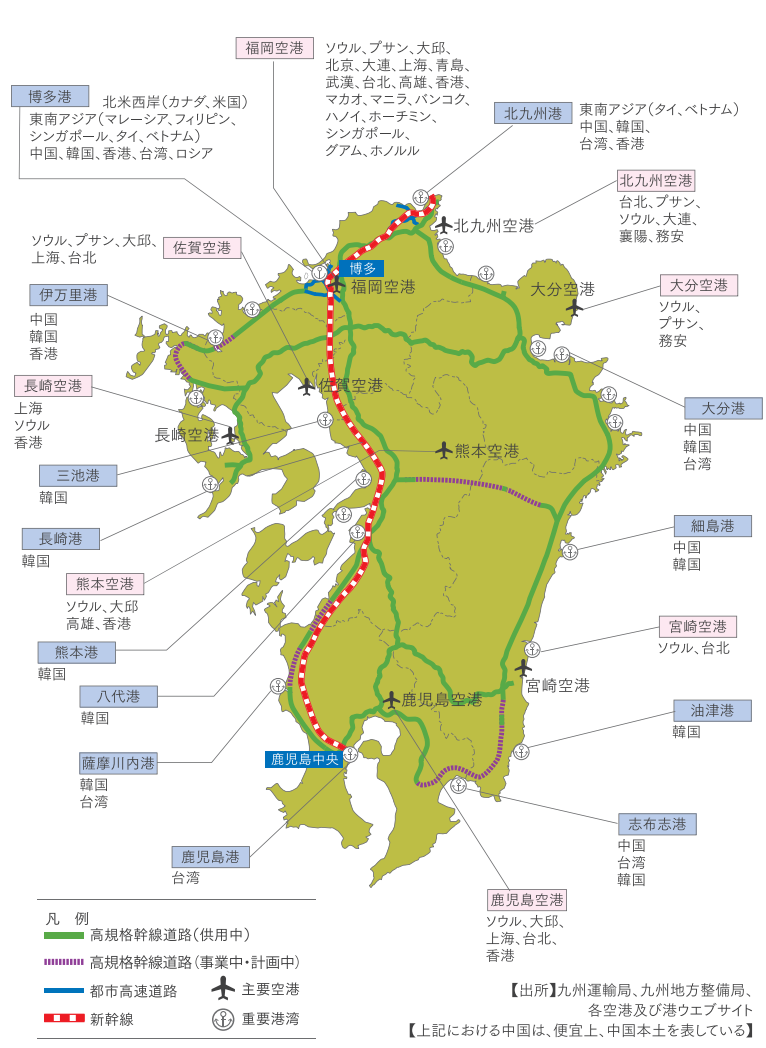
出所:各空港ウェブサイト

九州はアジア主要都市が国内主要都市と同じくらい近いところに位置している。

	国内主要都市	アジア主要都市
広島	208km	釜山(韓国) 209km
大阪	486km	ソウル(韓国) 539km
東京	881km	上海(中国) 883km
		青島(中国) 958km
		大連(中国) 986km
札幌	1,417km	北京(中国) 1,432km

出所:国土地理院ウェブサイト

●九州の高速道路/新幹線/国際航空路/国際コンテナ航路(2019年1月現在)



FFGの地域経済
九州のポテンシャル



トップコミットメント

信用創造 地域に貢

魅力的なマーケット九州

私たちふくおかフィナンシャルグループ(以下「FFG」)は、福岡県、熊本県、長崎県を中心とした九州全域にネットワークをもつ広域展開型の地域金融グループです。

九州は、日本の1割経済と言われるとおり、人口や面積・域内総生産など、全国の1割前後の経済規模を誇ります。また、地理的にも今後著しい成長が見込まれるアジア圏に近接しており、外国人の入国者数はここ5年で約4倍に増えるなど、アジアの玄関口として、インバウンド需要の更なる増加が期待されます。

九州全体を俯瞰しますと、北部の自動車・中部の半導体・南部の食品など、多様な産業が集積するバランスの取れたマーケットとなっています。また、九州新幹線の全線開通により福岡と鹿児島間の人の往来が従来から2割程度増加し、九州自動車道や鉄道の整備も着々と進行するなど、九州経済の一体化が今後ますます進んでいく見込みです。

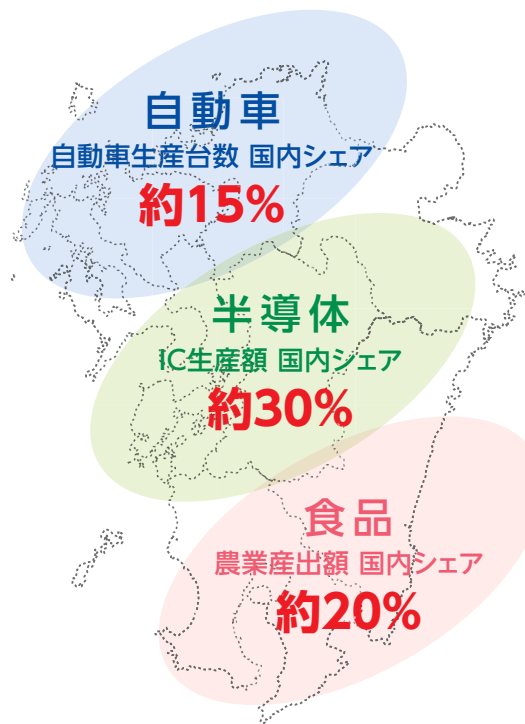
を通じて 献していくために



九州新幹線の全線開通



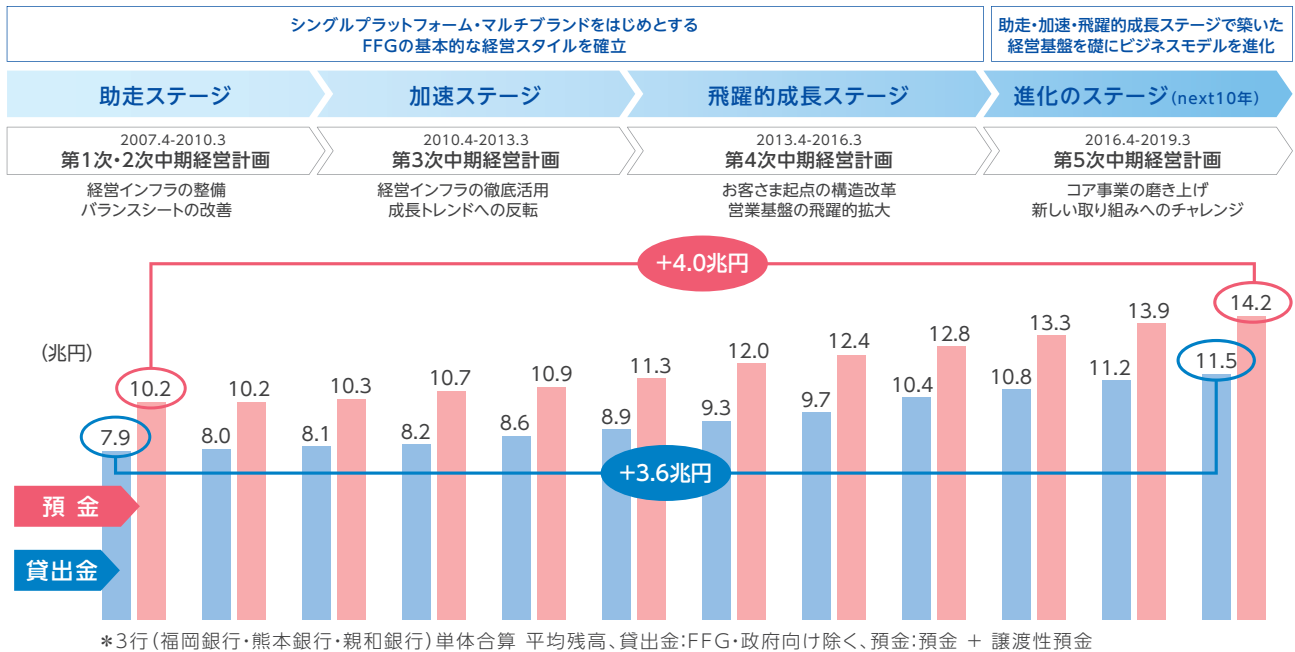
空港・高速道路・鉄道整備



FFGと福岡銀行が本社を置く福岡県では、国家戦略特区の規制緩和等の優位性を活かした「天神ビッグバン」や「博多コネクティッド」といった大型開発案件が進んでいることに加え、官民一体となったスタートアップ支援を通じた新たな成長の芽も期待されて

います。

このように、FFGが地盤とする九州は、全国的に見ても高いポテンシャルを秘めており、今後成長が期待できる魅力的なマーケットであると考えています。
(詳細はP.6～7 FFGの地域経済)



失敗を恐れない行動力・決断力

12年前の2007年4月2日、福岡銀行と熊本ファミリー銀行(現在の熊本銀行)は、九州における地域金融システムの安定化や両行の将来に亘る持続的成長の実現に向けて志をともにし、経営統合という大きな決断に踏み切りました。経営統合と同時にFFGを設立し、その半年後の2007年10月に親和銀行が合流しました。経営統合というこれまでに経験のないビッグプロジェクトを2つ同時に進めることは、相当な労力と時間を要するものでしたが、全役職員が一丸となって取り組むことにより、様々な困難を乗り越えてきました。

当初3年間の助走ステージでは、抜本的な不良債権処理や事務システム統合、店舗統廃合といった経営インフラの整備に取り組みました。その後の加速・飛躍的成長ステージでは、グループ全役職員が共有する価値観「グループ経営理念」と、それに基づくブランドスローガン「あなたのいちばんに。」を前面に押し出し、経営インフラを徹底活用することで、成長トレンドを確かなものとし、着実な成長を遂げてきました。

第5次中期経営計画(2016年4月～2019年3月)

からは、次の10年を見据えた「進化のステージ」に入りました。IoT*の進展やお客さまの行動変化といった急速な環境変化に対応していくため、新たなスマートフォンサービス「iBank事業」を立ち上げるなど、先進的な取り組みにも積極的にチャレンジしてきました。

そしてこの4月には、長崎を地盤とする十八銀行との経営統合を実現しました。2016年2月に基本合意を公表してから3年以上を要しましたが、経営統合を実現し経営体力を高めることで、将来に亘り長崎県経済の発展に貢献していきたいという強い思いを、地域の皆さまにご理解いただけた結果だと考えています。

こうして振り返ると、この12年間は決して平坦な道のりではありませんでしたが、常に時代の変化を先取りし、自分たちの理想を追い求めることで、さまざまな戦略オプションを展開してきました。その中で培ってきた、失敗を恐れず行動・決断するチャレンジングな企業風土こそ、他社にはない私たちの最大の強みであると実感しています。(詳細はP.14～15 FFGの成長の軌跡、P.16～17 FFGの強み)

*あらゆるものがインターネットにつながる仕組み

健全な危機感を持ち変化をチャンスに

最近の世の中の動きを見て概括して言えることは、デジタル技術の急速な進化が、さまざまな産業でディスラプション、つまりは創造的な破壊を起こしているということです。例えば、シェアリングエコノミーと言われる概念で、宿泊やタクシーの配車に関して、既存の競争ルールを壊したのは新設の企業です。デジタル技術の進化は、これまで企業の規模に応じて存在していた競争格差を無くし、事業拡大に要する限界的なコストを着々と低減させていますので、いろいろなプレイヤー、例えば、新興の企業でも市場に参入すること、新しい産業分野へ進出することを容易にしています。

格付会社S&Pが選んだトップ企業500に留まり続ける平均期間は、約50年前の1964年には33年でしたが、2016年には24年、2027年には12年まで縮まるとされています。この数字が意味するものは、支配的な地位を築いてきた大企業であっても、その優位な地位を保てる期間は短期化しているということです。

これからは、こうした外部環境の変化にスピーディーに対応して成長の機会を掴まなければなりません。先が読めない、お金がかかると防衛的に考えるのではなく、商品・サービスの開発など、お客さまの利便性向上のための投資は積極化して、やってみてうまくいかなければ変える、Trial&Errorの姿勢で臨んでいこうと考えています。

従業員には、“健全な危機感”を持って日々の業務に取り組んでほしいという話しをしています。変化を恐れるのではなく、現状をしっかりと受け止め、適切な手を打ち、強い意思を持って自ら変化していこうという意味です。

最近、報道などでは金融機関の将来にネガティブなイメージをもって語られることもありますが、全国

に地域金融機関は64行あり、昨年度の最終利益は合計で約6,300億円です。1行平均にして100億円の産業は、他業界を見渡してもそれほど多くはないと思います。

変化は脅威ですが、同時にチャンスでもあります。この荒波をどう乗り越えていくかという非常に重要な局面において、現在よりも将来に軸足を置いて、どれだけの人やモノに投資をできるかが、私たちが競争力を高め、勝ち残っていくために最も必要なことだと考えています。

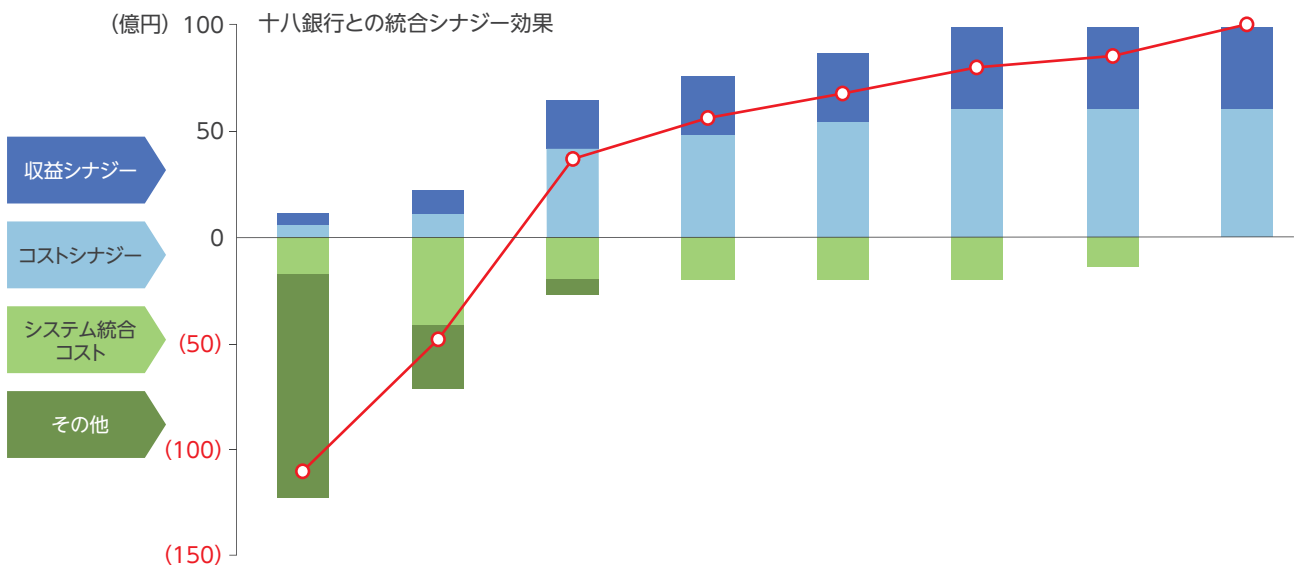
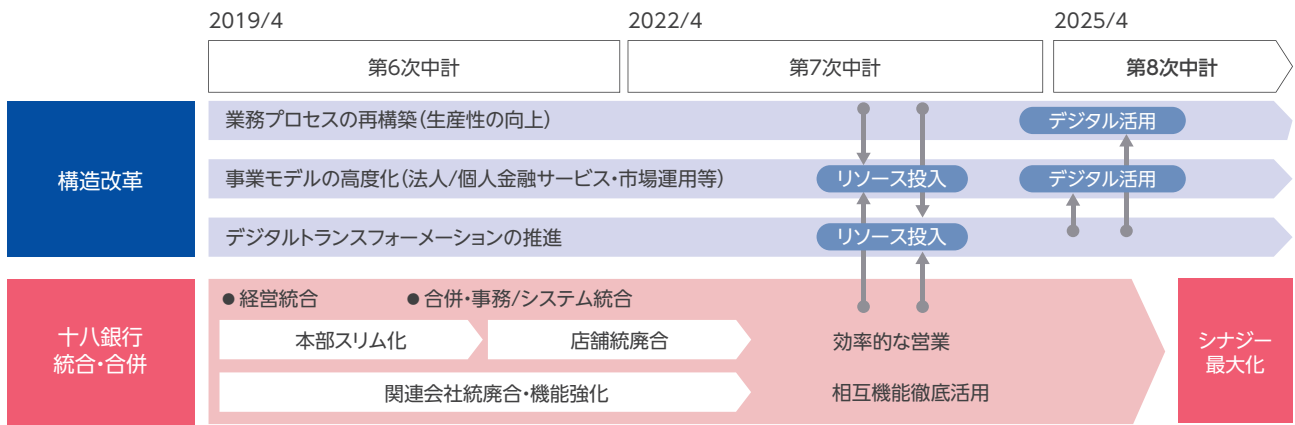
インナーコミュニケーションの重要性

近年、重点的に取り組んでいる「デジタル戦略」や「人財育成」は、まさに会社の将来のための投資であると考えています。変革をリードしていく人財、高度なソリューションを提供できる人財、デジタルの専門人財を育てるためには、社内に限らず、外部企業の知見やノウハウを取り込んでいくことも重要です。

現在、私たちが稼ぐ収益は、営業店を中心とした融資や資産運用といった伝統的な銀行ビジネスによるものであるため、デジタル技術を取り込むことで、こうした既存ビジネスの更なる飛躍を目指しています。加えて、世の中の産業構造の変化に合わせて銀行も変わりチャンスをつかむために、新たな分野に資金や人を投入しています。

こうした銀行の取り組みに関し、「なぜ、今これやらないといけないのか」といった施策の背景や意義を皆で共有し、考え、意識を合わせていくことが、従業員のやりがいやモチベーションの向上、組織として本来の力を発揮するには不可欠だと思います。

そして、リスクを恐れずに新しいことにチャレンジする精神や企業風土を、すべての戦略の土台とし、組織の活性化や企業成長の原動力にしていきたいと考えています。



持続的な成長に向けて

この3年間、進化の「第1ステージ」として取り組んできた第5次中期経営計画では、営業面・管理面双方においてさまざまな取り組みを実施してきました。

営業面では、事業性評価を通じた中小企業向け貸出金の積上げや、個人取引における資産形成・資産管理ニーズの喚起による営業基盤の拡大など、相応の成果をあげてきました。

また、現段階では収益に直結しているわけではありませんが、新たな取り組みにも積極的にチャレンジしてきました。先ほど触れたiBank事業やオープンイノベーションに注力し、先進的なデジタル技術を持つ

外部企業との接点やビジネス機会を広げ、サービスの高度化に繋げてきました。

管理面では、リスクアペタイトフレームワークの構築や地銀初となる先進的格付手法「AIRB」の導入など、リスク管理の高度化も進めてきました。

この4月からは、進化の「第2ステージ」として第6次中期経営計画をスタートさせています。FFGが成長軌道を描く上での大きな柱は、「構造改革によるトプラインの引上げ」と「十八銀行との経営統合によるシナジーの最大化」の2つです。

1つ目の柱となる「構造改革」では、前中計から取り組んできた「業務プロセスの再構築」を更に推し進め、現在の業務の2割程度の効率化を図ることで、捻出

した人や時間といった経営資源を成長分野へ投入していきます。同時に、全社を挙げたデジタルトランスフォーメーションの推進を通じて、先端のデジタル技術をフルに活用しながら、法人・個人の金融サービスや市場部門における事業モデルを高度化させ、トップラインを引き上げていきます。

2つ目の柱となる「十八銀行との経営統合」については、今中計の当初2年間はコストが先行しますが、最終年度からプラスに転換し、営業による相乗効果やシステム経費の削減等によって、最終的には100億円という大きなシナジー効果を実現していきます。

この2つの戦略オプションによって生み出される効果を、これまで積上げてきた経営基盤に融合させていくことで、成長軌道を確認なものにしていきたいと考えています。経営環境が急速に変化していく中、利益成長によって今後も中長期的に企業価値を向上させていくためには、成長投資が不可欠です。自己資本の健全性を維持していく上で必要となる資本を確保した上で、不確実性が高い中でも成長分野に積極的に投資していくことが安定的な利益成長に繋がると考えています。

資本活用の具体例としては、デジタル分野への投資や新事業の展開、異業種を含めたアライアンス強化など、既存ビジネスのみならず、従来の延長線にはない新たな事業領域へのチャレンジを検討していきたいと考えています。

株主還元については、この成長投資とのバランスを考慮した上で、安定的な利益成長による継続的な配当・増配を基本スタンスとしています。

今中計期間中は、経営統合に係るコストや成長分野への投資が先行する、いうなれば、将来の飛躍に向けた準備期間となります。次期中計以降は、その果実を享受し持続的な成長が実現できるよう、中計で掲げる施策を確実にやりあげていきます。

おわりに

私たち地域金融機関の使命は“信用創造”であり、地域社会に安定的な金融システムを提供し、地域の発展やお取引先の事業成長をサポートしていくという点において、極めて重要な役割を担っています。信用・信頼という言葉は社内でも良く使う言葉ですが、これは先輩方から受け継いだ最大の財産であり、これまで培ってきた信頼が、現在のFFGが持つ、地銀トップクラスのお客さま基盤に繋がっていると考えています。

私たちは、事業活動の基本方針として『地域経済活性化への貢献』と『FFG企業価値向上』の好循環サイクルの実現を掲げています。地域の発展なくして地域金融機関の成長はありません。この基本方針に則り、環境面や社会面における地域社会のさまざまな課題を解決していくことで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

今後とも、株主、お取引先をはじめ、ステークホルダーの皆さまのご期待にお応えすべく、役職員一丸となって業務に邁進してまいります。なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年7月

株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
取締役会長兼社長

柴 戸 隆 成

FFGの成長の軌跡

経営環境

低金利環境

- バゼルII規制
- 郵政民営化
- 保険窓販全面解禁
- リーマンショック
- 欧州経済危機
- 九州新幹線全線開通
- 東日本大震災

シングルプラットフォーム・マルチブランドをはじめとする
FFGの基本的な経営スタイルを確立

助走ステージ

経営インフラの整備・バランスシートの改善

2007.4-2010.3
第1次・2次中期経営計画

加速ステージ

経営インフラの徹底活用・成長トレンドへの反転

2010.4-2013.3
第3次中期経営計画

営業

- 人員の再配置・効率化
- コンサル子会社設立
- 中小企業・個人取引本格化
- 旧前田証券の完全子会社化

インフラ

- 店舗統廃合(56店舗)
- 熊本銀行・親和銀行 事務・システム統合
- 全店舗リニューアル(ブランディング)

財務

- 会社分割(約1,300先)
- 不良債権比率改善(5%台→2%台)
- 連結納税導入

企業風土

- PMI調査(社内外)・第三者評価による定期点検
- あなたのいちばんに。プロジェクト
- 東北ボランティア活動

FFGのあゆみ

		〈2007年度〉	〈2009年度〉	〈2012年度〉
規模	総資産	11.3兆円	11.8兆円	13.3兆円
	総貸出金平残 ^{※1}	7.9兆円	8.1兆円	8.9兆円
	総資金平残	10.2兆円	10.3兆円	11.3兆円
収益性	当期純利益	13億円	284億円	321億円
	ROE	0.26%	5.26%	4.97%
効率性	OHR ^{※2}	62.5%	58.9%	53.4%
	経費	1,181億円	1,138億円	1,009億円
	人員	7,920人	7,519人	6,640人
健全性	不良債権比率	4.98%	2.60%	2.81%
	自己資本比率	8.76%	10.32%	12.26%

※1 FFG・政府向け除く ※2 経費÷業務粗利益×100

●異次元緩和(質的/量的緩和)導入 ●マイナス金利導入	超低金利環境の長期化
●NISA導入 ●iDeCo	貯蓄から投資への流れ
●バーゼルⅢ規制	異業種の銀行業への参入本格化
●日本再興戦略 ●SDGs	サステナビリティ貢献への期待
●消費増税(8%) ●熊本地震 ●ブレグジット	

助走・加速・飛躍的成長ステージで築いた
経営基盤を礎にビジネスモデルを進化

培ってきた強み

飛躍的成長ステージ

お客さま起点の構造改革・営業基盤の飛躍的拡大

2013.4-2016.3
第4次中期経営計画

進化のステージ(next10年)

コア事業の磨き上げ・新しい取り組みへのチャレンジ

2016.4-2019.3
第5次中期経営計画

●地域再生・活性化ネットワーク

●新CRM・タブレット導入

●ATM全面更改(約2,000台)

●収益構造改革(高収益商品等)

●あなたのいちばんに。プロジェクト2nd

●iBank事業スタート

●ベンチャー支援子会社設立

●保険子会社設立

●業務改革による業務プロセス見直し

●無人店舗出店

●のれんの一時償却(▲948億円)

●AIRB導入

●熊本地震復興支援

●R&D子会社設立

失敗を恐れない企業風土

健全な危機意識を持ちつつ、
高い感受性と失敗を恐れない行
動力・決断力を有するカルチャー

シングルプラットフォーム・
マルチブランド

規模の利益と効率性を同時に
追求できる地銀の経営統合に
最も適した経営スタイル

高度かつ多様な人材

高い専門性と多様なスキルを
兼ね備え、最適なソリューション
が提供できる人材

グループ総合力

お客さまやお取引先のあらゆる
ニーズにお応えできる関連
会社を含めた総合金融力

広域かつ
稠密なネットワーク

九州全域をカバーする広域展
開型 地域金融グループ

確固たる営業基盤

お客さま本位の営業により構
築した地銀トップクラスのお客
さま基盤

(2015年度)	(2018年度)	2007年度対比
16.4兆円	20.8兆円	+9.5兆円
10.4兆円	11.5兆円	+3.6兆円
12.8兆円	14.2兆円	+4.0兆円
447億円	516億円	+513億円
5.81%	6.63%	+6.37%
55.9%	56.2%	▲6.3%
1,000億円	1,004億円	▲177億円
6,570人	6,570人	▲1,350人
2.17%	1.68%	▲3.30%
8.75%	10.23%	+1.47%

FFGの強み

培ってきた強み

内 容

失敗を恐れない企業風土

健全な危機意識を持ちつつ、
高い感受性と失敗を恐れない
行動力・決断力を有するカルチャー

2007年4月、福岡銀行と熊本ファミリー銀行(現在の熊本銀行)によるFFG設立と同時に、グループ全社員の統一的な価値観となるグループ経営理念と、それに基づくブランドスローガン「あなたのいちばんに。」を掲げました。その半年後の2007年10月に親和銀行が合流し、これまでに前例のない3つの銀行を傘下に持つ広域展開型金融グループが誕生しました。

2019年4月には十八銀行との経営統合を実現し、九州全体での金融

シングルプラットフォーム・ マルチブランド

規模の利益と効率性を同時に追求できる
地銀の経営統合に最も適した経営スタイル

FFGは、福岡銀行・熊本銀行・親和銀行・十八銀行の4つの銀行で形成されており、福岡・熊本・長崎の各県において、地域の皆さまに古くから親しまれてきた各行の歴史やブランドを維持しながら、一方で、事務システムや商品・サービスといった内面を共通化することで、4つの銀行をあたかも1つの銀行のように運営する「シングルプラットフォーム・マルチブランド」

高度かつ多様な人財

高い専門性と多様なスキルを兼ね備え、
最適なソリューションが提供できる人財

FFGは、異なる歴史や文化を有する各銀行で培ってきた営業基盤や情報、ノウハウ等を結集し、相互の強みを活用することで、人財やカルチャーの融合を図ってきました。FFGでは、「従業員は企業の財」という意味を込めた“人財”という言葉を使用しています。この言葉のとおり、企業の成長のためには、お客さまのニーズにお応えできる高い専門性と多様なスキルを兼ね備えた人財が必要であり、そのために人への投資を積極的

グループ総合力

お客さまやお取引先のあらゆるニーズに
お応えできる関連会社を含めた総合金融力

FFGは、全22社の関連会社を有し、証券、保険、コンサルティングをはじめ、マーケティングやベンチャー支援といった、お客さまや取引先企業のあらゆるニーズにお応えできる総合金融グループです。これだけの機能を自前で備えている金融グループは珍しく、銀行と関連会社を含めた組織力が他社にはないFFGの強みです。また、グループ経営にあたっては、各銀行や関連会社を含めた「グループ全体最適」の考えのもと、グループ

広域かつ稠密なネットワーク

九州全域をカバーする
広域展開型地域金融グループ

FFGが地盤とする九州は、経済規模が約44兆円で日本の1割の経済と呼ばれています。基幹産業である自動車・半導体・農業の生産拠点が多数集積しているほか、最近では再生可能エネルギーやヘルスケアといった新たな産業の芽も育ち始めています。また、域内経済の一体化が進むとともに、地理的に近いアジアとの経済交流も活発で、インバウンド需要など、今後の成長が期待できる魅力的なマーケットです。

確固たる営業基盤

お客さま本位の営業により構築した
地銀トップクラスのお客さま基盤

FFGは、設立から3年間の助走ステージでの経営インフラ整備やバランスシート改善を経て、加速ステージ(2010年)に入り、ブランドスローガン「あなたのいちばんに。」を前面に出したお客さま本位の営業に取り組んできました。

法人取引においては、高い専門性を有する人財力と多様な機能を有する組織力を活かし、中小企業(オーナー)が抱える課題解決に注力し、個人

成 果

<p>システムの安定化と地域経済活性化を目指しています。</p> <p>また、IoTの急速な進展やお客さまの行動変化に対応していくため、2016年4月に他地域へのマルチバンク展開を可能とするiBank事業を立上げるなど、先進的な取り組みにも積極的にチャレンジしてきました。</p> <p>FFGは、失敗を恐れず、時代の変化を先取りした戦略オプションを選択・実行していくことで、絶えず進化を続けていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営統合 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 2007年4月 熊本ファミリー銀行(現在の熊本銀行) ☑ 2007年10月 親和銀行 ☑ 2019年4月 十八銀行 ● 会社分割による不良債権との訣別 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 不良債権比率:5%台→2%台へ改善 ● iBank事業(全国の地銀8行が参画)
<p>という特有の経営スタイルを確立しています。</p> <p>これは、お客さまや地域社会へのコミットメントを維持しながら、規模の利益や効率性を同時に追求できる、地方銀行の経営統合に最も適した経営スタイルです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 規模の利益(2007年度→2018年度) <ul style="list-style-type: none"> ☑ 連結当期純利益:+513億円 ● 効率性の追求(2007年度→2018年度) <ul style="list-style-type: none"> ☑ 経費:▲177億円 ☑ 人員:▲1,350人 ☑ OHR:▲6.3%
<p>に行ってきました。</p> <p>今後も、これまで培ってきたダイバーシティの土壌を活かし、異業種との人財交流や多様な人財・働き方に応えるための評価・処遇設計などを通じて、事業戦略と外部環境の変化を踏まえた適切な人財マネジメントを行っていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ウェルエスマネジメントトレーニー制度 <ul style="list-style-type: none"> ☑ FP1級取得者:約400名 ● 女性管理職 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 管理職全体の5.0%(57名) ● キャリア採用者数 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 145名(うちデジタル・IT専門人財42名)
<p>一体での運営体制を構築しています。</p> <p>2018年7月には、金融サービスの高度化に関する研究開発を担う「R&Dビジネスファクトリー」を設立し、2019年5月には、次世代バンキングシステムの構築を担う「ゼロバンク・デザイン・ファクトリー」を設立するなど、今後も将来の環境変化を踏まえたグループ機能の強化に努めていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 2018年7月 R&Dビジネスファクトリー設立 ☑ 2019年4月 人材紹介業務への参入 ☑ 2019年4月 リース機能追加(十八銀行) ☑ 2019年5月 ゼロバンク・デザインファクトリー設立
<p>FFGは、この九州を一つの経済圏と捉え、九州経済の約6割を占めるマザーマーケット、福岡県・熊本県・長崎県を、それぞれの銀行が隅々まで「面」でカバーするとともに、福岡銀行が持つ九州他県のネットワークを「線」で結ぶことで、九州全域を継ぎ目なくカバーする「広域展開型地域金融グループ」です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内店舗数:428拠点 (地銀総資産上位10行平均 255店舗) ● 海外拠点数:8拠点 ● ATM数:2,500台超
<p>取引においては、充実した商品ラインアップや利便性の高いサービス提供を通じて、お客さまからの支持を獲得することで、営業基盤の飛躍的な拡大を図ってきました。</p> <p>今後も、お客さまのニーズにマッチした最適なソリューションを提供していくことで、持続的な成長を続けていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 総貸出金平残:+3.6兆円(2007年度→2008年度) ● 総資金平残:+4.0兆円(2007年度→2008年度) ● 法人取引先数 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 約22万先 ● 個人取引先数 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 約576万先

長期ビジョン達成に向けた経営の方向性

長期ビジョン

持続的に高い競争力・成長力を実現する

ザ・ベスト リージョナルバンク

進化のステージ(2016.4~)

第1ステージ
第5次中期経営計画(2016.4-2019.3)

進化に向けた取り組みの加速化

進化の具現化

新しい取り組み
へのチャレンジ

● iBank事業の展開



● キャッシュレスへの
取り組み(YOKA!Pay)



● オンラインレンディング(ファストパス)

● デジタルトランスフォー
メーションの推進
(銀行ビジネスそのもの
を再定義)

● デジタル化のエンジン
構築
(データ利活用/API基盤
利活用/アジャイル開発)

コア事業の
磨き上げ

● 事業性評価への積極的な取り組み
(中小企業向け貸出金平残+0.7兆円)

● 資産形成・資産管理ニーズの喚起
(積立投資信託先数+3万件)

● 資産運用のスペシャリスト育成
(ウェルスマネージャー+約200名)



● 業務プロセスの再構築
→約2割の業務を効率化
(ペーパーレス/印鑑
レス/バックレス/セルフ
取引拡大)



(収益曲線のイメージ)

十八銀行との
経営統合

● 経営統合

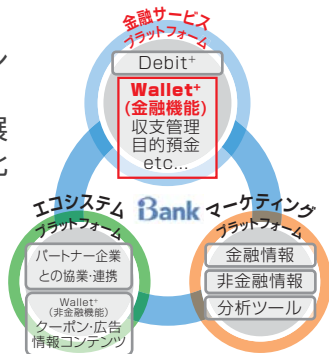
あらゆる変化に柔軟に対応できる組織になるとともに、人財力とデジタル技術を活用し、金融の枠を超えてお客さまのために行動することで、お客さまの成長と地域経済の発展に貢献する金融グループ

第2ステージ

第6次中期経営計画(2019.4-2022.3)

更なる事業領域拡大に向けた基盤構築

- オープンイノベーションの積極化
(iBankマルチバンク展開の拡充/デジタル化支援/ベンチャー支援)



経営資源の投入

- 事業モデルの高度化
 - ☑ 法人/個人金融サービスの高度化
(総貸出金平残 +1.0兆円、投資信託残高 +0.5兆円)
 - ☑ 市場運用の高度化

- 親和銀行と十八銀行の合併
(新銀行設立)

第3ステージ～

第7次中期経営計画～(2022.4～)

コア事業におけるトップライン引き上げ
従来の延長線上ではない新たな成長の実現

- 金融の枠を超えたサービスの提供/事業展開
(お客さまの行動変容に即した革新的なサービス)

新たな事業の成長領域

コア事業の成長領域

- 統合シナジー最大化へ向けた取り組み

強みを活かして価値を創造するFFG

ふくおかフィナンシャルグループは、経営環境が大きく変化する中、これまで培ってきた強みを活かして事業を展開し、総合的な金融サービスの提供を通じて価値を生み出しています。

経営環境の変化

人口減少・少子高齢化

労働力の減少
マーケット縮小
長生きリスク

低金利環境の長期化

預貸金を中心とした
ビジネスへの逆風

デジタル技術の進展

IoT促進、消費者行動の変化、
デジタルネイティブ台頭、
新たな競争相手出現

法改正・規制緩和

競合の拡大、
事業領域拡大の可能性

サステナビリティへの貢献への期待

SDGs対応

培ってきた強み (INPUT)

失敗を恐れない 企業風土

【グループ経営理念】
ふくおかフィナンシャルグループは、
高い感受性と失敗を恐れない行動力を持ち、
未来志向で高品質を追求し、
人々の最良な選択を後押しする、
すべてのステークホルダーに対し、
価値創造を提供する
金融グループを目指します。

【ブランドスローガン】
あなたのいちばんに。

【コアバリュー】
・いちばん身近な銀行
・いちばん頼れる銀行
・いちばん先を行く銀行

シングルプラットフォーム・マルチブランド (グループ全体最適の追求)

高度かつ 多様な人財

グループ 総合力

広域かつ 稠密な ネットワーク

確固たる 営業基盤

シングルプラットフォーム

マルチブランド



ふくおかフィナンシャルグループ

ガバナンス	リスク管理	共通の 事務システム	内部管理態勢	商品サービス 企画
-------	-------	---------------	--------	--------------

商品・サービスラインナップの共有

証券会社、カード会社、
コンサルティング会社など

福岡銀行

熊本銀行

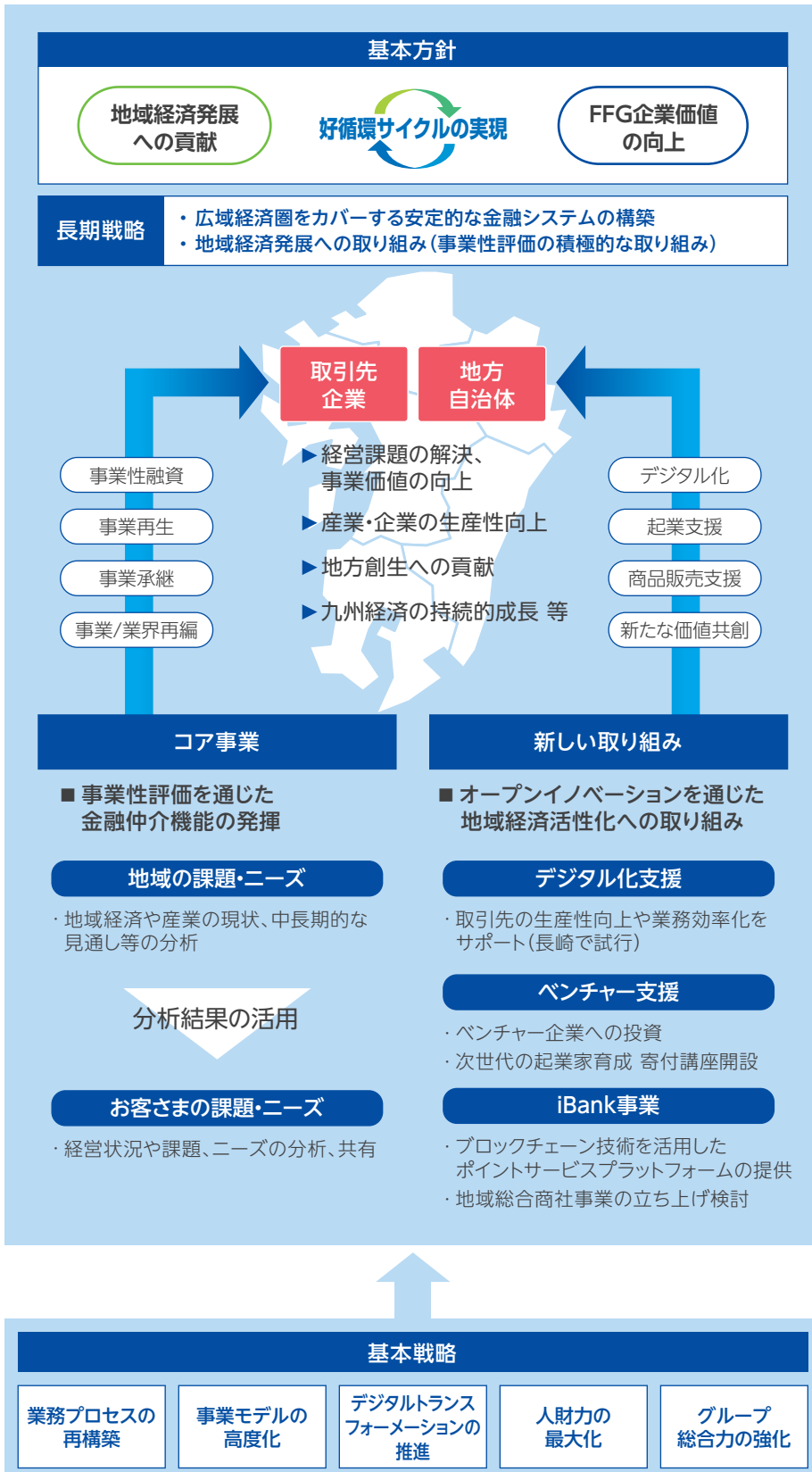
親和銀行

十八銀行

お客さま・地域社会

事業活動 (BUSINESS ACTIVITIES)

価値創造 (Value)



金融サービスを通じた
お客さまの課題解決

地域経済の
活性化・発展

専門性の高い
多様な人財と
働きがいの向上

株主還元の充実

社会・環境課題の
解決の貢献

強みを活かして価値を創造するFFG

価値創造に向けた事業活動を支える基本戦略

お客様の行動の変化やニーズの多様化に対応した基本戦略を着実に実行することにより、地域経済発展への貢献と企業価値向上の好循環サイクルの実現を目指します。

低

お客様ニーズ

若年層・現役層

デジタルと親和性の高い 金融サービス

預金

決済

ローン

少額融資

デジタルネイティブ世代等の若年層や現役層は、PCやスマホを通じたネットと消費が一体となった簡単で便利且つ安価なサービスを自ら選好

異業種からの新規参入者(プラットフォーム、小売業、FinTech企業等)が伝統的な銀行業務を代替

お客様基盤が縮小する可能性

FFGのスタンス

お客様基盤の維持・拡大

店舗ネットワーク等
(FFGの強み)



デジタル技術
(非対面チャネル)

FFGの強みである店舗・ATM等の充実したネットワークと先端のテクノロジーを活用したアプリ等の非対面チャネルを効果的に組み合わせ、異業種とは一線を画したワンストップのプラットフォームを形成

お客様利便性・体験価値の向上

異業種の参入障壁

富裕層・中小企業

コンサルティング・ ライフプランニング

資産形成

資産管理

相続

経営支援

富裕層、中小企業、オーナー層等は、抱える課題が複雑化且つ多様化し、Face to Faceでの人との対話を重視(デジタルでの代替は難しい)

既存金融機関(メガバンク・地方銀行・信託銀行等)との競争激化

**他社のサービスに劣後して
競争力が低下する可能性**

競合との差別化 (ビジネスモデルの進化)

人財力

グループ
総合力

高度化

お客様接点

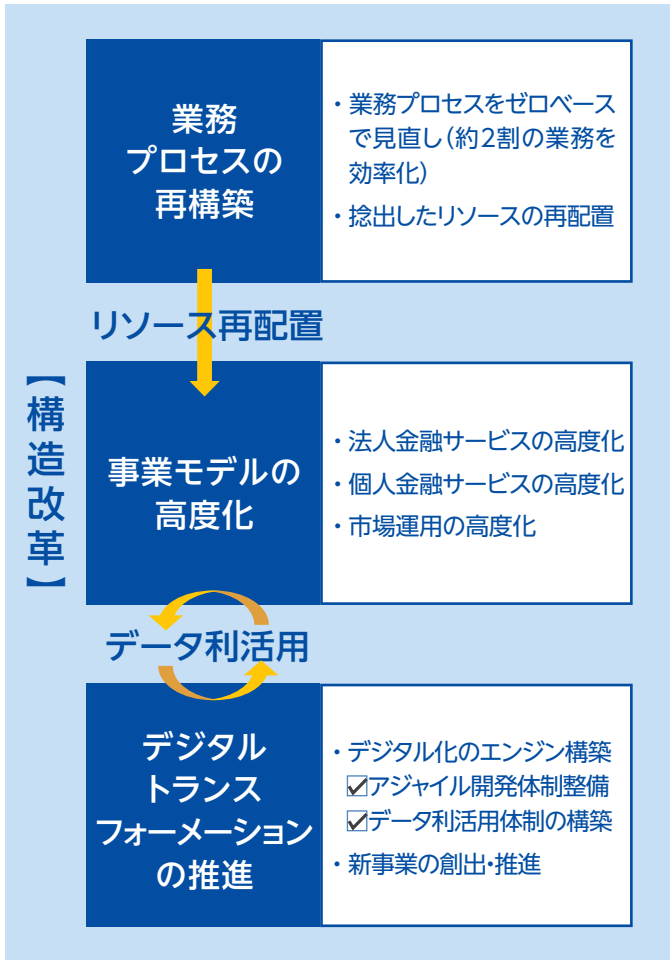
デジタル
技術

お客様と対話する時間を増やし優位性を確保するとともに、時代の変化の中で多様化するお客様の課題やニーズに的確かつスピーディーに対応できる人財を育成し組織力を更に高めていくことで、FFGのビジネスモデルを進化

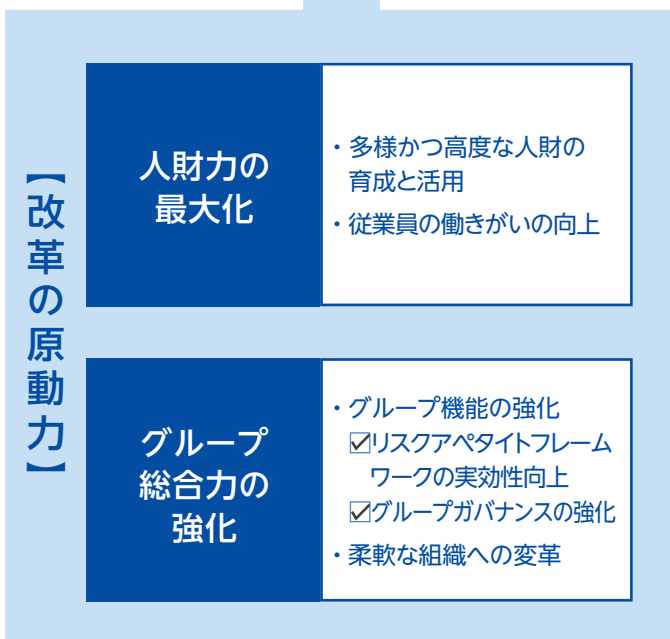
**競合の追随を許さない
競争力の実現**

高

基本戦略



構造改革を下支え



FFG企業価値向上

目標指標(2021年度)

収益性	連結当期純利益	575億円
	ROE	6%程度
健全性	自己資本比率(AIRB基準)	12%程度
効率性	連結OHR	60%程度

【参考】

成長性	総貸出金平残*	13.9兆円
	総資金平残	18.3兆円

*FFG・政府向け除く

資本の最適活用

健全性維持に必要な資本の確保を前提に、企業価値向上に向けた積極的な成長投資を実施

株主還元の充実

安定的な利益成長による継続的な配当(維持・増配)

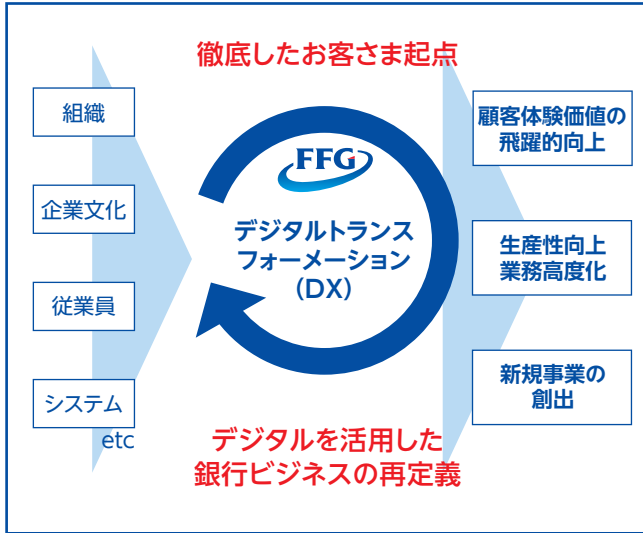


地域経済発展への貢献

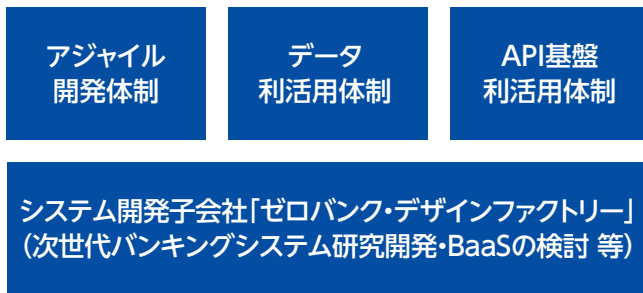


重点的な取り組み～デジタルトランスフォーメーション～

デジタルトランスフォーメーションの推進



デジタル化のエンジン構築(競争優位の源泉)



当社グループでは、デジタル技術を活用した新しい取り組みに積極的にチャレンジしてきました。しかし世の中の変化のスピードが今後ますます加速することが想定され、その流れはあらゆる業界でビジネスルールを大きく変えており、金融業界においても新規参入企業との競争が激化しています。

当社グループでは、この状況を他社との差別化をはかる大きなチャンスであると捉えています。全社横断で、業務プロセスや意思決定方法、お客さまへの提供価値といった銀行ビジネスそのものを再定義し、自らを抜本的に変革していく「デジタルトランスフォーメーション」を推進し、従来の延長線上ではない新たな成長を目指します。

そのために、まず競争優位の源泉となる「デジタル化のエンジン」を構築していきます。行内外のデータを集約・分析し情報の価値化を図る「データ利活用体制」の構築や、お客さま起点で迅速かつ柔軟に商品・サービスの投入・改善を行っていく「アジャイル開発体制」の整備などを進めていきます。

また、この5月に、サービスの企画立案からシステム開発・データ活用までを一元的に担うシステム開発子会社「ゼロバンク・デザインファクトリー」を設立しました。従来の制約条件を取り外してゼロベースで設計する、次世代バンキングシステムの研究開発を進めるとともに、金融機能等をさまざまな事業者に対しサービスとして提供する「BaaS^(※)」の展開を検討するなど、新事業の創出・推進を目指します。

※BaaS(Banking as a Service)金融機能・商品等をさまざまな事業者に対しサービスとして提供

〈オープンイノベーションへの取り組み〉

デジタル化支援

当社グループ内で取引先のデジタル化にかかる経営課題を解決する体制を整え、まずは、長崎県で試行を始めています。その状況を踏まえ、福岡・熊本両県への展開も検討していきます。



地元大学との連携



九州大学とタッグを組み、大学の研究成果を基にしたベンチャー企業の創出を目的とする教育プログラムを開発

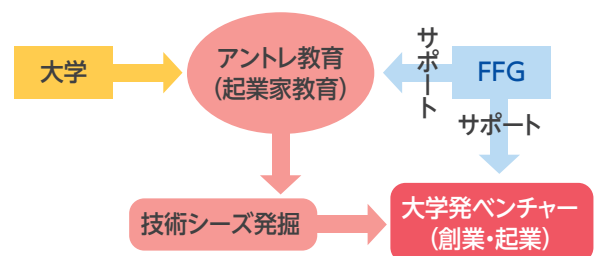
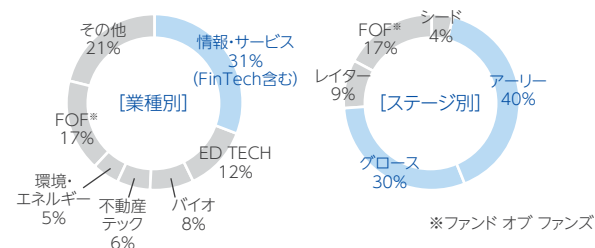


長崎大学の学生を主対象として、次世代のアントレプレナー人材を育成する寄付講座を開設(2019年10月予定)



FFGベンチャービジネスパートナーズでの投資

あらゆる業種・ステージのベンチャー企業に投資
投資先企業 43社 ファンド投資 7先 総投資額 28億円

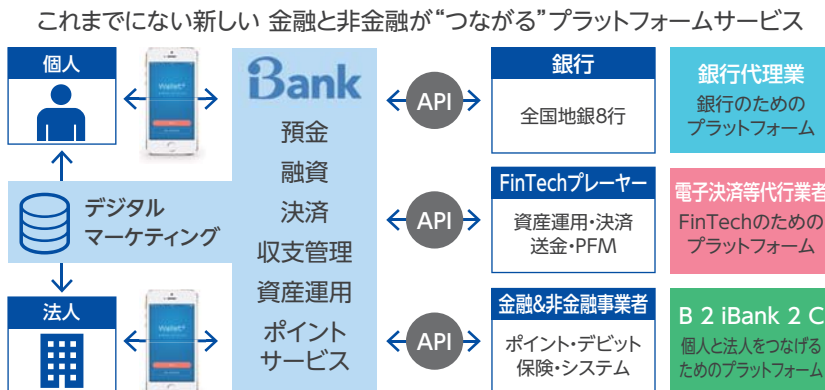


iBank事業

Interview!



iBankマーケティング株式会社
代表取締役社長
永吉 健一さん



iBankマーケティングホームページ



お金に色をつけることで、新しい体験を

今から5年程前、柴戸社長から「10年後の銀行がどうなっているかを考えてほしい」とのリクエストを受けて数名の社員が集まり、「iPhoneのようなイノベティブな金融サービスを創りたい」との想いを胸に、iBankのプロジェクトをスタートさせました。現在では60名を超える組織となり、システム開発経験者やデータサイエンティスト、広告代理店、デザイナーといった専門職採用が2割、残りの8割は銀行からの出向者という構成で、日々新しいサービス開発や広告営業、データ分析といった業務にあたっています。

リリースから3年で80万ダウンロードを達成したコアプロダクトであるスマホアプリ「Wallet+」は、10代から40代までの、「普段銀行には来店しない」お客さまを中心にご利用いただいています。実在する一般の主婦の方が毎月の生活費を封筒に小分けにして家計の管理をしていたことに着想を得て生まれた「目的預金」や収支管理といった基本的なサービスからスタートし、今ではご融資や資産運用、ポイントサービスといった日常のお金廻りに必要な機能が一つのアプリ上で提供できる、金融サービスのプラットフォームとなっています。便利でスマートな、そして常に新しい金融サービスとして進化させていくため、定期的にアンケートやグループインタビューを実施するなど徹底的に「お客さま起点」で物事を考え、行動することに拘って機能の改善を続けています。iBank設立当初に思い描いていたサービスは概ねカタチになり、完成する、というところまで来ました。

Wallet+がこれまでの金融サービスと大きく異なるのは、「お金に色をつける」というコンセプトを機能面で実現している点です。銀行は、お客さまからたくさんのお金を預かりしているのでその資産額などは事前に把握できるのですが、「このお客さまはなぜ、このようなお金を貯めているのか」「何に使うのか」といった目的や資金の用途まではわかりません。先の「目的預金」という機能では、アプリをご利用の方が、自ら9つのカテゴリーの中から「何のためにお金を貯めるのか」を選択・設定していただくことで、それらを可視化すると

もに、これまでコンタクトできていなかった若年層のお客さまのさまざまな夢や目的を理解したうえで、その実現に向けたお手伝いをすることができるようになります。例えば、「車」というカテゴリーで車の購入に向けてお金を貯めている個人のお客さまには、自動車ディーラーや中古車販売会社から特別な購入キャンペーンのお知らせやお得なクーポンの配信などを行うことで、個人・法人双方にメリットのあるマッチング(引き合わせ)ができるという訳です。現在、目的預金の残高は120億円を超えており、2万6千人のユーザーが「旅行」、1万3千人のユーザーに「自動車」といったカテゴリーでお金を貯めています。今後はこうしたデータを活用し、金融の枠組みを超えた新しいサービスもご提供していければと考えています。

“銀行”と“FinTech企業”

2つの顔でこれまでになかったプラットフォームを

当社は、銀行のカルチャーやシステムとはかけ離れた存在だと捉えられがちですが、銀行代理業というライセンスに基づき、有益な情報の共有はもちろん、よりシンプルに金融サービスをご提供することで、銀行本体の収益向上にも貢献することが大きなミッションの一つとなっています。さまざまな金融機能を備えたiBankは、FinTech業界の中では、「ネオバンク」と呼ばれる存在であり、銀行代理業と電子決済等代行業の二つのライセンスを持つ、日本では唯一の金融サービスプラットフォームです。今後は、銀行だからこそできるサービスと、銀行ではないからこそできる非金融領域のサービスも取り入れることで、身の回りでお金に関することはこのアプリ一つで全て解決する、というところまで「Wallet+」を成長させていくことが当面の目標です。例えばお金が貯まったらそのまま旅行や結婚式の予約、支払いなどができたら面白いですね。こうしたライフイベントのタイミングを上手く捉えることができれば、自然と金融サービスにも繋がっていくというストーリーです。

デジタル技術がどんなに進んでも、新しいものを生み出すために

は、お客さまの課題を解決したいという強い想いをもちたメンバーが必要だと考えています。これまでの銀行にはない専門領域のスキルをもったメンバーと、銀行という存在を理解し、店頭で“お客さまのた

め”と汗をかいた経験を持つ銀行員と一緒にすることで、これからは便利で楽しいサービスをご提供できるよう、チャレンジを続けていきたいと思っています。

Ⅰ デジタル人財の育成・採用

当社グループでは、デジタルトランスフォーメーションを推進していく人財の育成を目的に、社員の外部出向や、異業種からのキャリア採用を実施しています。

お客さまの声から生まれるサービスを、FFGの強みに

みずほ銀行が投資会社と設立したインキュベーター企業「Blue lab」に1年間出向し、FinTech業界の「意思決定のスピード」と「社内外への発信力の高さ」「考える前にまず動いてみて、聞いてみる」といったスタンスに刺激を受けながら、テクノロジーを使った新規ビジネス創出に取り組ましました。

現在はFFG事業戦略部で法人向けの決済戦略を担当しており、地域のお客さまから選んでいただくために何が必要か、幅広い視点から検討しています。出向当時、最先端の技術を持つ企業と協業する中で感じたことは、あらゆる技術を駆使すればソリューションは豊富にあるので、まずは「課題の設定」が重要であること。そして世の中の課題を解決するには「〇〇 × FinTech」の可能性を探っていくことが必要だということです。

サービスの種となる“お客さまの声(課題)”を汲み取るためにも、銀行にはやはり“人”の存在が大切ですので、営業店の行員がお客



さまに会うための時間を生み出せる仕組みを作っていきたいと思っています。また、FinTechによる決済は顧客行動の一要素ですので、他の産業やビジネスにも目を向けることで、お客さまにとってより価値のある体験を提供できるサービスを生み出し、FFGのソリューションのひとつにしていきたいと感じています。

自分らしさを活かして、FFGのチャレンジを後押しできる存在に

以前は東京のゲーム会社でエンジニアとして新規ゲームの開発等を担当していました。転職活動中、地銀の持つ可能性や、新たなことへ挑戦し続けるFFGの姿勢に魅力を感じ、「世の中にインパクトを与えることをやっていきたい!」と思い、入社を決めました。入社後は、主に法人向けの新規サービスの開発に取り組んでいます。お客さまにご利用いただくウェブサービス等の内製化(アジャイル開発)を進めており、さまざまな壁にぶつかりながらも、先日ようやく実証実験を開始する段階に至りました。

アジャイル開発では、個々の仕事を分断せずに、メンバー全員で進捗や障害となっていることを共有してチームで成果を出す「スクラム」という手法を取っています。この仕組みを効果的に機能させるため、昨年「認定スクラムマスター」の資格も取得しました。“チームが一体となって働く”という考え方はどんな職場でも活かせるものなので、営業店や他部署が抱える課題を聞きながら社内にも広め



ていきたいと思っています。また、企業や業種、職種の壁を超えて福岡を盛り上げる活動をしたいと思い、その最初の施策として「ふくおかスクラム」というコミュニティを立ち上げ、イベントを開催しています。異業種からの採用として、スキルを活かすことはもちろん、FFGにとって常に新しい風をもたらす、チャレンジする人々を後押しできる存在でありたいと思っています。

金融仲介機能の発揮に向けた取り組み

金融仲介機能の発揮および地域活性化に関する取り組み方針

当社グループは、地域金融機関として、地域経済の活性化・発展に貢献することが最大の使命であると考えています。これを実現するため、これまで培ってきた目利き力や人財力、充実した関係会社機能等のグループ総合力を活かして質の高い金融仲介機能を発揮し、とりわけ中小企業のお客さまに対しては事業性評価に基づき、お客さまの課題や

ニーズを踏まえた最適なソリューションの提供を積極的に行っていきます。

こうした活動を通じて、地域産業・取引先企業の生産性向上や新陳代謝の促進に取り組み、第6次中期経営計画の基本方針である「地域経済発展への貢献」と「FFG企業価値の向上」の好循環サイクルの実現を目指してまいります。

第6次中期経営計画の基本方針と金融仲介機能の発揮

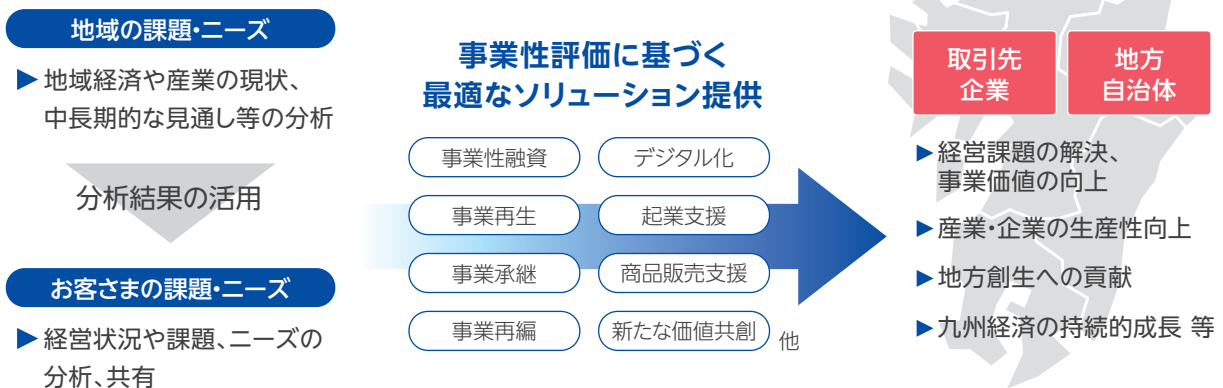
第6次中期経営計画の基本方針



金融仲介機能の発揮および地域活性化に関する取り組み

基本戦略 I	業務プロセスの再構築	<ul style="list-style-type: none"> ○事務・業務のデジタル化、自動化、効率化により捻出された人員・時間などの成長分野への再配置による営業力の向上と新事業の創出 ○営業店におけるコンサルティング機能の強化
基本戦略 II	事業モデルの高度化	<ul style="list-style-type: none"> ○お客さまとの対話を通じて真の課題やニーズを把握し、最適なソリューションを提供 ○デジタル技術などを活用した専門性の高い法人・個人金融サービスの提供
基本戦略 III	デジタルトランスフォーメーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル技術の活用による銀行ビジネスの再定義 ○金融機能等をサービスとして提供するビジネスの展開
基本戦略 IV	人財力の最大化	<ul style="list-style-type: none"> ○多様かつ高度な人財の育成と活用 ○グループ人財の最適配置
基本戦略 V	グループ総合力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ会社機能の徹底活用等による最適なソリューションの提供 ○環境の変化やお客さまニーズの変化に柔軟に対応できる組織への変革

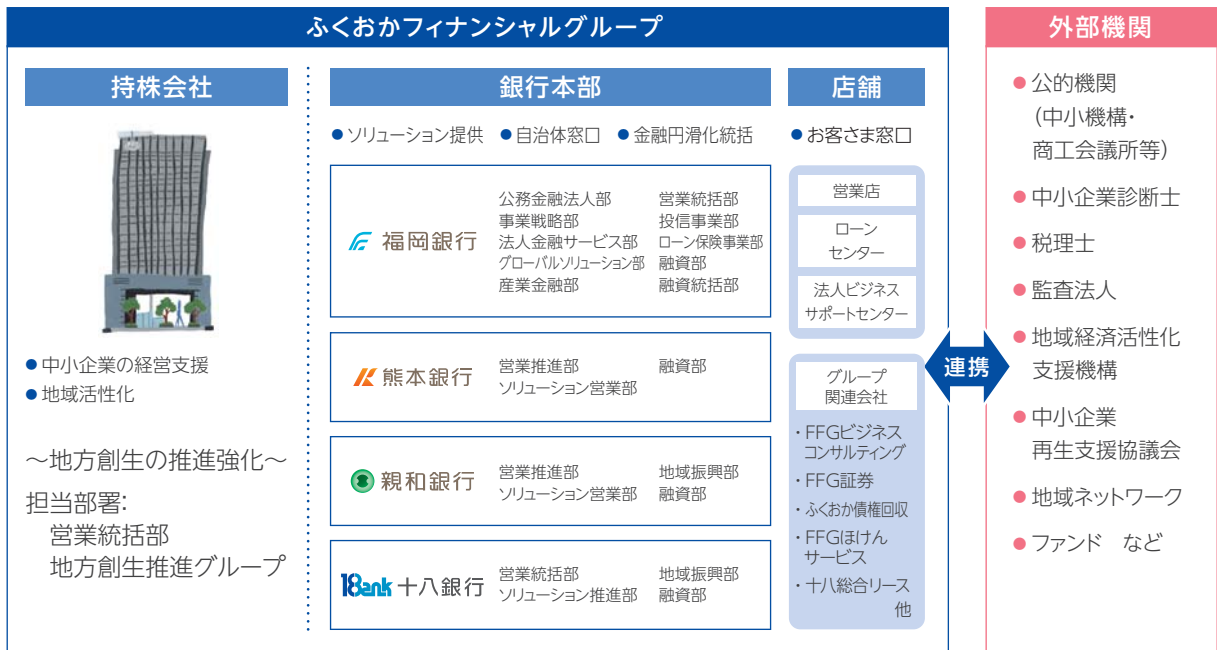
基本方針実現に向けた金融仲介機能の発揮の全体像



Ⅰ 取り組み体制

当社グループでは、グループ4行およびグループ関連会社、さらには外部専門家・外部機関との幅広いネットワークを活かしながら、事業性評価を実践することにより、お客さまの成長ステージ・経営課題・様々なニーズに応じた最適なソリューションを提供する体制を構築しています。

また、地域金融機関に期待される役割をこれまで以上に果たすべく、「地方創生推進グループ」を中心に本部・営業店・グループ各社が一体となって、当社グループが持つ知見やネットワークを外部機関などと連携しながら活用する体制を構築しています。



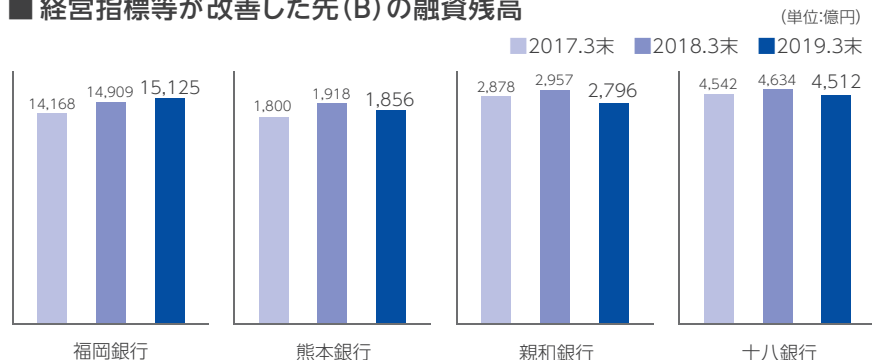
Ⅰ メイン取引先の状況

基本方針に基づき、グループ一体となって最適なソリューションを提供することで、取引先企業の経営改善に向けた取り組みを積極的にサポートしています。

(2019年3月末)

	福岡銀行	熊本銀行	親和銀行	十八銀行
メイン取引先数<グループベース>(A)	6,852先	2,258先	2,645先	6,411先
メイン取引先の融資残高	18,136億円	2,292億円	3,335億円	5,469億円
Aのうち経営指標等が改善した先(B)	5,354先	1,699先	2,042先	5,342先
改善先の割合(B/A)	78.1%	75.2%	77.2%	83.3%

■ 経営指標等が改善した先(B)の融資残高



・当社グループのメイン取引先のうち75%以上の取引先において、売上増加等経営指標の改善が見られており、経営改善に伴う資金需要等にも積極的に対応しています。

※メイン取引先

決算データが直近2期あり、当社グループの融資残高が最も大きい法人取引先グループ

十八銀行は決算データ(直近1期分)があり、融資残高が最も大きい法人取引先グループ

※経営指標

売上高、営業利益率、従業員数、労働生産性(従業員一人当たりの営業利益)

事業性評価の取り組み

当社グループは、ブランドスローガン「あなたのいちばんに。」を念頭に積極的な対話を通じて、さまざまなライフステージにある取引先企業の事業内容や成長可能性を適切

に評価し課題・ニーズを的確に把握するとともに、その課題等を共有し、最適なソリューションを提供することでお客さまの企業価値向上に努めています。



■ 事業性評価先数およびその融資残高

	福岡銀行		熊本銀行		親和銀行		十八銀行	
	2018年3月末	2019年3月末	2018年3月末	2019年3月末	2018年3月末	2019年3月末	2018年3月末	2019年3月末
事業性評価先 (全与信先に占める割合)	2,992先(8%) <2,713グループ>	3,684先(9%) <3,342グループ>	752先(6%) <667グループ>	887先(7%) <798グループ>	1,213先(10%) <1,113グループ>	1,580先(13%) <1,464グループ>	461先(4%) <461グループ>	407先(3%) <403グループ>
事業性評価先の融資残高 (全与信先に占める割合)	12,481億円 (17%)	14,126億円 (18%)	1,974億円 (23%)	2,067億円 (19%)	2,526億円 (23%)	2,655億円 (21%)	704億円 (8%)	749億円 (9%)

・福岡銀行、熊本銀行、親和銀行においては、取引先企業の事業内容等を分析し資金ニーズ等に対応していますが、ここに記載する事業性評価先とは、とりわけ、取引先企業の強み・弱み、商流、業界動向等を取引先企業と共に検証し、経営課題の解決に資する融資をはじめ、経営改善、再生支援、M&A、事業承継等の最適なソリューションを提供した先を限定して累計で計上しています。今後、企業分析ツールの活用等新たな取り組みを行い、取引先企業に対する理解度の向上や潜在的ニーズの発掘に、より一層取り組んでいきます。

・十八銀行においては、取引先企業の事業内容や成長可能性を適切に評価するため、内部・外部環境分析により課題やニーズに対するサポートを年度毎に実施した先を計上しています。

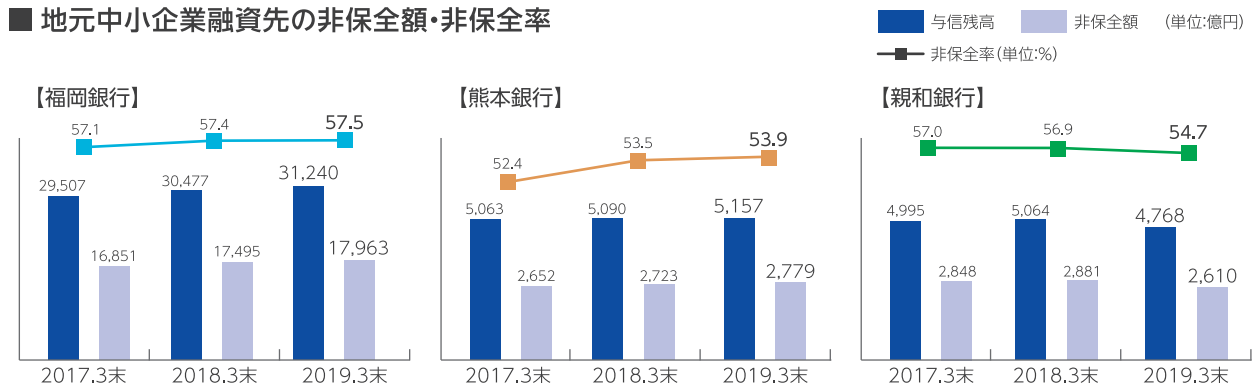
担保・保証に過度に依存しない融資

当社グループでは融資に際して、取引先企業の事業内容等を分析したうえで、事業に必要な資金を融資しています。その際、融資金の使途や返済原資等を総合的に勘案し、担保や保証をご提供いただく場合もありますが、必ずしも融資額相当の担保や保証をご提供いただいている訳ではございません。

下図のとおり、地元中小企業に対する融資においても、担保・保証の評価以上に融資を行い、与信残高に占める非保全額は50%以上で推移しています。

今後も取引先企業の事業内容や成長可能性を適切に評価する「目利き力の更なる向上」に取り組むとともに、「担保・保証に過度に依存しない融資」により一層努めていきます。

■ 地元中小企業融資先の非保全額・非保全率

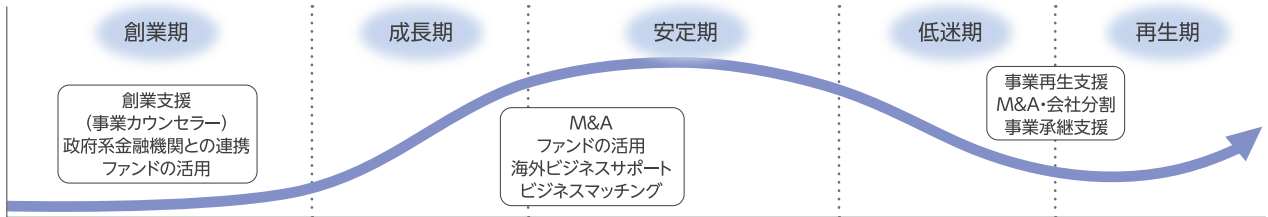


※地元:福岡銀行:九州全域/熊本銀行:熊本県/親和銀行:長崎県・佐賀県
 ※中小企業:地方公共団体・大企業・中堅企業を除く
 ※非保全額(率):不動産等の担保・保証協会保証がおよんでいない融資額(非保全額が融資総額に占める割合)

ライフステージに応じたソリューションの提供

当社グループは、お客さまの各ステージ(創業期、成長期、安定期、低迷期、再生期)におけるニーズや経営課題を解決し、中長期的な成長を支援する最適なソリューションを提供しています。

【ライフステージ】



(2019年3月末)

		創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
福岡銀行	融資先数	3,685社	3,156社	17,929社	1,319社	1,632社
	融資残高	3,933億円	5,901億円	33,449億円	1,770億円	1,803億円
熊本銀行	融資先数	1,116社	1,338社	5,472社	421社	308社
	融資残高	486億円	946億円	3,617億円	192億円	251億円
親和銀行	融資先数	855社	821社	6,236社	461社	382社
	融資残高	418億円	766億円	4,647億円	211億円	232億円
十八銀行	融資先数	846社	723社	7,286社	403社	641社
	融資残高	501億円	790億円	5,882億円	240億円	621億円

創業期

当社グループでは、ファンドを活用した安定的な資金供給や、グループ銀行に設置する「事業カウンセラー」と関係団体等とのネットワークの活用、UIJ創業セミナーなど、さまざまな創業・開業支援を積極的に行っています。

創業支援関与件数

(2018年度中)

	創業支援先	創業計画策定支援	創業期取引先への融資	創業期取引先への融資(保証協会)	創業支援機関等の紹介	ベンチャー企業への助成金
福岡銀行	2,035社	352社	952社	617社	98社	16社
熊本銀行	551社	48社	324社	139社	40社	0社
親和銀行	378社	58社	160社	156社	4社	0社
十八銀行	258社	83社	104社	71社	0社	0社

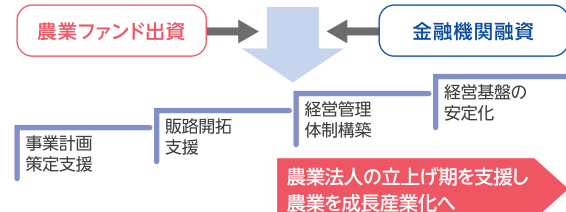
ファンドを活用した創業・開業支援事例

【農業分野の特徴】

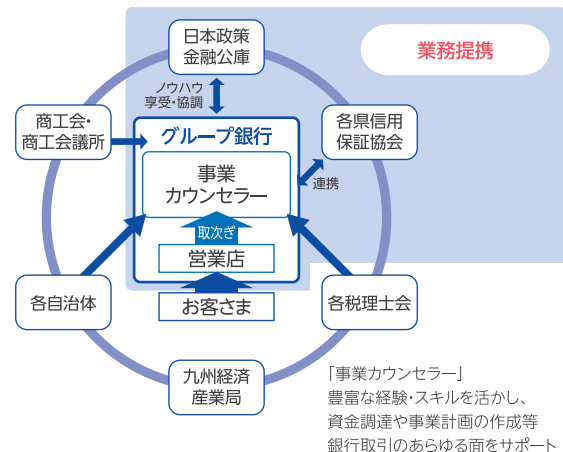
- ・天候リスクが大きい
- ・収益を生むまで(播種～収穫)時間を要する

【A社の状況】

- ・設立2期目の農業法人(異業種から農業参入)
- ・農業所得向上を目的に、加工品製造を計画



事業カウンセラーの設置



■ 成長期・安定期

当社グループでは、お客さまの販路開拓支援等のためビジネスマッチングや各種商談会を積極的に行っています。海外進出や海外への販路拡大等については、福岡銀行の

海外駐在員事務所や外部提携機関と連携しサポートしています。また、お客さまの事業規模拡大等の成長支援のため、M&A等のソリューションも提供しています。

■ 商談会・セミナー等開催実績

(2018年度下期中)

～国内商談会～

- 食の祭典 2018 in 福岡 (11月)

～国内主なセミナー～

- トップセミナー「人生というゲームの中で」
- 管理職育成コーチングセミナー
- 実践！ PDCA研修
- 職場のメンタルヘルス対策
- ビジネスマナーの不安を解消！ ビジネスマナー実践講座

～海外商談会・セミナー～

当社取引先参加 計9社(セミナー除く)

- 2018中国大連一地方銀行合同商談会(11月)



食の祭典2018 in 福岡



2018中国大連一地方銀行合同商談会

■ 販路開拓支援先数

	国内		海外	
	2017年度	2018年度	2017年度	2018年度
福岡銀行	350社	386社	209社	221社
熊本銀行	105社	91社	20社	8社
親和銀行	43社	48社	29社	58社
十八銀行	347社	527社	23社	41社

※十八銀行は成約に関わらず、販路開拓支援を行った先を計上しています。



■ M&A支援先数

	福岡銀行		熊本銀行		親和銀行		十八銀行	
	2017年度	2018年度	2017年度	2018年度	2017年度	2018年度	2017年度	2018年度
先数	20社	26社	5社	12社	0社	7社	121社	188社

・M&A支援先数は、お客さまからご相談をうけて事業譲受・譲渡が成約した先のみ計上しています。
 ※十八銀行は成約に関わらず、M&Aの支援や関与を行った先を計上しています。

■ 低迷期・再生期

当社グループでは、事業再生・経営改善のための支援については、お客さまとの十分な話し合いを通じて営業店と本部専門部署や外部専門家と密に連携を図りながら、課題解決に向けた取り組みを行っています。財務面からの各種

サポートに加えて、事業面においても経営課題の発見から改善策の策定・実施までのサポートを行っています。

今後も、これまで蓄積してきたノウハウの活用や、新しい手法を駆使し、財務・事業の両面からのサポートを目指します。

■ 融資条件を変更した先に係る経営改善計画の進捗状況

(2019年3月末)

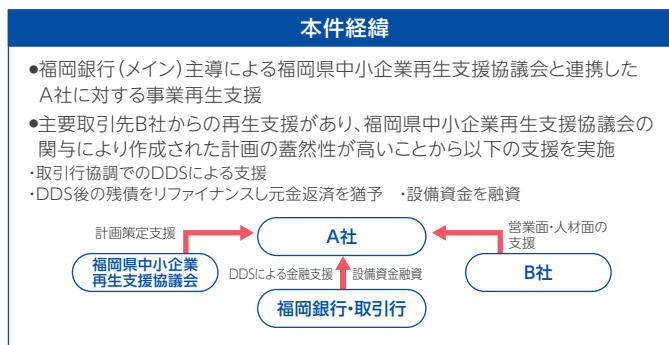
	条件変更先総数			
	好調先	順調先	不調先	
福岡銀行	3,892社	24社	159社	3,709社
熊本銀行	826社	17社	18社	791社
親和銀行	1,077社	47社	21社	1,009社
十八銀行	543社	1社	92社	450社

・融資条件を変更した先のうち好調先、順調先は、経営改善計画を策定し、計画を達成している先を計上しています。
 ・不調先の中には、経営改善計画の策定に至っていない取引先も多数含んでいますが、外部専門家紹介等、適切な支援を提供しています。

■ 事業再生支援の事例

～DDSを活用した金融支援～

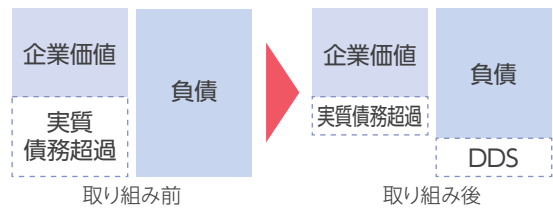
※DDS…既存融資を劣後ローンに転換すること



■ 支援による効果

- 地域における**雇用の確保**
- 主要取引先との関係継続による**商流の維持**
- DDSによる**財務体質の改善**、設備資金の融資による生産能力の向上等

【バランスシートの変化】

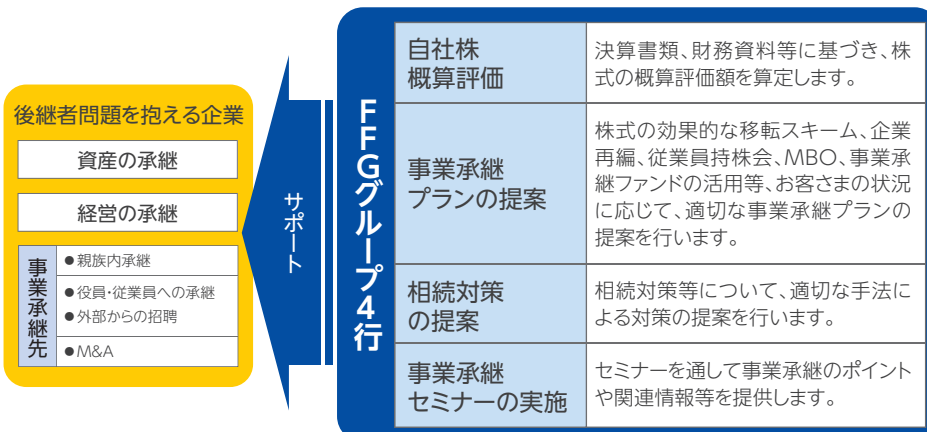


■ 事業承継

近年、経営者の高齢化が進むなか、事業承継問題は企業や地域社会にとって非常に重要な課題です。

当社グループでは、事業承継の課題解決に向けた体制を構築し、外部の専門家等とも連携しながら、各種事

業承継支援メニューを提供しています。後継者問題、自社株対策、相続税対策等のお客さまのさまざまな悩みに、税理士・公認会計士等の専門家やグループ関連会社と連携してお応えします。



◇事業承継支援先数

	事業承継相談件数	
	2017年度	2018年度
福岡銀行	389社	332社
熊本銀行	117社	147社
親和銀行	110社	86社
十八銀行	154社	171社

※十八銀行は事業承継に関する提案を行った先を含んでいます。

金融円滑化の取り組み

当社グループは、業務の健全かつ適切な運営の確保に留意しつつ、中小企業者および住宅ローンをご利用のお客さまからご返済条件の変更等のお申込みなどがあった場合には、適時適切に対応してまいります。

特に、中小企業者のお客さまからの経営改善・事業再生に関するご相談をいただいた場合は、お客さまの事

業についての可能性その他の状況を勘案しつつ、経営改善計画の策定支援ならびに進捗管理、助言を行うよう努めます。なお、他金融機関、政府系金融機関、信用保証協会、中小企業再生支援協議会など外部機関が関係している場合には、当該機関と緊密な連携を図るよう努めます。

◇経営改善支援先および実抜計画認定先の取り組み実績

	福岡銀行	熊本銀行	親和銀行	十八銀行
期初債務者数	37,606先	11,683先	12,039先	11,605先
経営改善支援取り組み先等 (経営改善支援等取り組み率)	627先 (1.7%)	271先 (2.3%)	176先 (1.5%)	193先 (1.7%)
期末に債務者区分がランクアップした先数 (ランクアップ率)	41先 (6.5%)	24先 (8.9%)	9先 (5.1%)	15先 (7.8%)
再生計画を策定した先数 (再生計画策定率)	325先 (51.8%)	132先 (48.7%)	91先 (51.7%)	121先 (62.7%)

※経営改善支援先:当社グループが主導して、経営改善計画策定や経営改善計画実現に向けた支援を行う先
実抜計画認定先:当社グループが、経営改善計画を「実現可能性の高い抜本的な計画」と認定した先

(2018年4月～2019年3月)

また、お客さまと保証契約を締結する場合、お客さまから既存の保証契約の見直しのお申し入れがあった場合、および保証人である方が経営者保証に関するガイドライン研究会が定める「経営者保証に関するガイドライン」(以下、ガイドライン)に則した保証債務の整理を

申し立てられた場合は、ガイドラインに基づき誠実に対応するよう努めていきます。

※ご相談に迅速かつきめ細かく対応するため、営業店および本部に「金融円滑化対応責任者」と「金融円滑化対応担当者」を設置し、実務対応の管理を行っています。

「経営者保証に関するガイドライン」に係る取り組み状況 (対象期間:2018年4月～2019年3月)

(単位:件)

	福岡銀行	熊本銀行	親和銀行	十八銀行
新規に無保証で融資した件数	8,917	1,822	1,950	1,869
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	26%	19%	19%	19%
保証契約を変更した件数※	136	72	25	0
保証契約を解除した件数	2,861	622	614	395
ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	5	6	0	1

※保証契約を変更した件数には、担保預金を考慮した結果、保証金額を減額した件数を計上しています。

お客さま本位の業務運営に向けた取り組み

当社グループでは、ブランドスローガン「あなたのいちばんに。」を実現するため、従来から一貫してお客さま一人ひとりに最適な商品・サービスをご提供する「お客さま本位の業務運営」に取り組んでいます。

金融商品に係る業務運営においては、お客さまの安定的

な資産形成を後押しするためのグループ共通の基本的な考え方及び具体的な取組方針として、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を策定し、グループ各社において「お客さま本位の業務運営」に取り組んでいます。

〈お客さま本位の業務運営に関する取組方針〉

- ①お客さまの最善の利益の追求
- ②お客さまに相応しいサービスの提供
- ③重要な情報の分かりやすい提供、手数料等の明確化
- ④利益相反の適切な管理
- ⑤従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

〈共通KPI〉

金融庁の定めた「お客さまが良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者を選ぶ上で比較可能な指標」で、現在以下3項目が定められています。

- ①運用損益別顧客比率
- ②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン
- ③投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

【お客さま本位の業務運営】取組状況 (2018年度)

当社ホームページ上で、公表しているKPIの説明やデータについてご覧いただけます。



詳細はこちら

お客さまの声の見える化

当社グループでは、お客さまの声に真摯に耳を傾け、より良いサービスのご提供・商品のご提案を行うために、資産運用のお取引をいただいているお客さまへ「アンケート調査」を実施しております。アンケートでは、担当者に対する満足度や、どれくらい家族や知人に担当者を薦めたいか

等をお伺いしています。また、当社に求めるものとして「適切なタイミングのフォロー」「専門的なアドバイス」といったご意見をいただいています。当社グループを選んでいただけるよう、NPS®も活用し、日々業務の改善に努めています。

Focus on NPS®の活用

「NPS®(Net Promoter Score®)」とは、お客さまが企業のブランドや商品・担当者に高い関心を持ち、「知人やご家族にどの位薦めたいと思うか」を10点満点で数字に表したものです。通常は安心感や信頼がない限り推奨しないため、高い評価を獲得するのは顧客満足度よりも困難とされています。

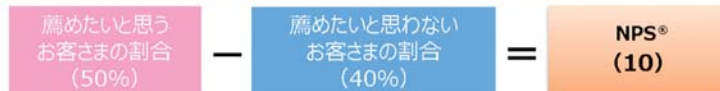
～NPS®の算出方法～

質問 ご家族や友人から相談を受けた場合、担当者を薦めたいと思いますか？ 10点満点でお聞かせ下さい



- 推奨する立場。中立的な立場。推奨しない立場に分類。「薦めたい」お客さまの割合から「薦めたいと思わない」お客さまの割合を差し引いて算出。
- 分類上、6以下を「推奨しない立場」とするものであり、回答者の全てが「薦めたいと思わない」と意思表示している訳ではなく、肯定的なコメントも見られます。
- スコアは-100～+100の間で表示されます。

例 回答者数：100人 薦めたい：50人 中立的：10人 薦めたいと思わない：40人



アンケート結果やお客さまからのご要望事項を真摯に受け止め、より一層のサービスの充実や従業員教育に取り組んでいきます。

※「NPS®」および「Net Promoter Score®」は、ベイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムの登録商標です。

サービスの充実・従業員教育に向けた取り組み

■ 従業員の専門性向上

お客さまの状況に応じた最適な商品・サービスをご提供するために、金融サービスのプロとしての専門性向上に絶えず努めています。

■ FP1級・2級の資格者数

	2017/3末	2018/3末	2019/3末
福岡銀行	1,529	1,760	1,928
熊本銀行	333	388	426
親和銀行	564	639	678
十八銀行			573
合計	2,426	2,787	3,605

■ 分かりやすい説明と提案手法の高度化

手数料を含めた商品・サービスに係る必要な情報を十分にご理解いただけるよう、パンフレット等を用いながら、お客さまのお取引経験やご提案商品の性質に応じた分かりやすいご説明に努めています。また、タブレット端末の活用によるコンサルティングの高度化や、手続き書面の簡素化等によるお客さまの利便性向上に取り組んでいます。

〈パンフレット〉



〈タブレット端末の活用例〉



■ セミナー開催状況(2018年度本部主催マネーセミナー)

お客さまの資産形成・資産運用のお役に立てるよう、金融・投資関連のセミナーを定期的を開催するなど、情報提供の充実に努めています。

■ セミナー開催数

(回)

	開催地区	規模 (定員)	2018年			2019年	合計
			4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
福岡銀行 (FFG証券共催)	福岡	100	6	9	7	8	30
	北九州	80	3	4	4	4	15
	久留米	30	3	4	3	3	13
	飯塚	30	3	4	3	3	13
熊本銀行	熊本	50	4	7	3	3	17
	玉名	30	2	2	0	0	4
	光の森	50	2	1	0	0	3
親和銀行	佐世保	30	3	3	3	2	11
	長崎	30	3	3	3	3	12
合計	-	-	29	37	26	26	118

※十八銀行では、本部主催のセミナーではなく、営業店主催でセミナーを年間449回開催しております。



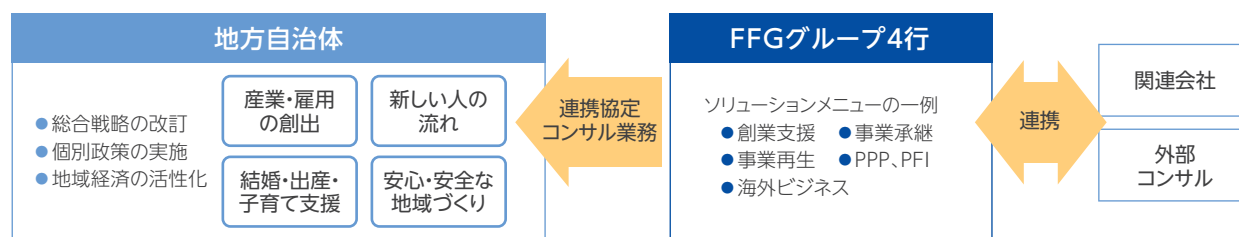
地域活性化に向けた取り組み

地方創生への取り組み

現在、各地方自治体は、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく「地方創生」の取り組みを推進していますが、当社グループは地域金融機関に期待される役割をグループ一体となって発揮していくため、サポート体制を強化して

います。

これまで以上に各地方自治体と連携を強化し、各種施策や取り組みに積極的に参画することで、「地域活性化」に向けた地域金融機関としての役割を果たしていきます。



～自治体との連携・コンサルティング業務～

各自治体の諸会議に参加し、ノウハウの提供や具体的な事業の提案を行う「連携協定」や、地方創生に向けたプロジェクトの組成・遂行を支援する「コンサルティング業務」を実施しています。

◇連携協定

(2019年3月末現在)

福岡銀行	熊本銀行	親和銀行	十八銀行
嘉麻市、行橋市、筑後市、古賀市、福岡県、久留米市、宮若市、唐津市、田川市、柳川市、鳥栖市、広川町、八女市、宗像市	薩摩川内市、熊本市、益城町、南関町、宇城市、阿蘇市	諫早市、鹿島市、長崎県、唐津市、武雄市、西海市	長崎市、諫早市、長崎県、新上五島町

◇地方創生関連におけるコンサルティング業務受託 11自治体等

～産学官連携～

大学研究機関等で生み出された技術やノウハウなどの「シーズ(SEEDS)」と、企業の「事業ニーズ(NEEDS)」とを結びつける、産学官連携ネットワークを構築しています。また、行政機関等の各種施策(補助金等)の活用をサポートし、新規事業の創出や研究開発における課題解決等をお手伝いしています。

◇産学官連携の協定締結先

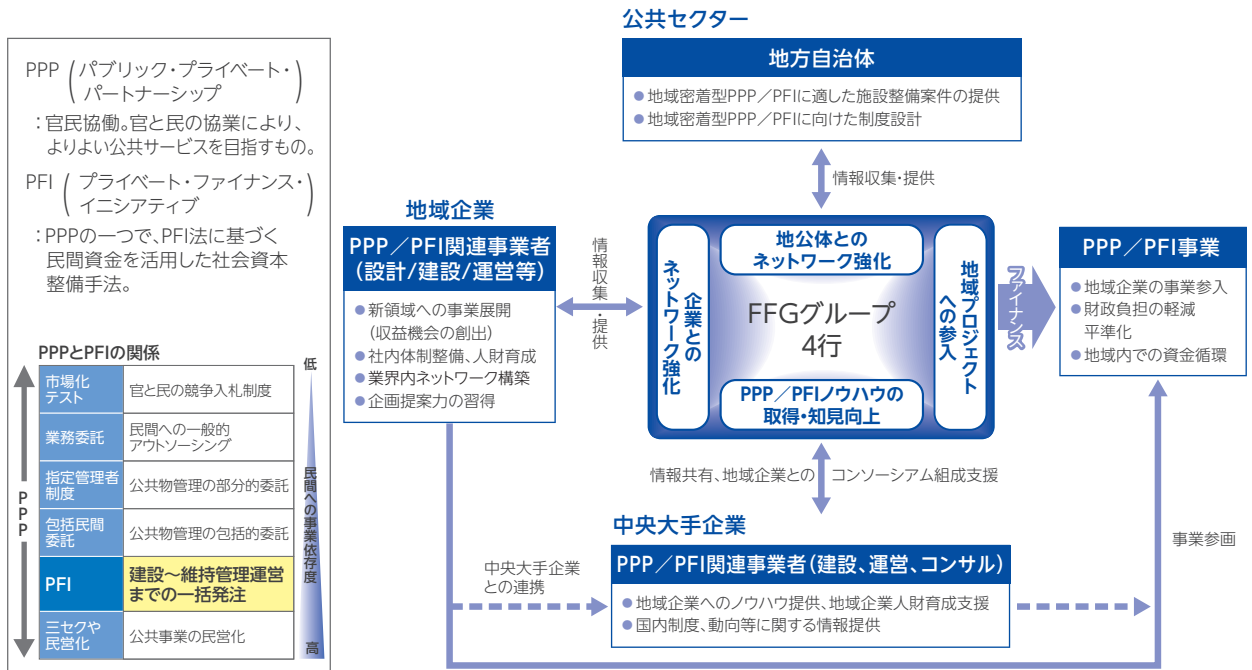
(2019年3月末現在)

福岡銀行	熊本銀行	親和銀行	十八銀行
北九州市、九州大学、福岡大学、佐世保市、福岡工業大学、長崎市、熊本大学、長崎大学、公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団、公益財団法人九州先端科学技術研究所	合志市、熊本大学、崇城大学、東海大学、水保市	長崎県、長崎市、佐世保市、長崎大学、佐世保工業高等専門学校、長崎総合科学大学、長崎県立大学、長崎国際大学	長崎大学、長崎国際大学、長崎純心大学、長崎外国語大学

PPP/PFIへの取り組み

政府は、日本再興戦略に基づき、民間の事業機会の拡大による経済成長を実現していくため、新たな官民連携(PPP/PFI)事業に係る具体的な案件の形成等を推進しています。これを受けて、地方公共団体でも、PPP/PFIのノウハウの共有・習得、関係者間のネットワークの構築等、具体的な動きが始まっているところです。

左記に対応する取り組みとして、地域金融機関である当社4行は、「公共セクター」「地域企業」「中央大手企業」と連携し地域密着型PPP/PFIの実現に向けて取り組んでいます。特に、「地域企業」がPPP/PFI事業に参画できるような環境づくりやサポートを積極的に行っています。



新規事業支援およびオープンイノベーションへの取り組み

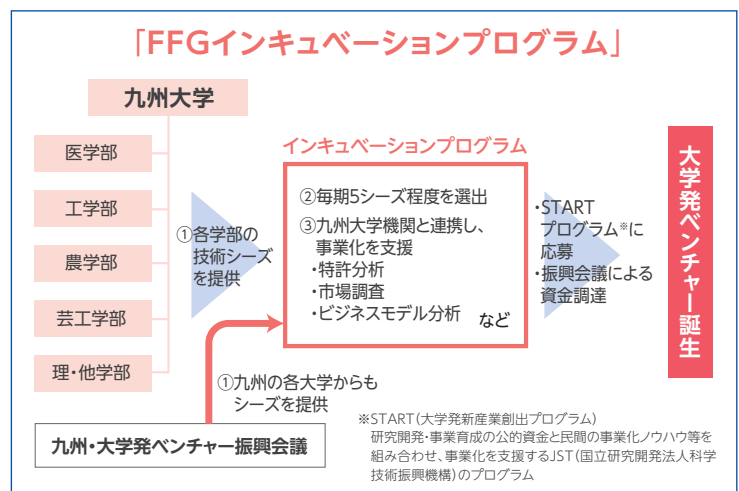
FFGでは、グループのベンチャーキャピタルであるFFGベンチャービジネスパートナーズを通じて、ベンチャー企業の支援・育成に取り組んでいます。

●FFGベンチャービジネスパートナーズ(FVP)の取り組み

地域社会の課題解決につながる事業に取り組む企業を中心に、投資・育成を行います。また、お取引先とベンチャー企業とのマッチング等を行うことで、オープンイノベーションの加速化を目指します。さらに、大学発ベンチャーへの投資・支援にも積極的に取り組んでおり、大学の知財活用による創業支援の試みをスタートしました。

～大学との連携による大学発創業支援～

FVPIは、九州大学と共同研究契約を締結し、事業創出プログラム「FFGインキュベーションプログラム」を実施しています。九大ビジネススクールなどの受講生が、大学の研究者と連携し、大学の持つ技術(シーズ)の事業化(ビジネス化)を目指します。



●マッチングイベントの開催



2019年1月、当社グループのお取引先とベンチャー企業を結び付けるイベント「X-Texh Match up 2019」を開催しました。ベンチャー企業が持つAIやIoTなどの最新テクノロジーを紹介し、地場企業がそれを活用することで、売上増強、販路拡大、業務効率化といった課題解決や新規事業開発をお手伝いすることを目指しています。イノベーションの加速化に向けた取り組みで、地域のお客さまの成長をサポートしてまいります。

地域の面的再生への積極的な参画

Ⅰ 地域再生・活性化ネットワーク

当社グループ傘下の福岡銀行は、地方銀行8行と『地域再生・活性化ネットワークに関する協定書』を締結しています。経営基盤・営業エリアが異なる地方銀行が連携し、各行の保有するさまざまな情報・ネットワークを相互に活用する

1. 目的

～広域連携による新たな価値共創から、地域経済の再生・活性化を促進～

お取引先が県境・地域を越えて、企業活動を展開していく中で生じるさまざまな経営課題やニーズに対し、各参加銀行が「地域のコーディネーター」として情報・ネットワークを

2. 具体的内容

県境・地域を越えて活躍するお取引先(広域展開企業)のビジネスニーズや、地域の再生・活性化に資するさまざまな個別案件に対して、

- ①各種金融手法を活用した資金供給(シンジケートローン、協調融資等)
- ②M&Aや事業承継にかかる相手方(売り先・買い先)情報のご提供、アドバイザリーサービス
- ③ビジネスマッチング業務にかかる各種情報のご提供などを中心に、連携・協力して対応しています。

■ ネットワークを活用した案件

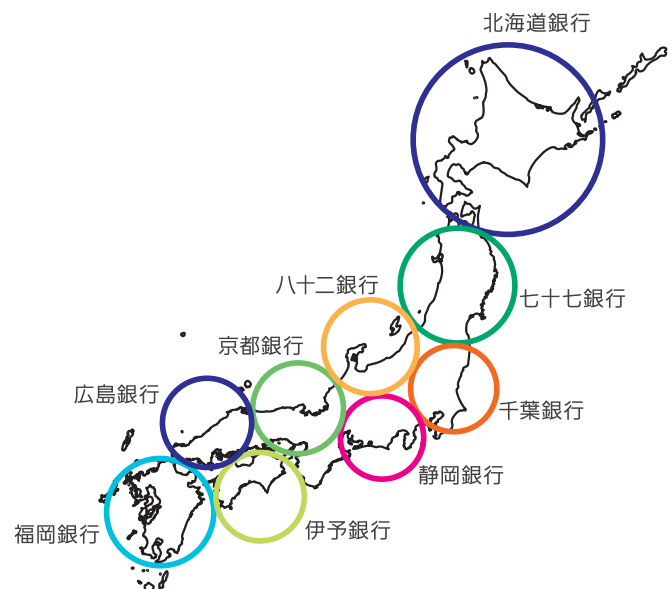
※9行合計の金額・件数

(2014年1月～2019年3月)

融資実行金額	1,089億円
M&Aの成約件数	4件
ビジネスマッチング業務において顧客紹介に至った件数	60件

ことで、従来単一の銀行ではできなかったサービスの機会、スピード、質(クオリティ)を最適なソリューションとしてご提供します。

共有・活用し、企業同士や事業を繋ぐお手伝いをすることで、お取引先と銀行双方にとっての新たな価値を共創します。



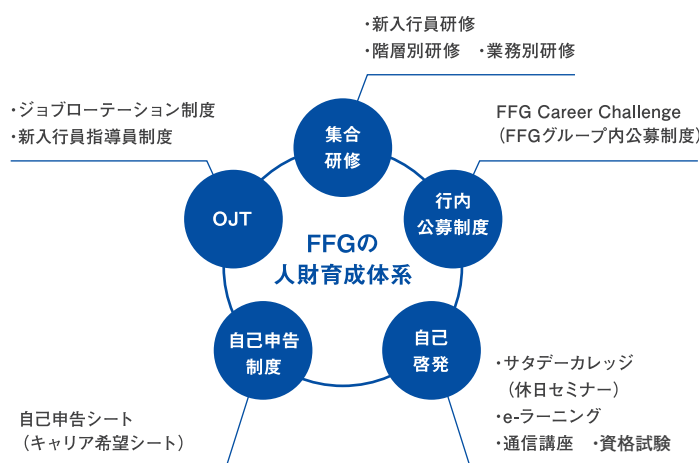
人財育成を通じた組織力向上と働きがいの向上

当社グループでは、「人財力の強化」を成長戦略の要と捉え、多様な人財を育成し働きがいを向上させる仕組みづくりによって、従業員が能力を最大限発揮できる環境整備に取り組んでいます。従来当社グループでは、金融機関としての付加価値を創造する原動力として、「人」を最も大切に考えており、「人材」という言葉を「人は宝(財)」という想いを込めて、「人財」と表しています。

人財育成方針

第6次中期経営計画の基本戦略である「人財力の最大化」の実現に向けて、組織風土の変革をメインとする人財戦略を展開していきます。“組織”主導のキャリア形成を推進してきた方針を転換し、“個人”主体のキャリア形成を組織が支援していく体制の構築を進めています。従業員が自ら目指すキャリアをデザインし、その実現に必要な研修の受講・資格取得などの自己啓発に取り組み、希望する部署や仕事などキャリアビジョンを申請するという主体的な行動を、上司がサポートすることで、従業員の働きがいや自己成長の実感を高めていきます。

人財育成体系



OJT	ジョブローテーション制度:やる気や適正に応じた配置を実施 新入行員指導員制度:新入行員に対して、3年目前後の先輩行員が、業務に関する指導や社会人としての教育を行う徒弟制度
集合研修	新入行員研修:社会人への意識転換と人間力の向上を目的とした合宿研修 階層別研修:階層ごとに求められる役割の認識や意識向上を目的とした研修 業務別研修:担当する業務のスキル(初級→中級→上級)に応じた研修
自己啓発	サタデーカレッジ:業務知識や人間力を高める休日セミナー e-ラーニング:セミナー映像や資料を自宅パソコンやスマホで視聴できる機能 資格試験:業務に役立つ知識を得るために取得を推奨。高度な公的資格を取得した場合は、奨励金を支給
行内公募制度	FFG Career Challenge:FFGで勤務する行員が希望するポスト(業務)に応募できる公募制度。
自己申告制度	キャリアアップ実現の機会として、希望する部署や担当業務、アピールポイントを申告する制度

すべての従業員の「幅広い知識」や「専門スキル」に限らず、お客さまへの約束「あなたのいちばんに。」の真の実践を目指し、「豊かな人間性」や「高い感受性」も兼ね備えた人財育成を行っています。

FFG人財開発センター



グループ本社ビル近隣に設置している「人財開発センター」は、FFGの強みである“人財力”を支える拠点として、社員・スタッフ計15名が管理・運営にあたり、さまざまな規模の研修や育成プログラムを実施しています。

～従業員の働きがい向上に向けた取り組み～

業務時間中の研修のほか、4行合同の新入社員研修、自己啓発のための平日終業後の勉強会や、趣味的色彩も盛り込んだイブニングセミナー、土曜日のサタデーカレッジ等、幅広い取り組みを展開しています。従業員の勉強意欲や上昇志向を引き出すための機会を出来るだけ多く、多彩に提供していくことで、FFGブランドの向上と従業員の成長に繋げていくことを目指しています。

●人財育成実績(2018年度) 対象行員数：9,477名 (人)

研修名	実施日数	受講者数(延べ)
研修(業務別・階層別)	476	8,607
行内公募(FFGキャリアチャレンジ)	—	86
イブニングセミナー(平日終業後の勉強会)	183	4,230
行内公募(行外トレーニー)	—	140
サタデーカレッジ	202	15,337
行内トレーニー	319	346

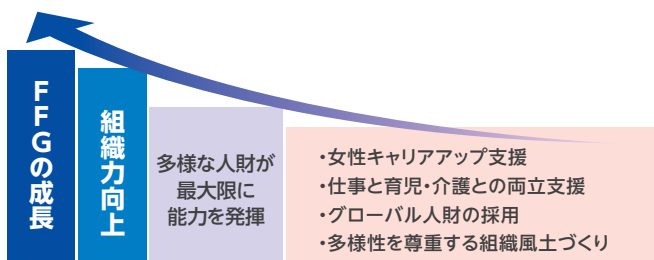
ダイバーシティマネジメント

当社は、企業として成長し続けていくために、従業員一人ひとりが個性を活かして最大限に能力を発揮(=ダイバーシティ)が重要と考え、さまざまな取り組みを行っています。

仕事と家庭の両立支援の実現に向けた制度面・意識面の両面から当社独自の施策を展開しています。また、介護

に直面する社員にとって働きやすい職場づくりやグローバル人材の採用を進めるなど、社員の多様性を尊重し一人ひとりが最大限に能力を発揮できる組織づくりに取り組んでいます。

ダイバーシティ活動のモデル



・女性の登用状況推移(福岡銀行・熊本銀行・親和銀行合計)

	2019年3月末	2023年3月末
	(実績)	(目標)
経営職	53名(4.8%)	90名(10.0%)
経営職+課長	287名(13.3%)	330名(16.0%)

仕事と家庭の両立支援

「ウーマン・サポート・プロジェクト“ふわり”」とは

FFGの組織力向上を目的に、女性が自身の能力を遺憾なく発揮できるよう、2013年10月に当プロジェクトを立ち上げました。さまざまな役職・業務の女性から構成されるメンバーで、制度面や意識面の改革について女性の視点で検討し提言を行ってきました。この取り組みから、復職支援プログラムや企業内保育所の設置などさまざまな施策が生まれました。

現在は女性だけでなく男性にも参加を呼びかけ、男性管理職とのセッション、イクボスセミナーの企画等も行っていきます。今後は、各地域のふわりメンバーを中心とした自主的な活動を促し、地域ごとの取り組みが、全社的に広がるようサポートしていきます。




ふわり活動の様子



ふわりメンバーによる役員への提言

ふわりの活動から、独自の施策が生まれています!

両立支援に関する主な施策

	制度面 (★…当社独自施策)	意識面
育児	<ul style="list-style-type: none"> ★企業内保育所の設置^(※1) ★認可外保育所利用料補助 ★育児サービス利用料補助 ・産前産後休暇 ・育児休業 ★復職支援プログラム^(※2) ・配偶者出産時休暇 ・育児短時間勤務制度 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性向けキャリアアップ研修会 ・仕事と育児・介護との両立セミナー ・イクボスセミナー^(※4) ・両立支援ハンドブック ・新入行員ダイバーシティ研修 ・若手女性キャリアプラン研修 ・異業種交流会^(※5)
共通	<ul style="list-style-type: none"> ★両立支援相談窓口 ★旧姓使用制度 ★ジョブリターン制度 ・看護休暇 ・時間外労働制限措置(子の養育・介護) ・短時間勤務制度(子の養育・介護) ★パートナー帯同制度^(※3) ★配偶者転勤休職 ・半日休暇 	<p>各種セミナー・イベントをふわりメンバーが企画しています。また、各地域の職場を訪問し意見交換の場を設け、生の声を受け止めながら女性同士のネットワーク構築をサポートしてきました。</p> 
介護	<ul style="list-style-type: none"> ・介護休業 ・介護休暇 	

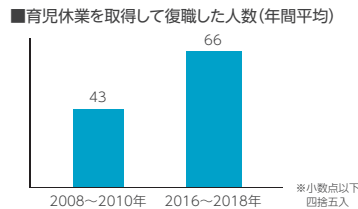
●企業内保育所の設置^(※1)

待機児童問題で職場に復帰できない社員を支援するため、2018年4月、福岡市内に初の企業内保育所「ふくぎんぎっずらんど (petit petit)」を開設しました。他社の企業内保育所とも連携し、利用可能エリアの拡大を図っています。



●復職支援プログラム^(※2)

女性社員の出産・育児休業からのスムーズな復職を支援する制度。妊娠判明時から職場復職までのステージに応じた面談や研修を、ダイバーシティ推進室が一貫して行っています。



●パートナー帯同制度^(※3)

社員夫婦が同居可能な地域で勤務できる制度を導入しました。共働きの社員の不安を取り除きます。

●イクボスセミナー^(※4)

部下一人ひとりの個性を尊重し、多様な人財をマネジメントするためのスキルを学ぶセミナーやディスカッションを定期的で開催しています。また、外部講師を交え、FFG3行の役員と「これからの働き方」について意見交換を行い、ワークライフバランスの意義を共有しました。



●異業種交流会^(※5)

女性社員のモチベーション向上や他社との情報交換・ネットワーク構築を目的に、地場企業との異業種交流会を定期的に行っています。



グローバル人財が活躍しています!

2016年4月にFFGに新卒入社された
ベトナム・ハノイご出身の
ド ティノク カンさん、
通称ケイトさんに聞きました!

Q.日本の企業に入社した経緯は?

日本の大学に留学した縁もあり、先進国である日本の企業で働く経験は貴重だと考えて、新卒での就職活動に挑戦しました。入社が決まったときは、九州No.1の地域金融機関で仕事ができることを誇りに思いました。周囲に同じような境遇の先輩がいない中で、母国語ではない日本語でのコミュニケーションでどんな仕事ができるかが分からないという不安もありましたが、自分の仕事を見つかけられるように、何でもチャレンジしようと思いました。

Q.現在の業務について教えてください。

FFGの国際業務を担当するグローバルソリューション部の企画部門「海外戦略グループ」に所属しています。8つの海外駐在員事務所、本部、外部機関に係る所定の手続きのサポートや、海外関連のセミナー・商談会の企画、国際業務のデータ集計や英語・ベトナム語関連対応などを担当しています。国際感覚や語学といった点で自分の強みを活かすことができ、外国為替に関する商品・サービス、FFGや九州企業について勉強になることが多く、やりがいを感じています。



グローバルソリューション部
海外戦略グループ
ド ティノク カン(ケイト)さん

Q.実際に働いてみて、FFGはどんな組織だと感じますか?

親切で優秀な人財が多いと感じます。人財教育体制、職場環境が優れていて、人を「いちばんに」考えている企業だと思います。中でも、所属しているグローバルソリューション部の、海外経験や専門知識が豊富で、仕事に対して素晴らしい姿勢を持っている周りの上司や先輩方をとても尊敬しています。

Q.今後どんなことにチャレンジしたいですか?

外国人としての強みである語学力や、日本での業務経験を活かして、将来は駐在員として海外で営業活動を行いたいのです。そのために日々の業務にしっかりと取り組み、勉強を怠らず前向きに頑張っていきたいと思っています。

株主還元の充実

- 当社グループでは、企業価値を高めることで株主価値の向上を図ることを基本とし、株主の皆さまに対する利益還元につきましては、業績連動型の配当方針(配当テーブル)を採用しております。
- 第6次中期経営計画では、目標とする配当性向(連結)を、従来の30%程度から35%程度へ引き上げ、連結当期純利益の水準に応じて配当金をお支払する方針といたします(ただし、事業展開やリスク環境等により変更することがあります)。
- なお、連結当期純利益水準550億円以上の配当金目安を新たに設定し、配当テーブルを下表のとおりといたします。

■配当金目安テーブル

	連結当期純利益*1	1株あたり年間配当金目安	配当性向
新設	600億円以上	115円～	～37%
	550億円以上～600億円未満	105円～	33～36%
	500億円以上～550億円未満	95円～	33～36%
	450億円以上～500億円未満	85円～	32～36%
	400億円以上～450億円未満	75円～	32～36%
	350億円以上～400億円未満	65円～	31～36%
	300億円以上～350億円未満	55円～	30～35%
	250億円以上～300億円未満	50円～	32～38%
	200億円以上～250億円未満	45円～	34～43%
	150億円以上～200億円未満	40円～	38～51%
	150億円未満	35円～	45%～

■第6次中期経営計画 目標経営指標

	最終年度目標(2021年度)	2018年度比*2
連結当期純利益*1	575億円	+15億円程度
ROE	6%程度	横ばい
自己資本比率	12%程度	+1%程度
連結OHR	60%程度	▲4%程度

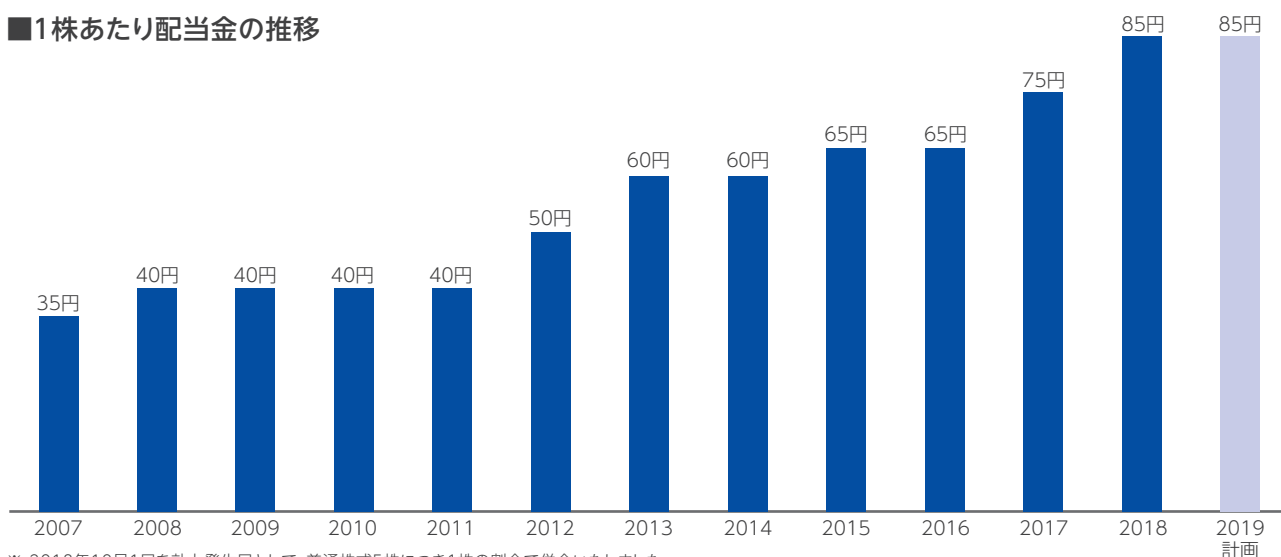
〈参考〉

	最終年度目標(2021年度)	2018年度比*2
総貸出金平残 (FFG・政府向け除く)	13.9兆円	+1.0兆円
総資金平残	18.3兆円	+1.4兆円

*1 親会社株主に帰属する当期純利益を指します。

*2 比較対象としている2018年度は十八銀行合算ベースとなります。

■1株あたり配当金の推移



※ 2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で併合いたしました。
上記の数値は、2018年9月以前の配当金を株式併合後の金額に引き直して計算しております。

【参考:2019年度の配当方針】

2019年度は、十八銀行との経営統合による一過性の要因があるため、上記配当テーブルにかかわらず、前年度配当額と同水準の85円を下限にお支払する予定です。
なお、業績を上方修正する場合、配当額は改めて検討します。

FFGにおけるCSR

当社グループは、『CSR』を「ステークホルダー（利害関係者：地域社会・お客さま・株主・従業員）とのよりよい関係を構築することにより、企業および社会の持続的成長を実現すること」と考え、法令遵守・リスク管理態勢の強化といった企業経営に関する取り組みはもとより、ステークホルダーに対するさまざまな取り組みを行っています。

また、当社グループは、グループ経営理念の実践とも言

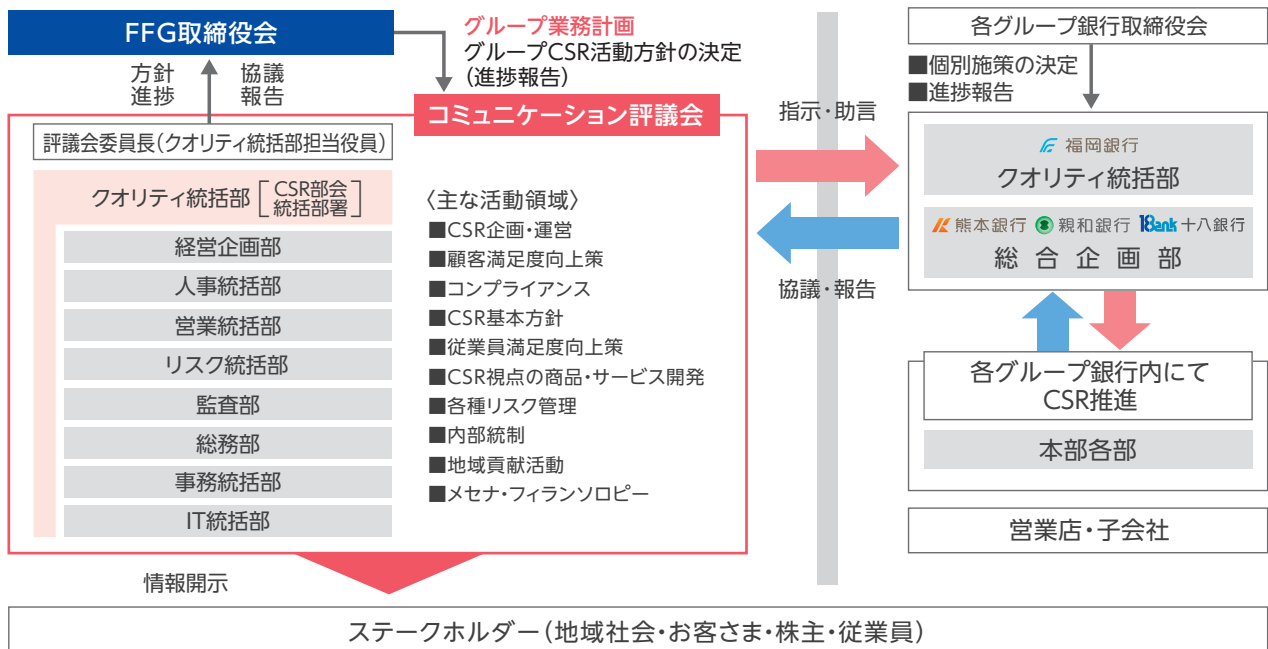
うべき事業活動そのものが『CSR』であると考え、地域金融機関に期待される地域社会の信用を維持するとともに金融の円滑を図り、地域経済の健全な発展に貢献する『社会の公器』（公共の機関）としての社会的責任はもとより、地域金融グループとしての役割・特性を活かして持続可能な社会を実現するため、最も貢献できる分野において、さまざまな変革と価値創造に寄与する活動を展開しています。

FFGにおけるCSRの定義

CSRとは、全てのステークホルダーがFFGに抱く経済的、法的・倫理的、もしくは心情的な期待に対して、バランスのとれた意思決定を行い、さまざまな価値を提供することで、ステークホルダーの持続可能な成長を促進し、FFGの持続的な発展を実現していくこと。



FFGのCSR経営/推進体制



当社グループで取り組むCSR活動は、その時々、社会的課題や要請に対し、受動的に 대응するのではなく、持続可能な活動として自発的かつ継続的に実施していくことが基本となります。

具体的には、活動方針として『3つの活動領域』と『3つの活動層』を設定しています。これは、「環境共生活動」・「生涯学習支援」・「ユニバーサルアクション」の3つの活動層を重点分野

として設定した上で、「銀行業務プロセス」・「商品・サービス」・「本業外の社会貢献」の3つの活動領域でそれぞれバランスをとりながら、さまざまな活動にチャレンジするものです。

CSR活動を通じて、当社グループの「広域展開型地域金融グループ」としての役割・特性を活かしながら、良き企業市民・良き企業人としての責務を果たすとともに、社会の変革と新たな価値創造に挑戦していきます。

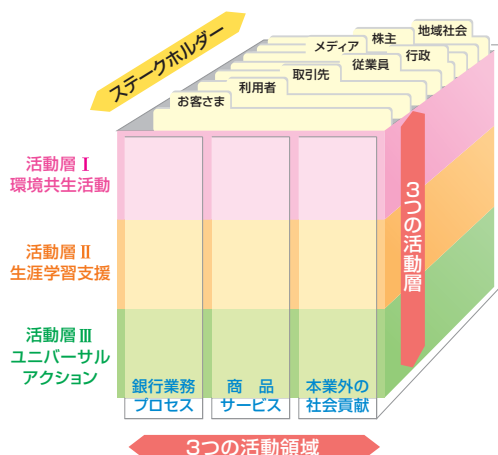
3つの活動領域(Activity Area)

<p>銀行業務プロセスにおけるCSR</p> <p>コーポレートガバナンス、法令等遵守、各種リスク管理、情報開示といった企業経営の根幹となる体制構築・整備をはじめ、従業員の雇用や自らの環境負荷軽減活動等といった、銀行業務の全プロセスに係る取り組み</p>
<p>銀行の商品・サービスによるCSR</p> <p>銀行のもつ金融機能を活用して、社会的に意義ある商品・サービスを開発・提供する取り組みおよび金融ビジネス</p>
<p>本業外の社会貢献におけるCSR</p> <p>本業とは直接的な関係は薄いですが、経営資源を活用して、社会的課題に関与する取り組み（ボランティア、文化芸術活動等含む）</p>

3つの活動層(Activity Layer)

<p>活動層Ⅰ 環境共生活動</p> <p>地球に負の影響をおよぼす環境問題は、当社グループが共生を図っていく『地域』にとっても看過できない重要課題です。当社グループは、自らの環境負荷の抑制・軽減に努めるとともに、『金融』がもつ役割・機能を介して、環境保全に資する商品・サービスを積極的にステークホルダーの皆さまへ提供していきます。</p>
<p>活動層Ⅱ 生涯学習支援</p> <p>次世代を担う子どもの豊かな感受性、人間性の形成はもちろんのこと、全ての人々のライフサイクルに応じたさまざまなシーンで、金融知識の普及を通じた生涯学習を支援していきます。また、企業市民としての『法人』を対象とした各種啓蒙活動にも取り組みます。</p>
<p>活動層Ⅲ ユニバーサルアクション</p> <p>店舗チャネルなどのハード面や、商品・サービスなどのソフト面、従業員一人ひとりの応対といったヒューマン面において、高齢者、障がい者、子ども、女性などに特定しない『みんなに優しい』をキーワードにした、デザイン、機能、サービスを充実させる活動を展開します。</p>

3つの活動領域と3つの活動層の組み合わせ(CSR CUBE)



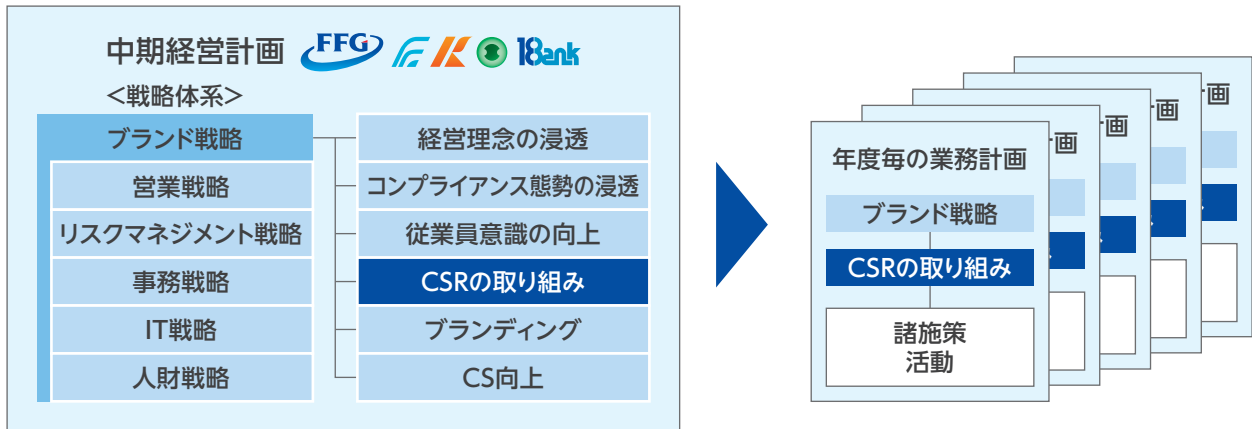
3つの活動領域と3つの活動層の最適な組み合わせ=バランスのとれたCSR経営を展開することで、社会の変革と新たな価値創造に挑戦していきます。

また、社会のCSRに対する関心の高まりを踏まえ、事業活動を通じたステークホルダーへの価値提供に係る各種情報をCSR視点で収集・体系化の上、正確かつ分かりやすい内容で積極的に開示していきます(ホームページ、ディスクロージャー誌等で情報開示を行います)。

CSRと経営戦略の融合

当社グループのCSRは、グループ経営理念に基づく事業活動そのものであり、その事業活動の中・長期的な視点で方向付ける『中期経営計画』や、中期経営計画の経営目標を実現するために年度ごとに策定される『業務計画』と一体不可分の関係にあります。そのため、FFGで取り組むCSRの活動は、グループ各社の中期経営計画や業務計画の中で

各種戦略と融合し、具体的な活動/施策として反映されています。また、経営陣自らがCSR活動におけるリーダーシップを発揮し、ビジョンと責任感をもって率先垂範して行動することで、全ての従業員を動機付け、グループ全体の活動状況を適時適切にモニタリングしていきます。



環境共生活動

環境への取り組み

当社グループでは、2009年4月にグループ共通の環境方針を策定し、環境問題に対して、自らの環境負荷の抑制・軽減に努めるとともに、「金融」が持つ役割・機能を通じて、環境保全に繋がる商品やサービスを積極的に提供しています。

環境格付融資 FFG「エコ・ローン」

オリジナリティと地域密着を目指し、地元九州の環境に配慮した経営を行う企業の取り組みをFFG独自の「環境格付」で評点化、金利優遇を行う商品を取り入れています。

エコ活動

当社グループ独自の節電プログラムを展開し、電力使用量の削減に努めています。また、太陽光発電や営業店のATMコーナーへのLED照明の採用など、エコオフィス化も推進しています。

あわせて、社員一人ひとりの環境保全への意識向上を目指し、支店独自の環境美化活動も積極的に実施しています。

FFGの環境方針4つの柱

(1) 環境マネジメントシステム(EMS)の継続的実施

- 地域の環境保全のために、目標を設定し、具体的な活動を通じて達成を目指します。
- 活動を評価し、必要な見直しを行うなど、環境マネジメントシステムを継続的に改善します。

(2) 本業を通じた環境面への取り組み

- 本業を通じて環境活動の側面からも地域貢献に努めます。

(3) 環境配慮活動の実施

- 省エネ・省資源活動への取り組みおよび環境保全に配慮した社会貢献活動の実践により、環境への負荷軽減に努めます。

(4) 全役職員への周知と徹底

- 本方針を当グループ全役職員が認識し、一人ひとりが環境問題について考え、自主的に行動し、改善活動を実践していきます。



生涯学習支援

次世代を担う子どもたちの成長を支援するため、金融知識の普及や文化芸術・スポーツ活動の機会の提供といった生涯学習支援を実施しています。

小学生向けの金融教室



親和銀行では、長崎国際大学開催の公開講座「NIUキッズキャンパス」で教室を開催しました。銀行の話や模擬紙幣を使った体験を通じて、保護者を含め約100名の参加者に、お金にまつわる学びを提供しました。

女声合唱フェスティバル



熊本銀行協賛による第33回「女声合唱フェスティバル」を開催し、31団体、約600名が参加しました。エンディングで熊本地震復興の祈りを込めて全員で「ふるさと」を合唱し、力強い歌声がホール内に響き渡りました。

高校生金融経済クイズ選手権



十八銀行では、第13回全国高校生金融経済クイズ選手権の長崎大会を主催し、行員24名が運営をサポートしました。県内11チーム22名の参加者に、金融経済の仕組みを楽しみながら学ぶことで、夢を実現し生活を守るための「金融知力」を培う機会を提供しました。

ラグビーフェスタ



福岡銀行ラグビー部では、11回目となる「FFGラグビーフェスタ」を開催しました。福岡・熊本・長崎3県から、主に小学校高学年のラグビーチーム90名を招待し、指導や交流試合を通じて、たくさんの声援の中でプレーの楽しさを感じていただきました。

ユニバーサルアクション

「みんなに優しい」銀行を目指して

障がいのある方やご高齢の方などに特定せず、誰もがもっと利用しやすい銀行を目指してバリアフリー機能を備えた店舗へのリニューアルを進めています。全店に、「車椅子」「補聴器」「コミュニケーションボード」などの各種ユニバーサルツールを設置しているほか、介助資格保有者の配置や点字名刺の使用、ユニバーサルマナー検定の導入など、バリアフリー対応を進めています。より多くのお客さまに心地よくお過ごしいただける店舗づくりを通じ、「あなたのいちばんに。」の実現を目指しています。

地域振興へのサポート

FFG文化芸術財団では、福岡・熊本・長崎の3県において、地域振興に繋がる活動を行っている個人・団体に対し、公益事業「ふるさと振興基金」として活動資金の助成を行っています。2018年度下期は、3県で総額335万円を12先に助成しました。

公益財団法人「十八銀行社会開発振興基金」では、長崎県内における地域の教育、科学、文化、スポーツ、社会生活環境の整備および国際化等に関する活動をサポートするため、2018年度下期には総額284万円を10先に助成しました。

TABLE FOR TWO

2009年6月から、従業員の健康維持と社会貢献へ同時に取り組む「TABLE FOR TWO」に参加しています。グループ内4拠点の社員食堂でヘルシーメニューを注文すると、1食につき20円が発展途上国の学校給食費として寄付されます。2019年3月末までの寄付金は、合計2,600,130円となります。

BELCA賞の受賞

福岡銀行本店営業部の建物が、国土交通省所管の公益財団法人ロングライフビル推進協会が主催する「第28回BELCA賞(ロングライフ部門)」を受賞しました。黒川紀章設計の大胆な構成による巨大な軒下空間を公開空地として地域に開放し続け、近年ではオープンカフェやスロープの設置による大幅改修で街路との繋がりを深めるなど、市民に親しまれる建物として長期にわたる適切な維持保全や優れた改修を実施してきたと評価されました。



「みんなに優しい」店舗づくり

- ・店舗のバリアフリー化
- ・お客さま責任者・介助資格取得者の全店配置
- ・普通救命講習受講者の配置
- ・認知症サポーターの配置
- ・下記ユニバーサルツールの全店設置

(AED・車椅子・老眼鏡・視覚障がい者対応ATM・コミュニケーションボード(聴覚障がいがある方・外国人)・耳マーク案内板(筆談でのご案内)・助聴器・貸傘・ほじり犬ステッカー)



車椅子寄贈



コミュニケーションボード

コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンスの基本的な考え方

当社グループは、株主、お客さま、地域社会、従業員等のあらゆるステークホルダーに対し価値創造を提供する金融グループを目指すことをグループ経営理念として掲げ、経営の基本方針としております。

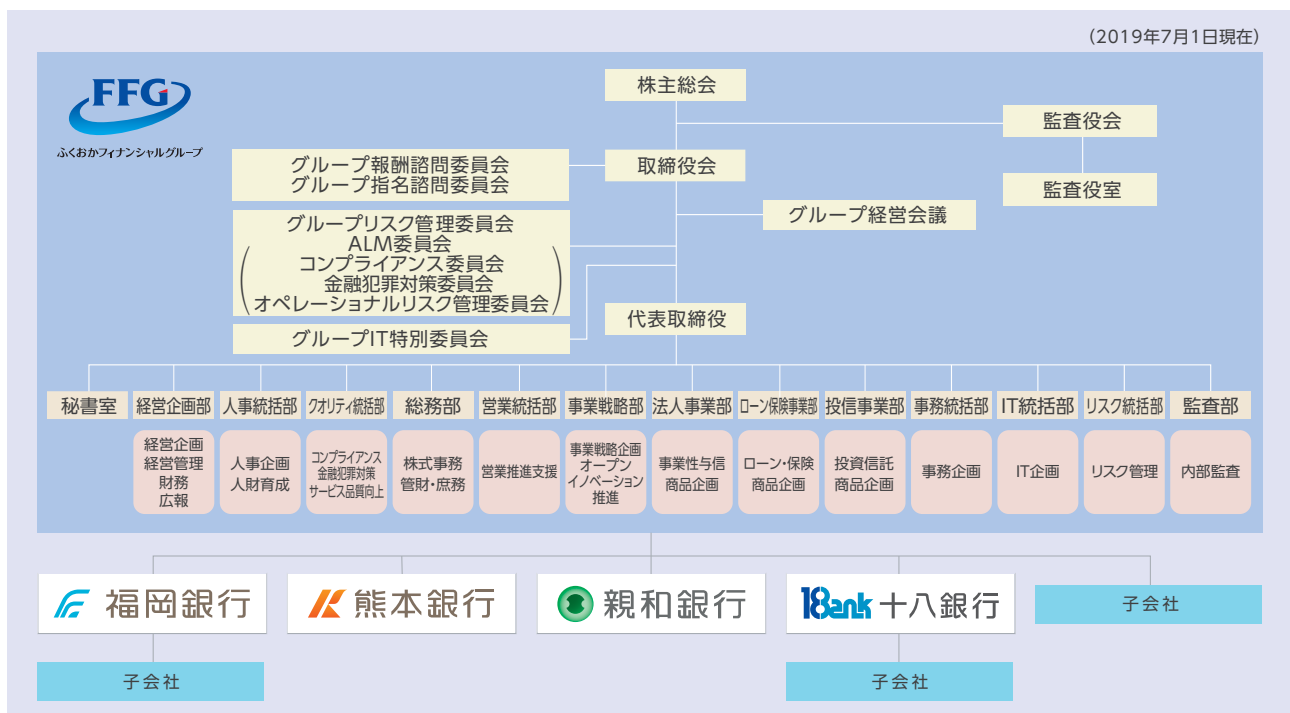
このグループ経営理念のもと、当社は、当社の中核子会

社である福岡銀行、熊本銀行、親和銀行および十八銀行を中心とした当社グループを統括する持株会社として、グループの経営資源を適切に活用しグループ全体の健全且つ適切な運営を行うため、実効性の高いコーポレートガバナンスの実現に取り組んでおります。

コーポレートガバナンス体制

当社の経営機構・業務機構の概要は以下のとおりであります。

■コーポレートガバナンス体制図



●取締役会および取締役

取締役会は13名の取締役(うち社外取締役2名)で構成されており(監査役3名も出席)、法令・定款で定める事項のほか、グループ経営に係る基本方針の協議・決定や、子銀行の経営管理、業務執行等における重要な事項に関する意思決定を行うとともに、取締役および執行役員職務の執行を監督しております。

●監査役会および監査役

監査役会は3名の監査役(うち社外監査役2名)で構成されており、グループ全体の監査に係る基本方針および監査計画に基づき、取締役の職務執行状況の監査のほか、グループ全体の業務および財産の状況等に関する調査を行っております。

■取締役会の構成

役職名	氏名	備考
取締役会長兼社長(代表取締役)	柴戸 隆成	福岡銀行 取締役会長兼頭取(代表取締役)
取締役副社長(代表取締役)	吉田 泰彦	福岡銀行 取締役副頭取(代表取締役)
取締役副社長(代表取締役)	白川 祐治	福岡銀行 取締役副頭取(代表取締役)
取締役執行役員	森川 康朗	福岡銀行 取締役副頭取(代表取締役)
取締役執行役員	横田 浩二	福岡銀行 取締役副頭取(代表取締役)
取締役執行役員	野村 俊巳	熊本銀行 取締役頭取(代表取締役)
取締役執行役員	青柳 雅之	熊本銀行 取締役副頭取(代表取締役)
取締役執行役員	吉澤 俊介	親和銀行 取締役頭取(代表取締役)
取締役執行役員	大庭 真一	親和銀行 取締役専務執行役員(代表取締役)
取締役執行役員	森 拓二郎	十八銀行 取締役頭取(代表取締役)
取締役執行役員	福富 卓	十八銀行 取締役専務執行役員(代表取締役)
社外取締役	深沢 政彦	アリックスパートナーズ・アジア・LLC アジア共同代表兼日本共同代表
社外取締役	小杉 俊哉	合同会社THS経営組織研究所 代表社員

■監査役会の構成

役職名	氏名	備考
監査役(常勤)	田中 和教	
社外監査役	杉本 文秀	長島・大野・常松法律事務所 マネージング・パートナー
社外監査役	山田 英夫	早稲田大学大学院経営管理研究科 教授

Pick up! 取締役会の実効性評価の結果(概要)

取締役会は、毎年、取締役会全体の実効性について分析・評価を行っております。この取り組みを継続することにより、コーポレートガバナンスの実効性を更に高め、中長期的な企業価値向上に繋げてまいります。

2018年度の評価の方法および結果の概要は以下のとおりです。

[評価方法]

取締役会の実効性評価は、以下の方法にて実施しました。

- ① 取締役・監査役・執行役員に対してアンケートを実施
- ② 社外役員には、より幅広い意見を得るため、インタビューを実施
- ③ ①②の結果を踏まえ、取締役会全体の実効性を取締役会にて分析・評価し、課題認識の共有や改善策の協議等を実施

なお、評価方法全般およびアンケートの内容については、外部専門家の客観的な目線によるレビューを踏まえて決定しております。

[評価結果(概要)]

- 全体として、取締役会は適切に運営され、取締役会全体の実効性を確保していることを確認しました。
- 昨年の評価結果を踏まえ、取締役会・経営会議等の議案資料の早期提供や、執行部門の主要テーマ・課題等を経営陣間で共有するための報告等を実施しました。
- また、社外役員が執行部門と毎月さまざまなテーマについて自由に意見交換する場を継続して設けており、当社に対する理解を深め、中期経営計画の策定に関して専門的知見に基づくアドバイスをいただくなど、社外役員が当社の期待する役割を果たし、適切に社内の議論に関与できる体制を構築しております。
- さらに企業価値向上に向けて、従来以上に戦略的議論を活性化させることが重要であるとの課題認識を共有しました。
- 取締役会以外の場も含めて、戦略に係る重要テーマをしっかりと議論できる態勢を整えるとともに、社外役員の知見を一層発揮いただくため、執行部門との更なる連携強化に取り組むこと等を確認しました。

●監査役室

監査役制度を有効に機能させるため、監査役をサポートする専属スタッフ(2名)を配置しております。

●グループ指名諮問委員会・グループ報酬諮問委員会

グループ指名諮問委員会およびグループ報酬諮問委員会は、経営の透明性と公正性を高めるため、取締役会の諮問機関として、取締役等の選解任に関する事項や取締役等の報酬に関する事項等を審議しております。なお、それぞれの構成は以下のとおりです。

グループ指名諮問委員会		グループ報酬諮問委員会	
取締役会長兼社長	柴戸 隆成 (諮問委員長)	取締役会長兼社長	柴戸 隆成
取締役副社長	吉田 泰彦	取締役副社長	吉田 泰彦
取締役副社長	白川 祐治	社外取締役	深沢 政彦 (諮問委員長)
社外取締役	深沢 政彦	社外取締役	小杉 俊哉
社外取締役	小杉 俊哉	社外監査役	杉本 文秀
社外監査役	杉本 文秀	社外監査役	山田 英夫
社外監査役	山田 英夫		

●グループ経営会議

グループ経営会議は11名の業務執行取締役(議長は社長)で構成されており(常勤監査役も出席)、取締役会で定める基本方針や委嘱された事項に基づき、グループ経営計画やグループ業務計画等の業務執行に関する重要な事項を協議しております。

●グループリスク管理委員会

グループリスク管理委員会は11名の業務執行取締役および所管部長(委員長は社長)で構成されており(常勤監査役も出席)、グループ全体の各種リスク管理態勢に係る協議のほか、資産ポートフォリオ管理、コンプライアンス、金融犯罪対策管理に関する事項等についての協議・報告を行っております。

●グループIT特別委員会

グループIT特別委員会は11名の業務執行取締役および所管部長(委員長は社長)で構成されており(常勤監査役も出席)、グループ全体のITガバナンスの強化を図るため、IT戦略やシステムリスク管理強化およびシステム投資等について協議しております。

●執行役員

取締役会の意思決定の迅速化と業務執行機能の強化を図るため、取締役会の決議により20名(うち11名は取締役を兼務)の執行役員を選任し、業務執行を委嘱しております。

コンプライアンスへの取り組み

コンプライアンス(法令等遵守)は、信用が最大の財産ともいえる金融機関にとって最も重要なテーマのひとつであり、当社グループでは、コンプライアンスを経営の最

重要課題のひとつと位置づけ、コンプライアンス態勢の充実と強化に取り組んでいます。

コンプライアンス憲章

■信頼の確立

社会的責任と公共的使命の重要性を常に認識し、健全かつ適切な業務運営を通じて、お客さまや社会からの長期的にわたる揺るぎない信頼の確立を図ります。

■地域社会への貢献

お客さまの満足をお客さまの目線で考え、お客さまのニーズに適合した質の高い金融サービスの提供を通して、地域社会・経済の発展に貢献いたします。

■法令等の厳格な遵守

あらゆる法令やルールを厳格に遵守することはもとより、社会的規範に則り、誠実かつ公正な企業活動を遂行します。

■情報の適切な管理

お客さまに関する情報および業務上の機密情報について、適切な管理と保護を徹底いたします。

■社会とのコミュニケーション

適時適切な情報開示を積極的かつ公正に行い、経営の信頼性・透明性の確保に努めるとともに、環境への取組

みをはじめ、広く社会とのコミュニケーションを行います。

■人権の尊重

全ての人の基本的人権を尊重するとともに、日々の研鑽により人権感覚を醸成し、人間尊重を基本とした企業活動を行います。

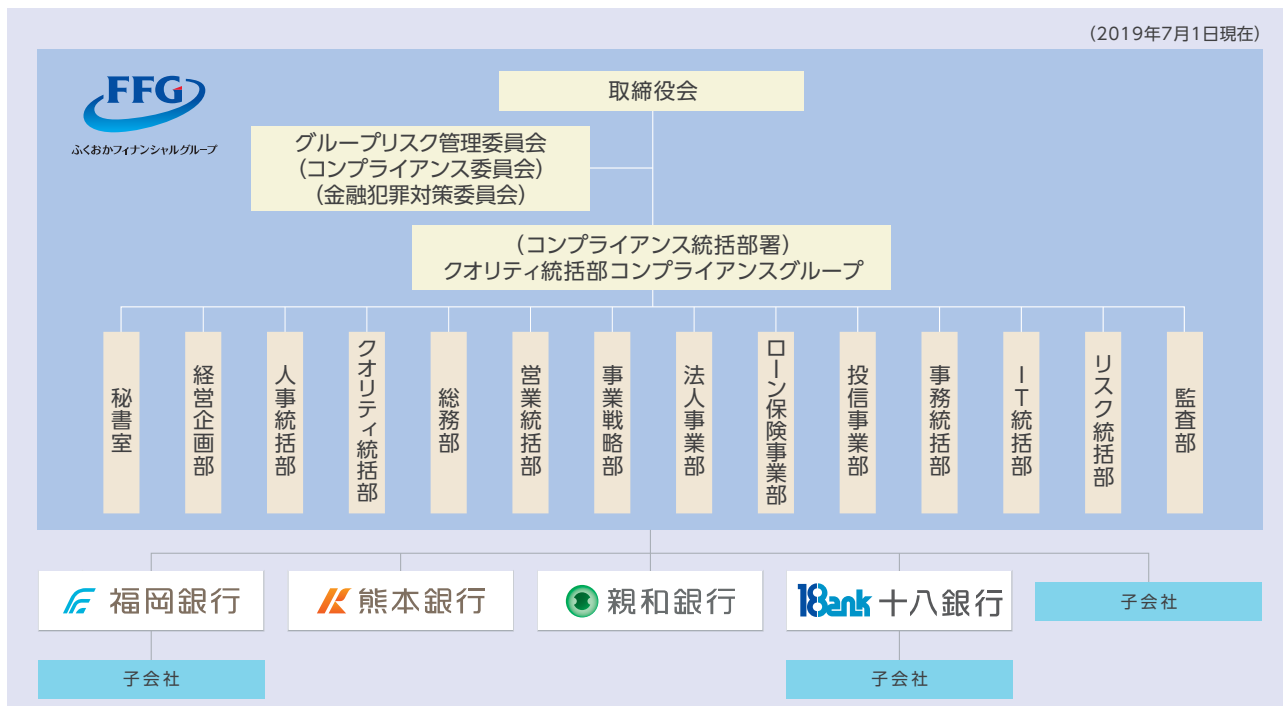
■反社会的勢力との関係遮断、テロ等の脅威への対応

市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体に対しては、毅然とした態度を貫き、関係遮断を徹底します。また、国際社会がテロ等の脅威に直面している中で、マネー・ローンダリング対策およびテロ資金供与対策の高度化に努めます。

■経営陣の率先垂範

経営陣および各部門の責任者は、本憲章の精神を実現することの重要性を認識し、率先垂範の上、グループ内に周知徹底します。本憲章に反するような事態が発生した場合は、自ら問題解決にあたる姿勢を明らかにし、原因究明、再発防止に努めます。

■コンプライアンス体制



基本方針

コンプライアンスに関するグループ共通の基本的な価値観、精神、行動基準を示した「コンプライアンス憲章」ならびに倫理規程・行内ルールおよび法令等を集大成した「コンプライアンス・マニュアル」を制定し、研修指導等により周

知徹底しています。また、具体的実践計画として「コンプライアンス・プログラム」を年度毎に策定し、各種規程の一層の整備等に取り組んでいます。

コンプライアンス運営体制

当社および子銀行は、取締役会の下部組織として「コンプライアンス委員会」を設けるとともに、コンプライアンス統括部署を設置し、コンプライアンス態勢および顧客保護等管理態勢の評価・チェックを定期的実施しています。

顧客保護・個人情報保護

当社および子銀行は、お客さまの正当な利益の保護や利便性の向上に向けた継続的な取り組み（金融円滑化の観点や金融ADR制度の観点からの顧客保護を含む）を行っております。

金融商品販売については、当社および子銀行に金融商品管理部署を設置し、金融商品取引法等への法令等対応、モニタリング等により顧客保護等管理態勢の強化に取り組んでいます。

お客さまからの相談、要望および苦情等について、公正・迅速・誠実に対応し、お客さまのご理解と信頼を得られるよう努めるとともに、サービス品質の向上、取り組みの改善に役立てています。

また、個人情報についても、適切な保護と利用を図るため「個人情報保護宣言」等各種規程を整備し、各部署内に個人情報管理者を設置するとともに、継続的な研修等により適切な取扱いに努めています。

反社会的勢力の排除

当社および当社グループ会社は、反社会的勢力の対応所管部署を定めるとともに、警察、弁護士等外部専門機関とも連携し、反社会的勢力からの不当要求や介入等に対し

て毅然とした態度で取引防止に努めています。また、具体的な規程等を整備するとともに、従業員向けの研修を定期的実施しています。

マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策

当社および当社グループ会社は、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策を経営の重要課題のひとつと捉え、経営陣の関与の下、組織全体として実効的な管理態勢構築に取り組んでいます。具体的には、全社的にマネロン・テロ

資金供与リスクを特定・評価しつつ、自らを取り巻く事業環境・経営戦略、リスクの許容度も踏まえた上で、当該リスクに見合った低減措置を実施しております。

指定紛争解決機関制度への対応

当社グループ4行は、公正中立な立場で苦情および紛争の解決を図るため、以下の指定紛争解決機関と手続実施基本契約を締結しています。

	福岡銀行・熊本銀行・親和銀行・十八銀行	福岡銀行
指定紛争解決機関の名称	一般社団法人全国銀行協会	一般社団法人信託協会
連絡先	全国銀行協会相談室	信託相談所
電話番号	0570-017109 または 03-5252-3772	0120-817335 または 03-6206-3988

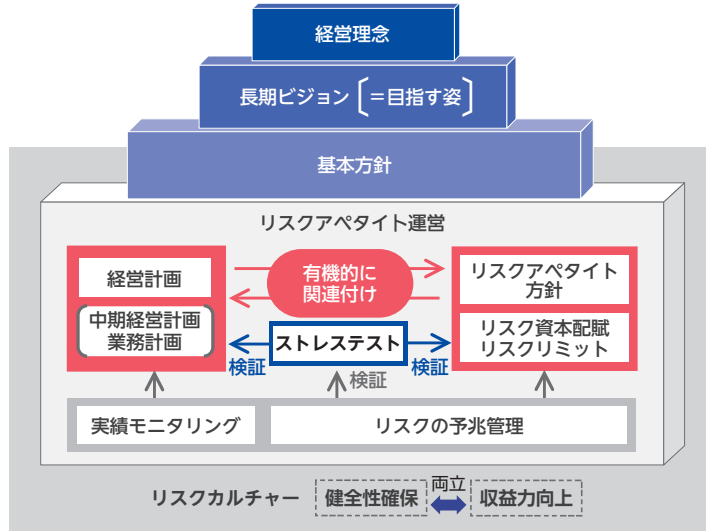
リスクアペタイト・フレームワーク

リスクアペタイト・フレームワークの全体像

金融機関では、貸出金にかかる信用リスクや有価証券投資にかかる市場リスクなど、事業等から発生する様々なリスクを引き受ける対価として収益を得ています。

当社グループでは、経営目標を達成するために自らが意図して引き受けるリスクの種類と量を「リスクアペタイト」として明確化し、このリスクアペタイトを起点として、経営管理やリスク管理を行う「リスクアペタイト・フレームワーク」を導入しています。

リスクアペタイト・フレームワークを整備することで、リスクテイクに対する考え方が明確化されるため、より多くの収益機会の追求と、より適切なリスクのコントロールが可能となります。



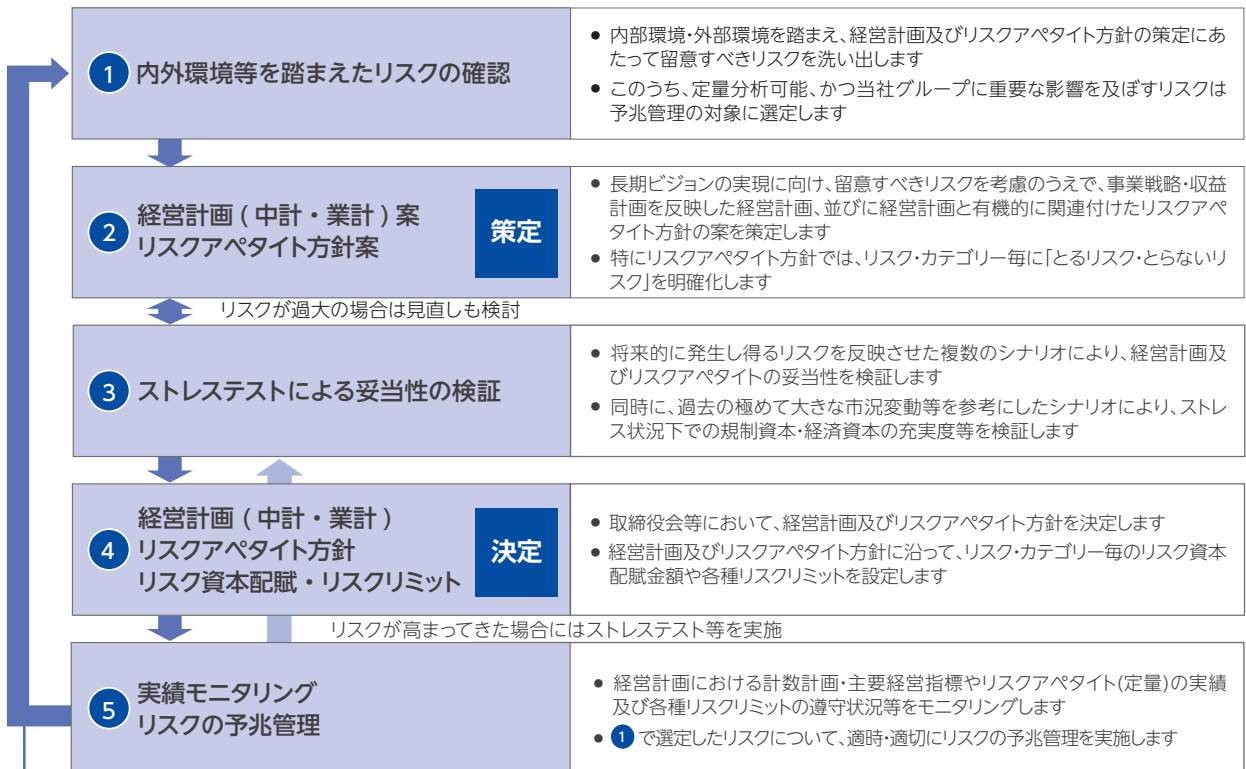
リスクアペタイト運営のプロセス

当社グループでは、経営計画やリスクアペタイト方針の策定にあたって事前に留意すべきリスクを洗い出し、重要なリスクの選定を行っています。

経営計画とリスクアペタイト方針は、洗い出した留意すべきリスクを考慮のうえで策定・決定しますが、これらは有機

的に関連付けて策定しており、ストレステストにより妥当性を検証のうえで決定しています。

期中は、実績モニタリングを通じてリスクアペタイトに沿った運営状況を確認するとともに、重要なリスクの予兆管理を実施しています。



リスクアペタイト運営上の課題等を踏まえて、翌期の経営計画やリスクアペタイト方針を検討・策定します

リスクアパタイト方針

リスクアパタイト方針とは、リスクテイクに関する戦略を示すものであり、6つのリスク・カテゴリー^(注)毎に「とるリスク・とらないリスク」を明確化したものです。

リスクアパタイト方針は、これらのリスク・カテゴリー毎のリスクテイクの基本的な考え方を示す「基本方針」と、具体

的なリスクテイクの方法とその定量的な水準を示す「リスクアパタイト(定性・定量)」から構成されます。

(注)①統合的リスク、②市場リスク、③信用リスク、
④流動性リスク、⑤オペレーショナル・リスク、
⑥コンプライアンス・リスクを指します。

リスク資本配賦とリスクリミット

当社グループでは、統合的リスク管理の枠組みのもとでリスク資本配賦制度を運営し、リスクの総量が自己資本の範囲内に収まるようコントロールしています。

⇒ 統合的リスク管理はP.56をご参照ください

また、各リスクにおけるリスクリミット(リスク量の上限や損失限度額等)は、リスク資本配賦制度と整合的になるよう設定しています。また一部のリスクリミットは、リスクアパタイト(定量)の指標としても取り込んでいます。

ストレステスト

金融機関を取り巻く外部環境が劇的に変化する中、当社グループではストレステストをビジネスモデルの持続可能性を評価する有効な手段と位置付けています。

当社グループでは、複数の種類のストレステストを実施し、各種リスクへの対応力強化を図っています。具体的には、将

来的に発生し得る信用リスクや市場リスク等の悪化を反映させた複数のストレスシナリオによる経営計画及びリスクアパタイトの妥当性の検証、過去の極めて大きな市況変動等を参考にしたシナリオによるストレス状況下での規制資本・経済資本の充実度の検証等を行っています。

実績モニタリング

当社グループでは、経営計画における計数計画・主要経営指標やリスクアパタイト(定量)の実績及び各種リスクリミットの遵守状況等をモニタリングし、乖離が大きい場合

等には、必要に応じて原因を究明のうえで対応策を検討・実施しています。

リスクの予兆管理

当社グループでは、留意すべきリスクとして洗い出したもののうち、定量分析可能、かつ当社グループに重要な影響を及ぼすリスクの予兆管理を実施しています。具体的には、生産・雇用関連指数や期待物価上昇率といったさまざまな定量的指標を構成項目としたリスクヒートマップ等を活用して、将来のリスク顕在化の予兆を捉えようとする取り組みを

行っています。

リスクの予兆管理の目的は、「当社グループが留意すべきリスクの高まりを迅速に把握すること」「顕在化の蓋然性が高く、かつ影響が大きなリスクに対して早期に具体的な対応策の検討・実施に繋げ、当社グループが被る影響を最小限に止めること」です。

リスク管理への取り組み

リスク管理について

金融の自由化・グローバル化やIT技術の発展につれ、銀行にとってのビジネスチャンスが拡がりを見せる一方で、銀行が直面するリスクは一段と多様化・複雑化しています。こうした環境下、リスクを特定し、把握・分析した上で、適切にコントロールしていくリスク管理の重要性は従来にも増して高まっています。

当社グループでは、業務遂行上のさまざまなリスクを可能な限り統一的な尺度で計測し、統合的に把握した上で、「健全性の維持」と「収益力の向上」を両立させるバランスの取れた経営を目指して、グループ全体のリスク運営を行っています。

また、当社グループでは地域に根ざしたグループ各行の

ブランドを活かした広域展開を図りながら、共通化した経営インフラによるシングルプラットフォーム型の効率的な経営展開を行っています。

リスク管理に関しても、各種リスク管理手法の高度化やインフラ整備を共通のリスク管理プラットフォームにおいて水平的に展開する態勢としています。

規程体系の面では、リスク管理に係るグループ内の共通規範として『リスク管理方針』を制定するとともに、年度毎にリスク管理施策上のアクションプランとして『リスク管理プログラム』を策定し、グループ全体でリスク管理態勢の強化・高度化を推進しています。

リスクの分類と定義

当社グループでは、業務遂行から生じるリスクを可能な限り網羅的に洗い出し、下表のリスク種別に分類したうえで、それぞれのリスクの性質に応じた管理を行っています。

また、各リスクの管理手法に関しては、リスク計測技術の高度化などに応じて継続的な見直しを行い、より実効的な運営に努めています。

管理対象リスクの区分

リスクカテゴリー	定義	管理手法
信用リスク	信用供与先の財務状況の悪化等により、資産（オフバランス資産を含む）の価値が減少ないし消失し損失を被るリスク	VaRによる管理 統合リスク管理
市場リスク	金利、為替、株式等のさまざまな市場のリスク・ファクターの変動により、保有する資産・負債（オフバランスを含む）の価値が変動し損失を被るリスク、および資産・負債から生み出される収益が変動し損失を被るリスク	
金利リスク	資産と負債の金利または期間のミスマッチが存在している中で、金利が変動することにより利益が減少するないし損失を被るリスク	
価格変動リスク	有価証券等の価値が変動し損失を被るリスク	
為替変動リスク	外貨建資産・負債についてネット・ベースで資産超または負債超のポジションを有する場合に、為替の変動により損失を被るリスク	一定の定量的尺度による管理 統合的リスク管理
オペレーショナル・リスク	業務の過程、役職員の活動若しくはシステムが不適切であること、または外生的な事象により損失を被るリスク 下記のサブ・カテゴリーに分類して管理	
事務リスク	役職員およびその他組織構成員（パートタイマー、派遣社員等）が正確な事務を怠る、あるいは事故・不正等を起こすことにより損失を被るリスクおよびこれに類するリスク	
システムリスク	コンピューターシステムのダウンまたは誤作動等、システムの不備等に伴い損失を被るリスク、さらにコンピューターが不正に使用されることにより損失を被るリスクおよびこれに類するリスク（災害や社会インフラの事故等によるものも含む）	
有形資産リスク	事故、災害、犯罪または資産管理の瑕疵等の結果、有形資産の毀損により、損失を被るリスク	
労務リスク	労務慣行の問題（人事処遇の問題、勤務管理上の問題および組合活動の問題をいう）、並びに職場の安全衛生環境の問題に起因して損失を被るリスク、および役職員の不法行為により使用者責任を問われるリスク	
法務リスク	法令や契約等に違反すること、不適切な契約を締結すること、その他の法的原因により、損失を被るリスク	
風評リスク	顧客やマーケット等において、事実と異なる風説、風評で評判が悪化することにより損失を被るリスク、および不適切な業務運営等が明るみに出ることにより、信認が低下し、業務運営に支障をきたすリスク	定性的評価による管理
流動性リスク		
資金繰りリスク	運用と調達の間隔のミスマッチや予期せぬ資金の流出により、必要な資金確保が困難になる、または通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被るリスク	
市場流動性リスク	市場の混乱等により市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスク	

■ 当社グループにおけるリスク管理体制

当社グループは、当社および各子銀行により構成される「グループリスク管理委員会」を設置し、グループが抱えるさまざまなリスクの状況をモニタリングするとともに、内部環境や外部環境の変化に即したリスク運営施策を協議して

います。

また、グループ子銀行においても、当社と同様のリスク管理体制を設け、当社と緊密に連携しながらグループとして統合的なリスク管理を行っています。



統合的リスク管理

Ⅰ 統合的リスク管理とは

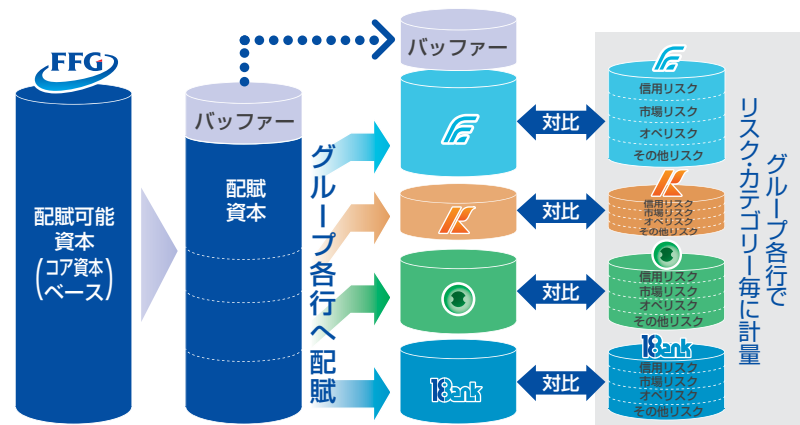
- 「統合的リスク管理」とは、金融機関の直面するリスクに関して、自己資本比率の算定に含まれない与信集中リスク、銀行勘定の金利リスク等のリスクも含めて、信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク等のリスク・カテゴリー毎に評価したリスクを統合的に捉え、金融機関の自己資本と対比することによって管理を行うことをいいます。
- 当社グループは、「金融機関の業務が多様化・複雑化する

中で、銀行の健全性・適切性を確保しつつ限られた資本を有効活用することで経営の効率性や収益性を高めるため、銀行のリスク・プロファイルを踏まえた適切な統合的リスク管理態勢を整備・確立する」という方針のもと、各種リスクをVaR等の統一的な尺度で計り、各種リスクを合算して、当社グループの連結自己資本と対比することによって統合的リスク管理を行っています。

Ⅱ リスク資本配賦制度

- 当社グループでは統合的リスク管理の枠組みのもとで、リスク資本配賦制度を導入しています。
- 具体的には、当社グループの連結自己資本（コア資本）をベースに、「配賦資本」を設定し、残余部分については定量的に計測困難なリスク等に対するバッファとして確保する枠組みです。
- 「配賦資本」は、グループ各行へ配賦され、月次でのモニタリング・管理を行います。

■ グループリスク資本配賦制度の枠組み



自己資本管理

- 当社グループでは、自己資本充実度を適切に管理し、リスクに見合った十分な自己資本を確保することにより、グループ全体の業務の健全性・適切性を維持するよう努めています。
- 具体的には、「規制資本」（自己資本比率規制上の所要自己資本）と、「経済資本」（統合的リスク管理に基づく所要リスク資本）の両面から、当社グループの自己資本充実度をモニタリングし、資本健全性に問題が生じないよう業務運

営を行っています。

- また、自己資本充実度の検証の一環として、定期的にストレステストを実施しています。これは、企業倒産や担保価値の下落などによる信用コストの増大や、金利や為替等の相場変動による保有有価証券の損失発生などに関し、複数のシナリオを設定したうえで、ストレス状況下での資本健全性を確認するもので、規制資本、経済資本の両面で実施しています。

Ⅰ リスク・アセット計測手法

自己資本比率規制におけるリスク・アセット計測手法については複数の選択肢が設けられており、適用状況は右表のとおりです。

信用リスク	オペレーショナル・リスク
先進的の内部格付手法 ① 福岡銀行 ② 熊本銀行* ③ 親和銀行* ④ 十八銀行*	粗利益配分手法 ① 福岡銀行 ② 熊本銀行 ③ 親和銀行
標準的手法 ① 熊本銀行* ② 親和銀行* ③ 十八銀行*	基礎的手法 ① 十八銀行

※ 福岡金融グループの連結自己資本比率算出上は、熊本銀行は先進的の内部格付手法、親和銀行は基礎的の内部格付手法、十八銀行は標準的手法により算定した計数を使用します。

自己資本管理

■リスク・ウェイト判定に使用する適合格付機関

標準的手法のリスク・ウェイト判定には下記の適合格付機関を統一的に使用しています。

- ・株式会社格付投資情報センター(R&I)
- ・株式会社日本格付研究所(JCR)
- ・ムーディーズ・インベスターズ・サービス(Moody's)
- ・S&Pグローバル・レーティング(S&P)

■当社および福岡銀行において先進的内部格付手法を部分的に適用していないエクスポージャーの性質、適切な手法に完全に移行させるための計画

先進的内部格付手法を適用している当社および福岡銀行において、一部の資産および関連会社について、標準的手法を適用しています。

1. 先進的内部格付手法の適用を除外する資産・関連会社

当社および福岡銀行では、下記の資産および関連会社について、残高が極めて僅少であること、個々の債権の信用リスクの詳細な把握に向けた取り組みがリスク管理の観点から極めて重要性に乏しいこと、信用供与を主要業務としていない事業単位であること等の理由から、先進的内部格付手法の適用除外とし標準的手法により信用リスク・アセットを算出しています。

また、今後につきましても、継続的に標準的手法で算出する予定です。

(資産)

- ・与信性を除く仮払金
- ・受入手数料等にかかる未収収益
- ・預金に内包されているデリバティブ取引
- ・トラベラーズ・チェックおよび外貨小切手に買取等

(関連会社)

ふくおかフィナンシャルグループの関連子会社

- ・株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ
- ・iBankマーケティング株式会社
- ・ゼロバンク・デザインファクトリー株式会社

福岡銀行の関連子会社

- ・福銀事務サービス株式会社
- ・福岡コンピューターサービス株式会社
- ・FFG証券株式会社
- ・株式会社FFGほけんサービス
- ・福銀不動産調査株式会社
- ・株式会社FFGビジネスコンサルティング
- ・株式会社FFGカード
- ・株式会社R&Dビジネスファクトリー

十八銀行の関連子会社

- ・十八ビジネスサービス株式会社
- ・株式会社長崎経済研究所
- ・株式会社十八カード
- ・十八ソフトウェア株式会社
- ・十八総合リース株式会社

2. 内部格付手法の段階的適用とする関連会社

当社では、下記の関連会社について、将来的な内部格付手法への移行を前提として段階的適用とし、標準的手法により信用リスク・アセットを算出しています。

なお、内部格付手法への移行は、2020年9月末を予定しております。

(関連会社)

ふくおかフィナンシャルグループの関連子会社

- ・株式会社十八銀行

十八銀行の関連子会社

- ・長崎保証サービス株式会社

信用リスク管理

信用リスクとは、「信用供与先の財務状況の悪化等により、資産（オフバランス資産を含む）の価値が減少ないし消失し損失を被るリスク」をいいます。

信用リスクは当社グループが保有する主要なリスクであり、資産の健全性を維持しつつ適正な収益をあげるうえで、適切な信用リスク管理を行うことは銀行経営における最も重要な課題のひとつとなっています。

当社グループの信用リスク管理は、マルチブランド、シングルプラットフォームという当社グループの経営展開に即し、グループ共通の格付制度・審査手法・信用ポートフォリオ

管理手法等をグループ各行に導入し、運営しています。

当社グループでは、グループ全体の信用リスク管理に関する基本方針を「リスク管理方針」に定め、その方針に基づき与信業務を適切に運営するための基本的な考え方、判断・行動の基準を明記した「与信の基本方針（クレジット・ポリシー）」をグループ各行毎に定めています。

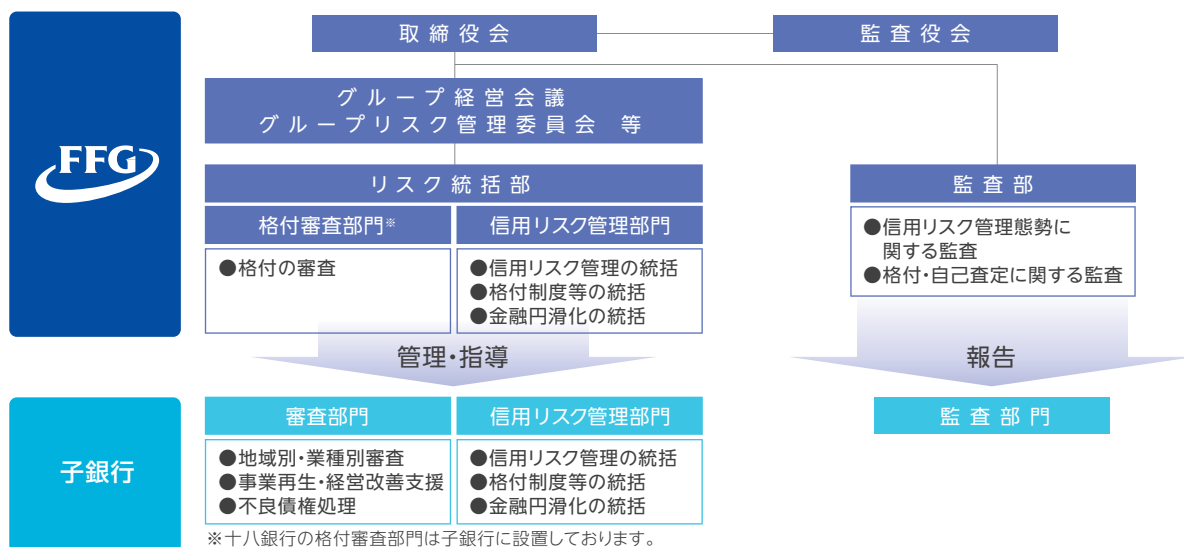
また、信用リスクに関するアクションプランを定めた「リスク管理プログラム」では、グループの信用リスク管理態勢の強化、グループの信用ポートフォリオ運営の高度化等を掲げています。

信用リスク管理体制

信用リスク管理体制として、当社のリスク統括部がグループ全体の信用リスク管理方針の策定、格付制度の管理等、信用リスクの管理・運営を統括しています。

個別案件の審査はグループ各行の審査所管部が、格付制度に基づく格付審査は当社の格付審査部門が中心となって、営業店とともに実施し、並行与信先等に関するグループレベルの管理を当社のリスク統括部が行います。

監査業務は、グループ各行の各監査部署から独立した立場の当社監査部が格付・自己査定 of 正確性、信用リスク管理態勢の適切性等の監査を行います。経営への報告として、当社監査部は当社の取締役会に、グループ各行の各監査部署は当社監査部からの監査結果報告を受け各行の取締役会に報告しています。



リスク管理への取り組み

信用リスク評価・信用リスク計量化

個別与信および与信ポートフォリオ全体の信用リスクを適切に管理するため、格付制度等に基づき与信先および案件毎の信用リスクの程度を適切に評価するとともに

信用リスクの計量化を行い、信用リスクを定量的に把握・管理しています。

(1) 内部格付制度

当社グループの内部格付制度は、大きくは①債務者格付、②案件格付、③リテール・プール管理および④パラメータ推計から構成されています。

■ 内部格付制度体系

格付手法	資産区分	エクスポージャーの種類	パラメータ推計 ^(注1)
債務者格付	事業法人向けエクスポージャー	法人や個人事業主に対する事業性の貸出金や債券等	PD LGD
	ソブリン向けエクスポージャー	国、地方公共団体等に対する貸出金や債券等	
	金融機関等向けエクスポージャー	銀行に対する預け金、コールローン等 証券会社に対する貸出金等	
プリティール管理	株式等エクスポージャー	株式、出資金等	PD LGD EAD
	特定貸付債権	不動産ノンリコースローン、プロジェクトファイナンス等	
	証券化エクスポージャー	CMBS、小口多数の金銭債権プールを裏付けとしたABL・信託受益権等	
プリティール管理	居住用不動産向けエクスポージャー	住宅ローン	PD LGD EAD
	適格リボルビング型リティール向けエクスポージャー	カードローン、キャッシング、ショッピング	
	その他リティール向けエクスポージャー(事業性)	事業性の与信残高が一定未満の先に対する貸出金等 (アパート・ローン、小口事業貸出商品等)	
	その他リティール向けエクスポージャー(消費性)	消費性ローン(オートローン、学資ローン等)	

① 債務者格付

与信先の債務履行の確実性を表すもので、財務内容の情報をスコアリングした結果等に基づいて事業法人等を対象に付与します。債務者格付は少なくとも年1回は定期的に見直すほか、与信先の信用状況に変化があれば随時見直しを行うことで、個々の与信先やポートフォリオの状況を適時に把握できる

ようにしています。

また、この債務者格付は、法令等に基づく「債務者区分」^(注2)や「債権区分」^(注3)等とリンクしているほか、自己査定および償却・引当の基礎としても使用するもので、信用リスク管理の中核として位置付けています。

■ 債務者格付と債務者区分、債権区分、内部格付手法のデフォルト区分との対応関係

格付ランク	リスクの程度	債務者格付 定義	債務者区分 ^(注2)	債権区分 ^(注3)	デフォルト区分	
					償却・引当	内部格付手法
1	リスク無	債務償還の確実性は最高水準であり、かつ安定している	正常先	正常債権	非デフォルト	非デフォルト
2	リスク僅少	債務償還の確実性は極めて高く、かつ安定している				
3	リスク小	債務償還の確実性は高く、かつ安定している				
4	平均比良好	債務償還の確実性は十分であるが、将来低下する可能性が存在する				
5	平均的水準	債務償還の確実性は当面問題ないが、将来低下する可能性がある				
6	許容範囲	債務償還の確実性は当面問題ないが、将来低下する可能性が高い				
7	平均比低位	債務償還の確実性は現状問題ないが、将来低下する懸念がある				
8	要注意1	債務償還上問題が顕在化しており、今後の管理に注意を要する	要注意先	要管理債権	非デフォルト	デフォルト
9	要注意2	債務償還上重大な問題が顕在化しており、今後の管理に細心の注意を要する (以下のいずれかに該当 ・3ヵ月以上延滞している貸出債権がある先 ・貸出条件緩和債権がある先)				
10	破綻懸念	経営難の状況にあり、今後経営破綻に陥る可能性が大きい	破綻懸念先	危険債権	デフォルト ^(注4)	デフォルト
11	実質破綻	法的・形式的な破綻には至っていないが、実質的に経営破綻の状態にある	実質破綻先	破産更生債権およびこれらに準ずる債権		
12	破綻	法的・形式的な破綻となっている	破綻先			

(注1) 十八銀行のパラメータ推計は現在導入準備中です。

(注2) 金融庁が公表している金融検査マニュアルで求められている、与信先の債務返済能力等に応じた区分です。

(注3) 「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」第6条の規定により、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に定める資産の査定基準に基づき求められている、債務者の財政状態および経営成績等を基礎とする区分です。

(注4) 破綻懸念先は、その一部をデフォルトとして認識しています。

信用リスク管理

②案件格付

事業法人等を対象に、保全状況等に基づいて案件格付を付与し、与信案件ごとの回収確実性を把握します。

③リテール・プール管理

リテール向けエクスポージャーについて、リスク特性が類似したプール区分を設定し、各エクスポージャーをプール区分に割当てることにより、プール単位での信用リスク管理を行うものです。

具体的には、4つの資産区分等(居住用不動産向けエクスポージャー、適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー、

その他リテール向けエクスポージャー(事業性)、その他リテール向けエクスポージャー(消費性))ごとに、リスク特性に応じてPD・LGD・EADの似通ったプール区分を設定した上で、各エクスポージャーを当該プールに割当て、リテール・ポートフォリオの信用リスクの状況を把握します。

■ リテール・プール区分の概要

資産区分 プール区分	居住用不動産向け エクスポージャー	適格リボルビング型 リテール向け エクスポージャー	その他リテール向けエクスポージャー	
			事業性	消費性
PDプール区分	延滞の状況、取引先の属性や取引状況、商品の種類等により、デフォルトの可能性に応じたプールに区分しています。			
LGDプール区分	担保の状況、商品の種類、残高等により、損失の可能性に応じたプールに区分しています。			
EADプール区分	商品の種類、延滞の状況、極度枠の利用状況等により、デフォルト時の追加引出の可能性に応じたプールに区分しています。			

④パラメータ推計

事業法人等エクスポージャーについてPD・LGDを、リテール向けエクスポージャーについてPD・LGD・EADを推計し、自己資本比率計算での利用以外に、同一のパラメータ値により信用リスク計量を行っています。

また、事業法人等については、同一のデータソースを用いて

償却・引当等に用いるPD値を算定しています。

各パラメータは、原則として過去7年以上の実績データを基に、推計誤差や景気変動を勘案した値を算定しています。パラメータの推計値は、原則として年1回以上のサイクルで検証を行い、必要に応じて見直しを行う態勢としています。

(2) 内部格付制度の管理と検証手続

当社グループでは、内部格付制度の管理と検証について以下の態勢を構築しています。

①債務者格付

規程に則った格付制度の運用が、格付審査部門や営業店において行われていることを適宜検証しているほか、格付制度や格付モデル等の客観性、有意性、適切性等について定期的に検証を行い、格付制度やモデルの調整・改定の要否などについての必要な対応を検討する態勢としています。

②案件格付

デフォルト案件の回収実績データを継続的に蓄積することで、案件格付と回収実績を比較し、案件格付の検証を実施できる態勢としています。

③リテール・プール管理

リテール・プール区分の精度、およびプールの序列やプールごとのパラメータ推計値の安定性、リテール・プール区分の調整・改定の要否など、必要な対応を検討する態勢としています。

④パラメータ推計

パラメータ推計値の正確性や一貫性等についてバック・テスト(二項検定、正規検定等)により検証を行い、パラメータ推計値の調整や推計手法の改定の要否など、必要な対応を検討する態勢としています。

(3) 信用リスク計量化

信用リスクを合理的に把握し、自己資本政策の効率的運用と適切な与信条件の提示のために、信用リスクの計量化を実施しています。この計算結果を基に、リスク資本の配賦や与信ポートフォリオ管理を実施しています。

■ 個別与信管理の枠組み

個別案件の審査にあたっては、事業計画の妥当性や資金使途の確認、返済財源の把握、技術開発力・商品等の競争優位性、経営管理など幅広い観点から分析・評価を行い、併せて担保等による債権保全の妥当性を検証するなど営業店および本部審査部門双方の段階において、的確かつ厳正な与信判断を行っています。さらに、与信後においても、各種信用情報の収集、業界動向の分析、財務データの更新・分析、格付判定による業態の把握、担保評価の定期的な洗い替え、延滞管理の強化などのフォロー管理を徹底し、

不良債権発生についての予防的な管理、発生時の迅速かつ適切な対応に努めています。

本部審査部門では、業種や信用状況に応じた担当割りを行い、きめ細かな案件審査や営業店指導を行うとともに、本部・営業店間の情報交換を緊密に行い、与信先の業態の変化などに即応できる体制をとっています。

また、人財の育成とノウハウの蓄積を進めるとともに、外部機関等との連携体制を構築するなど、経営改善の早期実現に取り組んでいます。

■ 担保・保証による信用リスクの削減

当社グループでは、与信取り組みに際し担保・保証に安易に依存することなく、お取引先の経営状態、資金使途、返済能力等を総合的に勘案した与信判断を行っていますが、お取引先の業況変化等を完全に予測することは不可能であり、不測の事態への備えとして担保・保証による信用リスクの削減を補完的に行うことは重要であると考えています。

自己査定や償却引当、先進的内部格付手法による自己資本比率算出における主要な信用リスク削減効果は、国、地方公共団体、信用保証協会等の信用リスクが低い先による保証、および不動産等の担保によるものです。

不動産担保については、営業部門から独立した当社グ

ループ会社の福銀不動産調査株式会社が評価を行っています。同社では、原価法・取引事例比較法・収益還元法などを物件特性等に応じ適用し、定期的な評価見直しによる不動産価格変動等の反映、ゴルフ場など特殊大型物件についての不動産鑑定士の評価取得など、精度の高い評価を行っています。

また、自己資本充実度管理を行う上で、地価下落等による担保価値変動リスクを織り込んだストレス・テストのシナリオを設定し、不動産担保へのリスク集中の影響を勘案しています。

■ 自己資本比率計算における信用リスク削減手法の適用

①標準的手法

以下の信用リスク削減手法を勘案しています。

いずれも、契約書を締結し、対象物件の占有や登記等による法的有効性を確保しています。

- 1.貸出金との相殺が可能な自行預金(一定要件を満たした定期預金などが対象で、貸出金、預金とも残高、期日等を日次で把握しています)
- 2.適格金融資産担保(預金、国債、上場株式・債券等で、価格変動が生じる上場株式・債券等については、日次での評価見直しが可能なものに限定しています)
- 3.保証(主な保証人は、国、地方公共団体、信用保証協会です。そのほか、適格格付機関が格付を保証人に付与している場合も、信用リスク削減効果を勘案しています)
- 4.派生商品取引(外国為替関連取引、金利関連取引等)およびレポ形式の取引(現金担保付債券貸借取引等)における相対ネットリング契約

②基礎的内部格付手法(一部のエクスポージャーに適用)

上記の1~4に加え、以下の信用リスク削減手法を勘案しています。

- 5.適格資産担保(不動産担保、船舶担保等)
- 6.保証(債務者格付ランクを付与している場合)

③先進的内部格付手法

上記の2~6の信用リスク削減手法を勘案しています。

※自行預金はLGD推計において勘案しております。

信用リスク管理

■ 与信ポートフォリオ管理の枠組み

信用リスクは、景気の変動等により、業種など共通の特性を持つグループに集中して顕在化する場合があります。このため、与信のポートフォリオが特定の業種や地域等に偏っていると、経済社会の循環的・構造的な変動により予想外に多額の損失を被る可能性があります。

こうした潜在的な損失リスクは、個別の与信先に対する管理のみでは捕捉することが困難であり、業種別のデフォルトの変動特性などを加味してリスクを計量化する等により、ポートフォリオとしての管理を行う必要があります。

(1) 自己資本の範囲内での適切なリスクコントロール

「リスク資本配賦制度」において、信用リスクに対するリスク量の枠(配賦リスク資本)を設定し、月次でリスク資本の使用状況をモニタリングし、適切なリスクコントロールに努めています。

(2) 集中リスクの抑制

特定先や特定業種への与信集中を制御するために、大口与信先(グループ)に対する与信残高アラームラインの設定、与信が比較的集中している業種に対する与信集中業種の指定の他、危険度が比較的高いと認められた業種を特定業種として指定し、特段の注意をもって与信管理を行っています。

派生商品取引および長期決済期間取引にかかるリスク管理

■ リスク資本および与信限度枠の割当方法に関する方針

派生商品取引等のリスク管理については、統合的リスク管理の枠組みに従い、派生商品取引等の種類に応じたリスクを適切に把握した上で、リスク量の上限を設定しています。なお、統合的リスク管理の状況については、月次でグループリスク管理委員会に報告しています。

また、派生商品取引等の経常的な取引相手となる金融機関には、その信用力に応じた取引限度額(カレント・エクスポージャー方式により算出した信用リスク相当額)を設定し、その遵守状況を月次でグループリスク管理委員会に報告しています。

■ 担保による保全および引当金の算定に関する方針

経常的に派生商品取引等の相手先となる主要な金融機関との間でCSA契約(デリバティブ担保契約)を締結しており、相手先の信用力や取引状況に応じて担保を徴求することにより保全の強化を図っています。(外部格付の低下や取引状況の変化等により、同契約に従って担保を追加的に提

供することが必要となる可能性もありますが、影響は限定的と認識しています)

なお、派生商品取引等についても、貸出金と同様の枠組みで自己査定を実施しており、必要に応じてその他の偶発損失引当金を計上しています。

証券化エクスポージャー

■ リスク管理の方針およびリスク特性の概要、体制の整備状況

当社グループは、投資家として証券化商品への投資を行っています。なお、オリジネーターとしての証券化エクスポージャーはありません。具体的な取り組み状況は下表記載のページをご覧ください。

グループ各行における取組状況	福岡銀行	熊本銀行	親和銀行	十八銀行
オリジネーター	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
投資家	財務データ編 P.90、P.101	該当なし	該当なし	財務データ編 P.226

投資家としての証券化取引は、証券化商品を保有することにより、信用リスク、市場リスクおよび一定の環境の下で売却が困難になるなどの流動性リスク(市場流動性リスク)を有していますが、当社グループではこれらのリスクを次のとおり管理しています。

まず、証券化商品への投資を行う際の投資基準として、他の商品との合算または必要に応じて商品単位で信用リスク、市場リスクおよび市場流動性リスクといった特性を踏まえて投資限度枠等を定めた「市場取引運用基準」や、投資できる証券化商品の種類や投資対象の内部格付の下限等の投資条件を定めた「投資要領」等を制定し、これらの基準の範囲内で投資を行っています。

次に証券化取引では、信用リスクを資産の保有者(オリジネーター)から切り離すことを目的にさまざまな仕組み(ストラクチャー)が組み込まれているため、個々の投資に際して

は、「仕組みの分析」、「裏付資産の分析」および「補完機能の確認」等を含め、取引に内在する諸リスクを適切に把握・評価した上で、担当役員等の決定を受けて取り組んでいます。なお、再証券化取引については、原則として当面の間、取り組まない方針です。

取り組み後についても、フロントおよびミドル部門が、証券化エクスポージャーの構造上の特性を把握し、証券化エクスポージャーやその裏付資産について、包括的なリスク特性やパフォーマンスに係る情報を適時かつ継続的に把握するための体制を整備しています。また、定期的に格付変動の有無や時価の変動状況、トリガー条項(含む償還方法の変更)や誓約事項(コベナンツ)への抵触状況、裏付資産の状況および商品の市場流動性の状況といった諸リスクをモニタリングし、定期的にまたは必要に応じてALM委員会等に報告するなど、適切なリスク管理態勢を整備しています。

■ 証券化取引に関する会計方針

当社グループは、「金融商品会計に関する実務指針」等に則り、適正な会計処理を行っています。

■ 自己資本比率計算における信用リスク・アセット額の算出に使用する方式の名称

投資家となっている証券化取引については「外部格付準拠方式」及び「標準的手法準拠方式」により信用リスク・アセット額を算出しています。

市場リスク管理

当社グループでは、市場リスクを「金利、為替および株式等のさまざまな市場のリスク・ファクターの変動により、資産・負債（オフバランスを含む）の価値が変動し損失を被るリスク、資産・負債から生み出される収益が変動し損失を

■ 当社グループの市場リスク管理

当社グループでは、取締役会が市場リスク管理にかかる基本方針を制定しています。この基本方針を踏まえ、グループリスク管理委員会においてALM運営を含めた市場リスクの管理方針を決定し、施策の実施状況およびリスクの状況に関するモニタリングを通じて、グループ全体のリスクをコントロールする体制としています。

また、当社のリスク管理部門は、グループ各行の市場リスク管理部門からの報告に基づき、グループ全体の市場リスクおよび市場リスク管理の状況を把握・分析し、グループ各

■ グループ各行の市場リスク管理

グループ各行の取締役会は、当社が定めた「市場リスク管理方針」を踏まえた基本方針および具体的管理方法を定めた管理規則を制定し、行内の関連部署に周知させ遵守する態勢を整えています。

グループ各行では、ALM委員会においてマーケット環境の変化に対する機動的かつ具体的な対応策を協議し、グループリスク管理委員会に諮ります。

グループ各行のリスク限度枠等については、当社から配賦されたリスク資本額やその他市場リスク管理に必要な限度枠を常務会等で設定し、半期に一度、見直しを行っています。

市場取引にかかる組織は、市場取引部門（フロント・オフィ

■ 金利リスクに関する事項

当社グループおよびグループ各行では、トレーディング取引等を含む全ての金利感応資産・負債の金利リスクの水準をモニタリングする一環として ΔEVE （注）を月次で計測しています。 ΔEVE の計測対象範囲は、当社およびグループ各行とし、グループ関連会社については重要性を踏まえて判断しています。

リスク管理部門は、自己資本に対する ΔEVE の比率に加え、VaRおよび10BPV等の金利リスクに関する指標を計測し、グループリスク管理委員会およびグループ各行のALM委員会に月次で報告しています。また、VaRおよび10BPV

被るリスク」と定義しています。

当社グループの市場リスクは、以下のように統括して管理しています。

行の市場リスク管理部門へのリスク管理態勢にかかる助言、取締役会等に対する定期報告を実施する体制としています。

具体的には、グループ各行のリスク・プロファイルを勘案して配賦したリスク資本と整合させて設定した各種リスク限度枠の運用状況をモニタリングするなどして、市場リスクを管理しています。このリスク限度枠の設定については、トレーディング部門、バンキング部門ともVaR^(注)を共通の尺度としています。

（注）VaRは、一定の確率のもとで発生し得る予想最大損失額を表しています。

ス）、リスク管理部門（ミドル・オフィス）、事務管理部門（バック・オフィス）の3部門を明確に分離することで、相互牽制の徹底を図っています。

リスク管理部門は、VaRや10BPV（ベース・ポイント・バリュール）^(注)を用いたリスクの計測および規程の遵守状況のモニタリングを行い、当社のリスク管理部門、グループ各行のリスク管理部門担当役員に対しトレーディング取引およびバンキング取引の状況について月次で報告するとともに、グループリスク管理委員会およびグループ各行の取締役会に対しても定期的に報告する等、リスク管理態勢の強化に努めています。

（注）10BPVは、金利が0.1%変動した場合の評価損益変動額を表しています。

については、アラーム・ポイントを設定した上でモニタリングを行うなど、金利リスクを適切に管理しています。

また、自己資本の充実度評価やストレステストの実施にあたり、過去の金利上昇やマクロ経済シナリオに基づく金利変動による影響等を定期的に検討しています。

なお、金利リスクを削減する方法としては、有価証券の売却、金利スワップ、債券先物取引等があり、ヘッジ会計の適用要件を充足する取引については、ヘッジ会計を適用しています。

（注） ΔEVE とは、金利ショックを与えた場合の経済価値の減少額を表しています。

出資等または株式等エクスポージャーに関するリスク管理

■ リスク管理の方針および手続の概要

当社グループでは、政策投資に関する基本方針に基づき、お取引先の株式等を保有しており、購入・管理・売却・報告等について適切なリスク管理を行っています。

購入については、投資先の成長性、取引状況、公共的位置づけ等、総合的な観点から投資の可否を判断しています。

管理については、投資先の取引状況および業態管理を行い、継続保有あるいは売却について協議、決定しています。

報告態勢としては、株価下落率の高い銘柄の報告に加え、

購入および売却銘柄について四半期ごとにグループリスク管理委員会に報告しています。なお、購入および売却時は、投資先に関するインサイダー情報の有無確認等の法令遵守を徹底しています。

また、価格変動リスクについては、月次でグループリスク管理委員会に報告し、リスク量が配賦リスク資本額内に収まっているかモニタリングしています。

流動性リスク管理

当社グループでは、流動性リスクを「運用と調達の間期のミスマッチや予期せぬ資金の流出により、必要な資金確保が困難になる、または通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被るリスク(資金繰りリスク)および市場の混乱等により市場において取引が

できなかつたり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスク(市場流動性リスク)」と定義しています。

当社グループの流動性リスクは、当社が以下のように統括して管理しています。

■ 当社グループの流動性リスク管理

当社グループでは、流動性リスクの軽視が経営破綻や、ひいては金融機関全体の連鎖的破綻(システムック・リスク)の顕在化につながりかねない重要なリスクであるとの認識のもと、取締役会が流動性リスク管理にかかる基本方針を制定しています。この基本方針を踏まえ、グループ各行のALM委員会での協議を経て、グループリスク管理委員会において流動性リスクの管理方針を決定し、施策の実施状況およびリスクの状況のモニタリングを通じて、グループ全体のリスクをコントロールする体制としています。

また、当社のリスク管理部門は、グループ各行の流動性

リスク管理部門からの報告に基づき、当社グループの流動性リスクおよび流動性リスク管理の状況を把握・分析し、グループ各行の流動性リスク管理部門へのリスク管理態勢にかかる助言、取締役会等に対する定期報告を実施する体制としています。

具体的には、グループ各行のリスク・プロファイルを勘案して、グループ各行において資金繰りの状況に応じた管理区分および管理区分に応じた対応方法等の制定および資金繰りにかかる各種リスク限度枠を設定し、管理を行っています。

■ グループ各行の流動性リスク管理

グループ各行の取締役会は、当社が定めた「流動性リスク管理方針」を踏まえた基本方針、具体的管理方法を定めた管理規則および流動性危機時の対応方針を定めた規則を制定し、グループ各行ではこれらに則り流動性リスク管理を行っています。

グループ各行では、ALM委員会においてマーケット環境の変化に対する機動的かつ具体的な対応策を協議し、グループリスク管理委員会に諮ります。

グループ各行のリスク限度枠等については、リスク・プロファイルに応じて資金繰りリミットや担保差入限度額等を常務会等で設定し、半期に一度、見直しを行っています。

グループ各行の資金繰りの状況について、状況に応じた管理区分(平常時、懸念時、危機時等)および状況に応じた

対応方針を定め、資金繰り管理部門が月次で管理区分を判断し、グループリスク管理委員会が必要に応じて対応方針を協議する体制としています。

流動性リスクにかかる組織は、資金繰り管理部門、リスク管理部門、内部監査部門の3部門を明確に分離することで、相互牽制の徹底を図っています。

リスク管理部門は、規程の遵守状況のモニタリング等を行い、当社のリスク管理部門、グループ各行のリスク管理部門担当役員に対し流動性リスクおよびリスク管理の状況について月次で報告するとともに、グループリスク管理委員会およびグループ各行の取締役会に対しても定期的に報告する等、リスク管理態勢の強化に努めています。

オペレーショナル・リスク管理

オペレーショナル・リスクとは、当社グループの業務において内部プロセスの不備や役職員のミス、システムの不具合、または災害等の外的要因により損失が発生するリスクをいい、事務リスク・システムリスク・有形資産リスク・労務リスク・法務リスク・風評リスクに分類して管理しています。

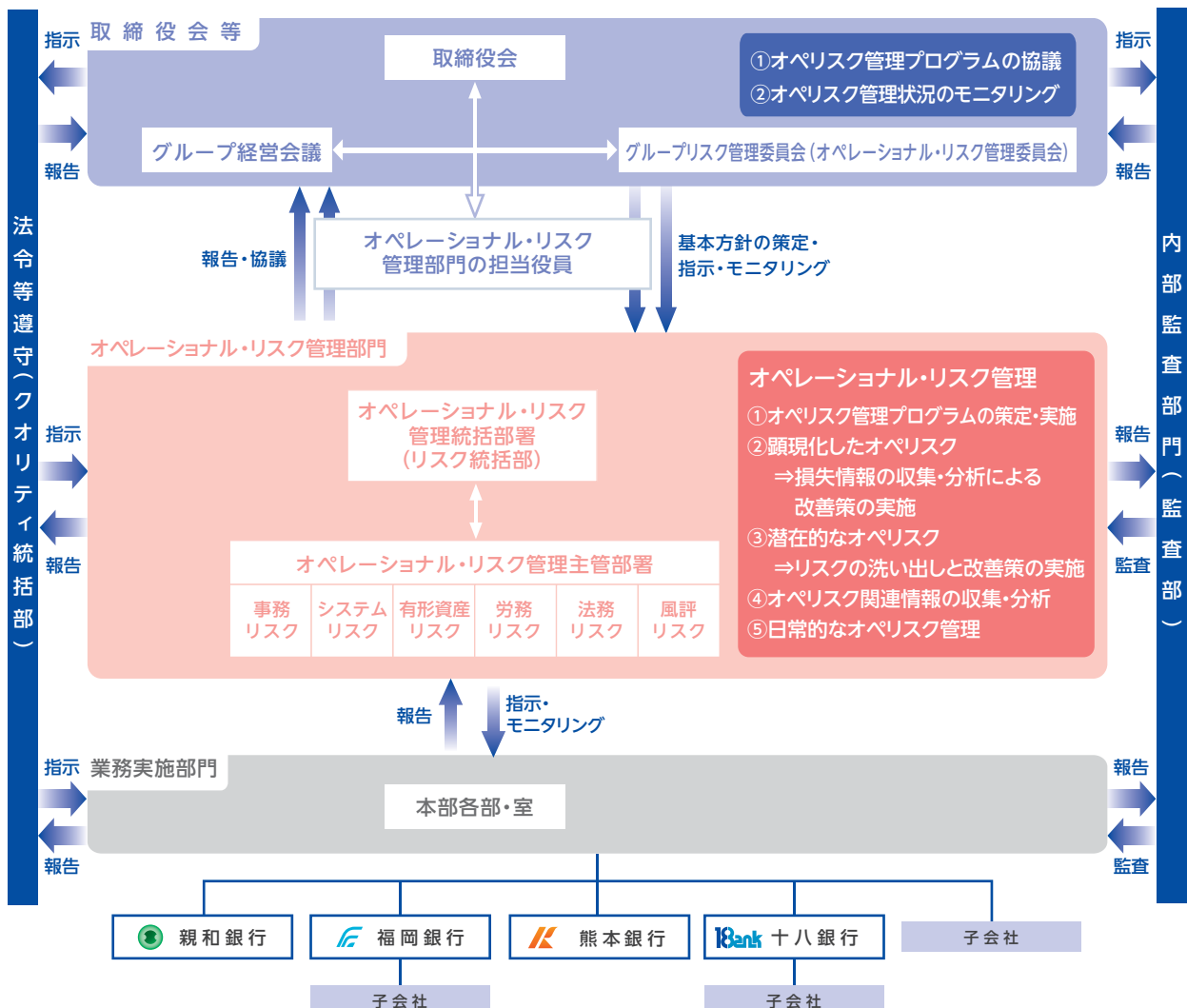
金融技術の高度化や規制緩和の進展による商品や取扱業務の多様化、システム・ネットワークの拡大に伴い、事務ミス・不正事故・災害等による大規模損失の発生可能性は高まっており、こうした環境変化に対応し、予防的なリスク管理態勢を構築するためにも、オペレーショナル・リスク管理の重要性は、ますます高まっています。

当社グループでは、取締役会において、オペレーショナル・リスクを適切に管理するための組織体制および仕組みを

整備し、リスク顕現化の未然防止と発生時の影響を極小化するための基本事項を定めた「オペレーショナル・リスク管理規則」や、年度ごとに優先的に取り組むべき事項を定めた「オペレーショナル・リスク管理プログラム」を制定し、オペレーショナル・リスクを総合的に管理しています。

さらに、オペレーショナル・リスクを適切に特定・評価・把握・管理・削減するために、顕現化したリスクに関しては関連する損失情報を収集・分析し、潜在的なリスクに関してはリスク・コントロールセルフアセスメント(RCSA⇒リスクとコントロールの有効性に関する自己評価)等により、適切な対応策を実施するとともに、取締役会やオペレーショナル・リスク管理委員会を通して適時・適切なモニタリング・コントロールを実施しています。

Ⅰ 当社グループのオペレーショナル・リスク管理体制



オペレーショナル・リスク管理

■ 事務リスク

事務リスクとは、当社グループの役職員が正確な事務を怠ったり、不正を起こしたりすることによって、経済面あるいは信用面の損失を被るリスクをいいます。

当社グループでは、全ての業務に事務リスクが内在するとの認識のもと、取締役会において、事務リスクの適切な管理とコントロールを実現していくための基本事項を定めた「事務リスク管理規則」や、年度ごとに優先的に取り組むべき事項を定めた「事務リスク管理プログラム」を制定し、事務リスクの総合的な管理を行っています。

■ システムリスク

システムリスクとは、当社グループのコンピューターシステムの停止、誤作動、不正利用、または外部からのサイバー攻撃等により損失が発生するリスクをいいます。

当社グループでは、進化し続けるICT(情報通信技術)の動向を的確に捉えながら、グループ全体のサービス品質の向上、業務の効率化、システムの安全稼働等を最優先の課題とし、取締役会において、情報資産を適切に保護し管理するための基本方針を定めた「セキュリティポリシー」、システムリスクに関し適切な管理とコントロールを実現していくための基本事項を定めた「システムリスク管理規則」や、年度ごとに優先的に取り組むべき事項を定めた「システムリスク管理プログラム」を制定し、システムリスクを総合的に管理しています。

グループ各行では、システムの安全稼働に万全を期すために、コンピューター機器をはじめコンピューターセンターと営業店・ATM等を結ぶ通信回線や預貸金情報を蓄積し

また、事務に内在するリスクやコントロールの分析・評価を行い、潜在的な事務リスクへの対策を講じるとともに、顕現化した事務リスクについては幅広く情報の収集・分析を行い、事務ミス・事務事故の再発防止に努めています。

このほか、グループ各行では、ますます多様化・複雑化する業務に適切に対処していくため、業務のシステム化や集中化を推し進めるとともに、集合研修や臨店指導を通じて役職員の事務レベル向上に取り組むなど、事務リスク低減に向けたさまざまな取り組みを行っています。

ている元帳データ等の二重化、情報の暗号化および不正アクセス・情報漏洩を防止するシステムを導入しています。

また、地震等の大規模災害等、不測の事態に備えて業務継続計画(BCP)による定期的な訓練を実施するとともに、グループ各行ともメインセンター・バックアップセンターの2拠点でシステムを運営する体制としており、不測の事態が発生した場合においても継続して金融サービスが提供できるバックアップ体制となっています。

さらに、近年のサイバーセキュリティに対する脅威の深刻化等を踏まえ、サイバー攻撃動向や脆弱性等の情報を収集・把握し、迅速な対応を実施するため、情報セキュリティ部会(FFG-CSIRT)^(注)を設置するなど、セキュリティ管理態勢の充実・強化に取り組んでいます。

(注) CSIRT(Computer Security Incident Response Team)
…サイバーセキュリティ事案の迅速な対応を目的とした組織

■ 有形資産リスク

有形資産リスクとは、当社グループにおいて事故、災害、犯罪または資産管理の瑕疵等の結果、有形資産の毀損により損失が発生するリスクをいいます。

当社グループでは、自然災害や外部からの脅威等の増加により有形資産が毀損するリスクが増加しているとの認識のもと、取締役会において、有形資産リスクに関し適切な管理とコントロールを実現していくための基本事項を定めた

「有形資産リスク管理規則」や、年度ごとに優先的に取り組むべき事項を定めた「有形資産リスク管理プログラム」を制定し、有形資産リスクを総合的に管理するとともに軽減するための適切な方策を講じています。

なお、グループ各行においては、バリアフリーの充実などお客さまへのサービス拡充および耐震強化のため、引き続き店舗建替え・改修工事を計画的に進めています。

■ 労務リスク

労務リスクとは、当社グループの労務慣行（役職員の人事処遇や勤務管理上の問題等）および職場の安全衛生環境上の問題により損失が発生するリスク、並びに役職員の不法行為により使用者責任を問われるリスクをいいます。

当社グループでは、労務リスクは重要なオペレーショナル・リスクの一つであるとの認識のもと、取締役会において、労務リスクに関し適切な管理とコントロールを実現していく

ための基本事項を定めた「労務リスク管理規則」や、年度ごとに優先的に取り組むべき事項を定めた「労務リスク管理プログラム」を制定し、労務リスクを総合的に管理するとともに軽減するための適切な方策を講じています。

また、人権啓発に関する研修を定期的実施するとともに、外部の人権啓発行事への積極的な参加により、グループ役職員の人権に関する意識向上に取り組んでいます。

■ 法務リスク

法務リスクとは、当社グループが法令や契約等に違反すること、不適切な契約を締結すること、その他の法的原因により損失を被るリスクをいいます。

当社グループでは、事務リスクと同様に全ての業務に法務リスクが内在するとの認識のもと、取締役会において、法務リスクに関し適切な管理とコントロールを実現していくための基本事項を定めた「法務リスク管理規則」や、年度ごとに優先的に取り組むべき事項を定めた「法務リスク管理プロ

グラム」を制定し、法務リスクを総合的に管理しています。

さらに、協議・報告を通して、法務リスク管理態勢に必要な指導・助言を行うとともに、法務リスクに関連する情報を一元管理し、法務リスク管理態勢の強化に努めています。

なお、法務リスクに関連する情報を日常的に収集・把握することを通して、法務リスク管理態勢の充実と強化に取り組んでいます。

■ 風評リスク

風評リスクとは、マーケット等において、噂や憶測といった曖昧な情報や、事件事象等の発生に伴う風評から当社グループの評判が悪化すること等により、直接、間接を問わず損失を被るリスクをいいます。

当社グループでは、取締役会において、風評リスクに関する基本事項を定めた「風評リスク管理規則」を制定し、風評リスクの管理に取り組んでいます。また、風評リスクが顕

現化した場合には、迅速かつ適切に風評リスクを回避するための危機管理体制を構築し、事態の収拾・沈静化を図り、影響を最小限に止めるよう努めています。

さらに、グループ各行との協議・報告を通して、風評リスク管理態勢に必要な指導・助言を行うとともに、風評リスクに関するモニタリング等により、関連情報の収集を行うことで、風評リスク管理態勢の強化に取り組んでいます。

企業集団の状況

企業集団の事業内容

当社グループは、当社および子会社26社で構成され、銀行業を中心に保証業務、事業再生支援・債権管理回収業務、銀行事務代行業務等の金融サービスを提供しています。

企業集団の事業系統図

2019年7月1日現在



当社の主要グループ会社

2019年7月1日現在

会社名	住所	主な事業の内容	設立	資本金 又は出資金(注1) (百万円)	議決権の所有割合(%) ※ ()内は間接所有				
					ふくおか フィナンシャルグループ	福岡銀行	熊本銀行	親和銀行	十八銀行
株式会社福岡銀行	福岡市中央区天神 2丁目13番1号	銀行業	昭和20年 3月31日	82,329	100	-	-	-	-
株式会社熊本銀行	熊本市中央区水前寺 6丁目29番20号	銀行業	昭和4年 1月19日	33,847	100	-	-	-	-
株式会社親和銀行	佐世保市島瀬町 10番12号	銀行業	昭和14年 9月1日	36,878	100	-	-	-	-
株式会社十八銀行	長崎市銅座町 1番11号	銀行業	明治30年 7月	24,404	100	-	-	-	-
株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ	福岡市中央区大手門 1丁目8番3号	投融資業務	平成28年 4月1日	10	100	-	-	-	-
iBankマーケティング株式会社	福岡市中央区西中洲 6番27号	情報処理・ 情報通信サービス業務	平成28年 4月1日	30	87 (87)	-	-	-	-
ゼロバンク・デザインファクトリー株式会社	福岡市中央区西中洲 6番27号	システム研究・開発業務	令和元年 5月10日	50	100	-	-	-	-
〈福岡銀行子会社〉									
FFG証券株式会社	福岡市中央区天神 2丁目13番1号	証券業務	昭和19年 7月7日	3,000	100 (100)	100	-	-	-
福銀事務サービス株式会社	福岡市早良区百道浜 1丁目7番7号	事務代行業務	昭和51年 10月9日	100	100 (100)	100	-	-	-
ふくぎん保証株式会社	福岡市西区姪浜駅南 1丁目7番1号	借入債務の保証業務等	昭和53年 6月1日	30	100 (100)	100	-	-	-
福岡コンピューターサービス株式会社	福岡市博多区博多駅前 2丁目6番6号	計算受託業務等	昭和54年 10月1日	50	100 (100)	100	-	-	-
株式会社FFGカード	福岡市西区姪浜駅南 1丁目7番1号	クレジットカード業務	平成元年 6月22日	50	100 (100)	100	-	-	-
福銀不動産調査株式会社	福岡市東区箱崎 1丁目4番13号	事務代行業務	平成12年 3月27日	30	100 (100)	100	-	-	-
ふくおか債権回収株式会社	福岡市中央区天神 2丁目13番1号	事業再生支援・ 債権管理回収業務	平成15年 5月20日	500	100 (100)	100	-	-	-
株式会社FFGビジネスコンサルティング	福岡市中央区天神 2丁目13番1号	コンサルティング業務	平成20年 8月1日	50	100 (100)	100	-	-	-
株式会社FFGほけんサービス	福岡市中央区大名 2丁目2番26号	保険募集業務	平成28年 8月16日	200	100 (100)	100	-	-	-
株式会社R&Dビジネスファクトリー	福岡市中央区天神 2丁目13番1号	研究開発業務	平成30年 7月2日	100	100 (100)	100	-	-	-
一般社団法人 ふくおか・アセット・ホールディングス	福岡市中央区天神 2丁目13番1号	投融資業務	平成17年 7月1日	25	-	-	-	-	-
有限会社マーキュリー・ アセット・コーポレーション	福岡市中央区天神 2丁目13番1号	ファクタリング業務	平成12年 6月22日	6	-	-	-	-	-
有限会社ジュピター・ アセット・コーポレーション	福岡市中央区天神 2丁目13番1号	ファクタリング業務	平成17年 7月14日	3	-	-	-	-	-
〈十八銀行子会社〉									
十八総合リース株式会社	長崎市銅座町 4番18号	リース業務	昭和50年 5月8日	895	100 (100)	-	-	-	100
十八ビジネスサービス株式会社	長崎市銅座町 1番11号	事務受託業務	昭和54年 6月21日	30	100 (100)	-	-	-	100
長崎保証サービス株式会社	長崎市中島町 10番10号	信用保証業務	昭和58年 1月25日	30	100 (100)	-	-	-	100
株式会社十八カード	長崎市銅座町 4番18号	クレジットカード業務	昭和58年 5月9日	30	100 (100)	-	-	-	100
十八ソフトウェア株式会社	長崎市江戸町 6番5号	コンピュータサービス業務	昭和62年 10月14日	10	100 (100)	-	-	-	100
株式会社長崎経済研究所	長崎市江戸町 6番5号	調査研究業務	平成元年 6月22日	30	100 (100)	-	-	-	100

(注1) 資本金又は出資金は単位未満を切り捨てて表示しております。

主な業務の内容

業 務		内 容	福岡銀行	熊本銀行	親和銀行	十八銀行
預金業務	預 金	当座預金	●	●	●	●
		普通預金	●	●	●	●
		決済用普通預金	●	●	●	●
		総合口座	●	●	●	●
		貯蓄預金	●	●	●	●
		通知預金	●	●	●	●
		定期預金	●	●	●	●
		財形預金	●	●	●	●
		別段預金	●	●	●	●
		納税準備預金	●	●	●	●
		非居住者円預金	●	●	●	●
		外貨預金等	●	●	●	●
		譲渡性預金	譲渡可能な定期預金	●	●	●
貸出業務	貸 付	手形貸付、証書貸付および当座貸越	●	●	●	●
	手 形 の 割 引	銀行引受手形	●	●	●	●
		商業手形	●	●	●	●
商品有価証券売買業務		国債等公共債の売買業務	●	●	●	●
有価証券投資業務		預金の支払準備および資金運用のため国債、地方債、社債、株式、その他の証券への投資	●	●	●	●
内 国 為 替 業 務		送金為替、振込および代金取立等	●	●	●	●
外 国 為 替 業 務		輸出、輸入および外国送金その他外国為替に関する各種業務	●	●	●	●
受 託 業 務		社債、地方債の受託および一般債振替制度における発行、支払代理人の業務	●	●	●	●
信託業務	特別障がい者扶養信託 (特定贈与信託)	相続税法の規定に基づき、特別障がい者の生活の安定を図ることを目的として、個人が特別障がい者を受益者として設定する金銭信託	●			
	公 益 信 託	教育助成、国際研究協力、自然環境の保全等の公益を目的として設定する金銭信託	●			
確 定 拠 出 年 金 業 務		確定拠出年金法における運営管理業務・商品提供業務	●		●	●
附帯業務	代 理 業 務	日本銀行代理店業務	●		●	●
		日本銀行歳入代理店業務	●	●	●	●
		国債代理店業務	●		●	●
		地方公共団体の公金取扱業務	●	●	●	●
		勤労者退職金共済機構等の代理店業務	●	●	●	●
		株式払込金の受入代理業務および株式配当金、公社償元利金の支払代理業務	●	●	●	●
		日本政策金融公庫等の代理貸付業務	●	●	●	●
		信託代理店業務	●	●	●	
		住宅金融支援機構代理店業務	●	●	●	●
	保護預りおよび貸金庫業務			●	●	●
	有価証券の貸付			●	●	●
	有価証券の私募の取扱い			●	●	●
	債務の保証(支払承諾)			●	●	●
	金の売買および保護預り			●		●
	国債等公共債、証券投資信託の振替決済口座管理			●	●	●
	国債等公共債の引受			●	●	●
	国債等公共債および証券投資信託の窓口販売			●	●	●
	投資一任契約の締結の代理および媒介			●	●	●
	金融商品仲介業務			●	●	●
	保険商品の窓口販売			●	●	●
	クレジットカード業務			●		●
	短期社債等の取扱い			●		●
	金利・通貨等のデリバティブ取引			●	●	●
	ビジネスマッチング業務			●	●	●
	M&Aに関する業務			●	●	●

店舗一覽 (福岡銀行)

福岡県

福岡市中央区

信託 外両 住構 証券 ★	本店	〒810-8727	福岡市中央区天神2-13-1	092-723-2131
信託 外両 住構 証券	福岡市庁内	〒810-0001	福岡市中央区天神1-8-1	092-723-2100
信託 外両 住構 証券 ★	天神町	〒810-0001	福岡市中央区天神1-6-8	092-723-2001
信託 外両 住構 証券 ★	黒門	〒810-0055	福岡市中央区黒門5-28	092-781-7731
信託 外両 住構 証券 ★	湊町	〒810-0075	福岡市中央区港2-6-8	092-751-5183
信託 外両 住構 証券 ★	中央市場	〒810-0072	福岡市中央区長浜3-11-3	092-711-6461
信託 外両 住構 証券 ★	赤坂門	〒810-0042	福岡市中央区赤坂1-14-31	092-771-2861
信託 外両 住構 証券 ★	けやき通り	〒810-0042	福岡市中央区赤坂2-1-3	092-722-5678
信託 外両 住構 証券 ★	六本松	〒810-0044	福岡市中央区六本松2-14-3	092-781-0731
信託 外両 住構 証券 ★	笹丘	〒810-0034	福岡市中央区笹丘1-30-2	092-406-2481
信託 外両 住構 証券 ★	小笹	〒810-0033	福岡市中央区小笹1-1-3	092-406-2621
信託 外両 住構 証券 ★	渡辺通	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通2-1-82	092-781-2231
信託 外両 住構 証券 ★	平尾	〒810-0015	福岡市中央区那の川2-9-22	092-531-0861
信託 外両 住構 証券 ★	薬院	〒810-0022	福岡市中央区薬院3-16-21	092-531-2031

福岡市博多区

信託 外両 住構 証券 ★	博多	〒812-0026	福岡市博多区上川端町12-20	092-291-2131
信託 外両 住構 証券 ★	奈良屋町	〒812-0023	福岡市博多区奈良屋町1-11	092-281-2233
信託 外両 住構 証券	県庁内	〒812-0045	福岡市博多区東公園7-7	092-641-7531
信託 外両 住構 証券 ★	博多駅前	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前2-2-1	092-441-3821
信託 外両 住構 証券 ★	博多駅東	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東2-6-1	092-431-3036
信託 外両 住構 証券 ★	住吉	〒812-0017	福岡市博多区美野島2-15-10	092-431-3161
信託 外両 住構 証券 ★	吉塚	〒812-0041	福岡市博多区吉塚1-15-13	092-611-2431
信託 外両 住構 証券 ★	比恵	〒812-0007	福岡市博多区東比恵3-1-31	092-411-4738
信託 外両 住構 証券 ★	博多南	〒812-0893	福岡市博多区那珂5-8-47	092-431-2961
信託 外両 住構 証券 ★	福岡空港	〒812-0003	福岡市博多区大字下臼井67-1	092-611-5961
外両 ★	国際線ターミナル	〒812-0851	福岡市博多区大字青木739 (2017年4月出張所から支店に変更)	092-477-0377
信託 外両 住構 証券 ★	筑紫通	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南4-1-3	092-441-6101
信託 外両 住構 証券 ★	月隈	〒812-0854	福岡市博多区東月隈4-1-5	092-503-1311
信託 外両 住構 証券 ★	雑餉隈	〒812-0878	福岡市博多区竹丘町2-2-21	092-581-1531

※自動サービスコーナーの稼働状況は次のとおりです。
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

福岡市早良区

信託 外両 住構 証券 ★	西新町	〒814-0002	福岡市早良区西新4-9-28	092-821-2231
信託 外両 住構 証券 ★	藤崎	〒814-0014	福岡市早良区弥生1-1-21	092-821-1231
信託 外両 住構 証券 ★	荒江	〒814-0021	福岡市早良区荒江2-9-5	092-821-4231
信託 外両 住構 証券 ★	野芥	〒814-0171	福岡市早良区野芥2-7-1	092-862-3611
信託 外両 住構 証券 ★	有田	〒814-0033	福岡市早良区有田4-37-24	092-862-2125
信託 外両 住構 証券 ★	田町	〒814-0175	福岡市早良区田村1-1-2	092-863-6331
信託 外両 住構 証券 ★	原	〒814-0022	福岡市早良区原3-15-17	092-831-2000

福岡市城南区

信託 外両 住構 証券 ★	樋井川	〒814-0151	福岡市城南区堤1-1-41	092-864-6111
信託 外両 住構 証券 ★	七隈	〒814-0133	福岡市城南区七隈4-2-27	092-871-0001

福岡市西区

信託 外両 住構 証券 ★	姪浜	〒819-0006	福岡市西区姪浜駅南1-7-1	092-881-0731
信託 外両 住構 証券 ★	野方	〒819-0042	福岡市西区峯岐団地76-2	092-811-3731
信託 外両 住構 証券 ★	周船寺	〒819-0373	福岡市西区周船寺2-14-35	092-807-0111
信託 外両 住構 証券 ★	今宿	〒819-0168	福岡市西区今宿駅前1-2-16	092-807-8441

福岡市南区

信託 外両 住構 証券 ★	大橋	〒815-0033	福岡市南区大橋1-10-18 (2017年2月新店舗)	092-551-2131
信託 外両 住構 証券 ★	高宮	〒815-0083	福岡市南区高宮5-2-5	092-531-4938
信託 外両 住構 証券 ★	長住	〒811-1362	福岡市南区長住2-21-13	092-541-0638
信託 外両 住構 証券 ★	井尻	〒811-1302	福岡市南区井尻5-4-10	092-591-3831
信託 外両 住構 証券 ★	屋形原	〒811-1364	福岡市南区中尾2-2-23	092-511-3111

外両：外両両替取扱店
住構：住宅金融支援機構業務取扱店（フラット35のお取り扱い可）
証券：証券仲介業務取扱店
信託：信託業務取扱店（取扱商品は店舗によって異なります）
取扱い店舗は店舗によって異なります
融資業務は取り扱いしません

福岡市東区

信託	外資	住構	★箱崎	〒812-0053 福岡市東区箱崎1-4-13	092-641-0331
信託	外資	住構	★香椎	〒813-0013 福岡市東区香椎駅前2-12-13	092-681-1231
信託	外資	住構	★美和台	〒811-0201 福岡市東区三苫3-2-47	092-607-3131
信託	外資	住構	★福岡流通センター	〒813-0034 福岡市東区多の津4-9-7	092-622-2430
信託	外資	住構	★千早	〒813-0041 福岡市東区水谷2-51-10	092-671-7631
信託	外資	住構	★新宮	〒811-0213 福岡市東区和白丘1-21-8	092-608-0101
信託	外資	住構	★土井	〒813-0032 福岡市東区土井1-8-20	092-692-7681

福岡市近郊

信託	外資	住構	★志免	〒811-2202 糟屋郡志免町志免2-2-1	092-935-1221
信託	外資	住構	★宇美	〒811-2101 糟屋郡宇美町宇美3-1-1	092-932-1000
信託	外資	住構	★糸島	〒819-1116 糸島市前原中央3-19-36	092-322-2331
信託	外資	住構	★二日市	〒818-0072 筑紫野市二日市中央2-5-1	092-924-2131
信託	外資	住構	★春日原	〒816-0802 春日市春日原北町3-16-6	092-581-8532
信託	外資	住構	★太宰府	〒818-0117 太宰府市宰府1-7-15	092-924-5061
信託	外資	住構	★下大利	〒816-0952 大野城市下大利1-9-22	092-582-7373
信託	外資	住構	★南ヶ丘	〒816-0964 大野城市南ヶ丘3-1-22	092-596-5951
信託	外資	住構	★昇町	〒816-0851 春日市昇町3-2	092-573-8761
信託	外資	住構	★筑紫	〒818-0024 筑紫野市原田7-4-6	092-926-2131
信託	外資	住構	★朝倉街道	〒818-0083 筑紫野市針摺中央2-4-1 (2017年5月出張所から支店に変更)	092-924-7711
信託	外資	住構	★那珂川	〒811-1254 那珂川市道善1-33	092-953-1931
信託	外資	住構	★春日	〒816-0855 春日市天神山5-10-2	092-586-6725
信託	外資	住構	★古賀	〒811-3101 古賀市天神1-3-35	092-943-3361
信託	外資	住構	★千鳥	〒811-3114 古賀市舞の里3-1-2	092-944-0202
信託	外資	住構	★福岡	〒811-3217 福津市中央3-8-6	0940-42-1246
信託	外資	住構	★宗像	〒811-3436 宗像市東郷5-4-5	0940-36-2017
信託	外資	住構	★赤間	〒811-4183 宗像市土穴1-1-20	0940-33-7211
信託	外資	住構	★粕屋	〒811-2314 糟屋郡粕屋町若宮1-8-8	092-939-1151
信託	外資	住構	★篠栗	〒811-2405 糟屋郡篠栗町大字篠栗4784-13	092-948-1100

北九州市 小倉北区 小倉南区

信託	外資	住構	★北九州	〒802-0005 北九州市小倉北区堺町2-2-18	093-533-8013
信託	外資	住構	★北九州市庁内	〒803-0813 北九州市小倉北区城内1-1	093-582-4195
信託	外資	住構	★小倉	〒802-0007 北九州市小倉北区船場町2-1	093-521-3131
信託	外資	住構	★南小倉	〒803-0841 北九州市小倉北区清水3-9-4	093-561-3731
信託	外資	住構	★三萩野	〒802-0084 北九州市小倉北区香春口1-15-1	093-921-8284
信託	外資	住構	★城野	〒802-0062 北九州市小倉北区片野町2-13-26	093-921-3486
信託	外資	住構	★徳力	〒802-0974 北九州市小倉南区徳力1-14-1	093-961-3081
信託	外資	住構	★北九州卸市場	〒803-0801 北九州市小倉北区西港町94-9	093-583-2050
信託	外資	住構	★曾根北	〒800-0229 北九州市小倉南区曾根北町4-9	093-473-4481
信託	外資	住構	★守恒	〒802-0972 北九州市小倉南区守恒2-8-22 (2016年11月新店舗)	093-962-0881
信託	外資	住構	★曾根	〒800-0226 北九州市小倉南区田原町2-10-20	093-473-3330
信託	外資	住構	★小倉東	〒800-0255 北九州市小倉南区上島原1-14-12	093-921-1531

北九州市 八幡東区 八幡西区

信託	外資	住構	★八幡	〒805-0019 北九州市八幡東区中央2-7-21	093-662-7111
信託	外資	住構	★折尾	〒807-0825 北九州市八幡西区折尾1-13-6	093-601-0531
信託	外資	住構	★黒崎	〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎3-2-2	093-631-6611
信託	外資	住構	★七条	〒805-0015 北九州市八幡東区荒生田2-2-23	093-651-2733
信託	外資	住構	★相生	〒806-0044 北九州市八幡西区鼓電1-4-16	093-621-0436
信託	外資	住構	★小嶺	〒807-1112 北九州市八幡西区千代1-1-10	093-613-1300
信託	外資	住構	★三ヶ森	〒807-0843 北九州市八幡西区三ヶ森4-11-14	093-611-2300

北九州市 戸畑区 若松区 門司区

信託	外資	住構	★戸畑	〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1-8	093-871-3121
信託	外資	住構	★若松	〒808-0025 北九州市若松区中川町4-1	093-761-5031
信託	外資	住構	★二島	〒808-0105 北九州市若松区鴨生田2-3-9	093-701-3533
信託	外資	住構	★高須	〒808-0144 北九州市若松区高須東4-1-43	093-741-0030
信託	外資	住構	★ひびきの	〒808-0131 北九州市若松区塩屋2-1-14	093-741-2531
信託	外資	住構	★門司駅前	〒800-0031 北九州市門司区高田1-1-20	093-381-0937
信託	外資	住構	★門司	〒801-0863 北九州市門司区栄町2-9	093-321-3981

北九州市近郊

	★ 芦屋	〒807-0131 遠賀郡芦屋町緑ヶ丘1-30	093-222-1355
	★ 岡垣	〒811-4218 遠賀郡岡垣町中央台3-1-11	093-283-2121
	★ 中間	〒809-0013 中間市上蓮花寺1-2-1	093-245-0281

京築地区

	★ 行橋	〒824-0005 行橋市中央3-1-22	0930-22-0290
	★ 苅田	〒800-0351 京都郡苅田町京町1-12-13	093-434-0831
	★ 椎田	〒829-0301 築上郡築上町大字椎田966-5	0930-56-0001
	★ 豊前	〒828-0027 豊前市大字赤熊1361-1	0979-83-3330

筑豊地区

	★ 直方	〒822-0024 直方市須崎町17-12	0949-22-1300
	★ 小竹	〒820-1103 鞍手郡小竹町大字勝野3765-36	09496-2-0611
	★ 宮田	〒823-0011 宮若市宮田59-15	0949-32-0520
	★ 後藤寺	〒826-0026 田川市春日町1-30	0947-42-0800
	★ 伊田	〒825-0015 田川市伊田町15-15	0947-42-0660
	★ 川崎	〒827-0003 田川郡川崎町大字川崎879-1	0947-73-2626
	★ 金田	〒822-1201 田川郡福智町金田1138-1	0947-22-0035
	★ 添田	〒824-0602 田川郡添田町大字添田1179-1	0947-82-1200
	★ 飯塚	〒820-0068 飯塚市片島1-2-25	0948-22-6330
	★ 飯塚本町	〒820-0042 飯塚市本町8-24	0948-22-2900
	★ 築築	〒820-0206 嘉麻市鴨生242-23	0948-42-1331
	★ 天道	〒820-0075 飯塚市天道413-2	0948-22-1030
	★ 大隈	〒820-0302 嘉麻市大隈町1039-2	0948-57-0001
	★ 山田	〒821-0012 嘉麻市上山田1403-16	0948-52-0831

久留米市とその近郊

	★ 田主丸	〒839-1233 久留米市田主丸町田主丸533-8	0943-72-2141
	★ 久留米	〒830-0017 久留米市日吉町16-18	0942-32-4431
	久留米市内(出)	〒830-0022 久留米市城南町15-3	0942-35-8710
	★ 東久留米	〒830-0032 久留米市東町37-11	0942-32-5225
	★ 花畑	〒830-0038 久留米市西町935-13	0942-34-4318
	★ 北野	〒830-1113 久留米市北野町中3298-5	0942-78-3111
	★ 小郡	〒838-0144 小郡市祇園1-14-1	0942-72-3121
	★ 善導寺	〒839-0824 久留米市善導寺町飯田631-1	0942-47-1003
	★ 大善寺	〒830-0073 久留米市大善寺町宮本2152	0942-27-2161
	★ 国分	〒839-0863 久留米市国分町1172-7	0942-22-5152

朝倉・うきは地区

	★ 甘木	〒838-0068 朝倉市甘木1842-1	0946-22-2700
	★ 夜須	〒838-0215 朝倉郡筑前町篠隈350-2	0946-42-2002
	★ 朝倉	〒838-1302 朝倉市宮野2044-1	0946-52-2772
	★ 杷木	〒838-1511 朝倉市杷木池田691-1	0946-62-1116
	★ 吉井	〒839-1321 うきは市吉井町1149-1	0943-75-2131

八女地区

	★ 八女	〒834-0063 八女市本村425-38	0943-23-3111
	★ 星野(出)	〒834-0201 八女市星野村13089-3	0943-52-2277
	★ 上陽(出)	〒834-1102 八女市上陽町北川内347-3	0943-54-3111
	★ 広川	〒834-0115 八女郡広川町新代1878	0943-32-1171
	★ 筑後	〒833-0031 筑後市山ノ井258-2	0942-52-3151
	★ 黒木	〒834-1217 八女市黒木町黒木130-1	0943-42-1144
	★ 矢部(出)	〒834-1401 八女市矢部村北矢部10528	0943-47-2890

※自動サービスコーナーの稼働状況は次のとおりです。
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

(出)：出張所

：外貨両替取扱店
：住宅金融支援機構業務取扱店（フラット35のお取り扱い可）
：証券仲介業務取扱店
：信託業務取扱店（取扱商品は店舗によって異なります）

柳川・大牟田地区

電話 外両 住構 証券 ★柳	川	〒832-0045 柳川市本町14-14	0944-73-1132
電話 外両 住構 証券 ★大	川	〒831-0004 大川市榎津259-3	0944-86-2111
電話 外両 住構 証券 ★大	木	〒830-0416 三瀬郡大木町大字八町半田255-4	0944-32-0005
電話 外両 住構 証券 ★中	島	〒839-0254 柳川市大和町中島886	0944-76-4144
電話 外両 住構 証券 ★瀬	高	〒835-0024 みやま市瀬高町下庄1575-1	0944-62-5171
電話 外両 住構 証券 ★大	牟田	〒836-0842 大牟田市有明町1-2-11	0944-52-3211
電話 外両 住構 証券 ★三	池	〒837-0924 大牟田市大字歴木374-2	0944-54-3696
電話 外両 住構 証券 ★渡	瀬	〒839-0215 みやま市高田町濃施389-1	0944-22-5831

福岡県外

電話 外両 住構 証券 ★唐	津	〒847-0012 唐津市大名小路310-36	0955-72-5171
電話 外両 住構 証券 ★鳥	栖	〒841-0033 鳥栖市本通町1-802-11	0942-82-2154
電話 外両 住構 証券 ★基	山	〒841-0204 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦186-59	0942-92-2711
電話 外両 住構 証券 ★佐	賀	〒840-0816 佐賀市駅南本町5-4	0952-24-8271
電話 外両 住構 証券 ★中	津	〒871-0038 中津市枝町1700-9	0979-22-1450
電話 外両 住構 証券 ★大	分	〒870-0034 大分市都町3-1-1	097-533-1151
電話 外両 住構 証券 ★日	田	〒877-0015 日田市中央1-3-22	0973-24-4111
電話 外両 住構 証券 ★佐	世保	〒857-0863 佐世保市三浦町1-26	0956-23-4111
電話 外両 住構 証券 ★長	崎	〒850-0033 長崎市万才町5-17	095-822-8101
電話 外両 住構 証券 ★熊	本	〒860-0806 熊本市中央区花畑町12-3	096-352-4131
電話 外両 住構 証券 ★鹿	児島	〒890-0053 鹿児島市中央町15-23	099-253-1991
電話 外両 住構 証券 ★宮	崎	〒880-0805 宮崎市橘通東4-1-5	0985-22-4101
外両 住構 証券 ★東	京	〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-7	03-3242-6821
外両 住構 証券 ★大	阪	〒541-0051 大阪府中央区備後町3-6-2	06-6261-6951
電話 外両 住構 ★下	関	〒750-0025 下関市竹崎町1-17-6	083-222-8146
電話 外両 住構 ★宇	部	〒755-0029 宇部市新天町2-1-6	0836-31-5911
外両 住構 証券 ★名	古屋	〒460-0003 名古屋市中区錦1-5-13	052-231-6231
外両 住構 証券 ★広	島	〒730-0051 広島市中区大手町2-7-10	082-248-3741

海外

香港 (駐) (Hong Kong Representative Office)	Room 404, 4/F, Far East Finance Centre, 16 Harcourt Road, Hong Kong	852-2524-2169
上海 (駐) (Shanghai Representative Office)	中華人民共和国上海市延安西路2201号 上海国際貿易中心2010号室	86-21-6219-4570
大連 (駐) (Dalian Representative Office)	中華人民共和国大連市人民路60号 大連富麗華大酒店622号室	86-411-8282-3643
シンガポール(駐) (Representative office Registered in Singapore)	1 George Street #17-05 Singapore 049145	65-6438-4913
バンコク (駐) (Bangkok Representative Office)	16th Floor Unit 1606, Park Ventures Ecoplex, 57 Wireless Road, Lumpini, Pathumwan, Bangkok 10330, Thailand	66-2-256-0695
ニューヨーク(駐) (NY Representative Office)	One Rockefeller Plaza, Suite 1201, New York, NY 10020-2003 U.S.A.	1-212-247-2966
台北 (駐) (Taipei Representative Office)	台湾台北市中山区松江路126号 将捷国際商業大樓6F-1	886-2-2523-8887
ホーチミン(駐) (Ho Chi Minh City Representative Office)	Suite 1108, Saigon Tower, 29 Le Duan Street, District 1, Ho Chi Minh City, Vietnam	84-28-3822-2802

その他

信託	個人金融サービス部	〒810-8693 福岡市中央区大手門1-8-3	092-723-2291
代理 代理	法人事業部 法人ビジネスサポートセンター	〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1	092-752-5971

店舗 (2019年6月30日現在)	
福岡県	152 (本店1 支店147 出張所 4)
熊本県	1 (支店1)
長崎県	2 (支店2)
九州域内の 福岡・熊本・長崎県外	9 (支店9)
九州域外	6 (支店6)
合計	170 (本店1 支店165 出張所 4)
(支店には振込専用支店1、インターネット専用支店1を含む)	
海外駐在員事務所 8	
現金自動設備設置台数	
ATM (現金自動預入支払機)	1,283台
うち店舗外	455台
CD (現金自動支払機)	0台
うち店舗外	0台
為替振込機	0台
うち店舗外	0台
合計	1,283台
うち店舗外	455台
(2019年6月30日現在)	

●店舗・ATMについての詳細は、ホームページをご覧ください。
 福岡銀行 <https://www.fukuokabank.co.jp/>

※自動サービスコーナーの稼働状況は次のとおりです。
 ★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

(駐)：駐在員事務所
 外両：外両両替取扱店 (取扱通貨は店舗によって異なります)
 住構：住宅金融支援機構業務取扱店 (フラット35のお取り扱い可)
 証券：証券仲介業務取扱店 (融資業務は取り扱いません)
 信託：信託業務取扱店 (取扱商品は店舗によって異なります)
 熊本：熊本銀行の銀行代理業務取扱店
 親和：親和銀行の銀行代理業務取扱店
 証券仲介業務取扱店 (証券会社紹介サービスのみお取り扱い)

店舗外自動サービスコーナー(福岡銀行)

福岡地区

福岡市中央区	福岡市博多区	福岡市早良区	福岡市南区
★ ふくおかフィナンシャルグループ本社ビル	★ JR博多駅	● 西南学院大学	★ 西鉄大橋駅
★ 西鉄福岡駅	★ JR博多駅阪急百貨店口	★ よかトピア通り	★ サニー向新町店
★ 岩田屋本館	★ 博多駅朝日ビル地下街	● 福岡記念病院	● 九州中央病院
★ 天神地下街	★ 祇園	シーサイドもちもち	● 福岡女学院
★ 天神地下街南	★ 地下鉄博多駅	★ TNC放送会館	★ レッドキャベツ老司
★ 天神地下街プラザ	★ 地下鉄博多駅筑紫口	★ ポンラバス百道	★ ピア高宮
★ 西鉄グランドホテル	★ 福さ屋ビル	● 福岡山王病院	★ ミスターマックス長住店
★ 新天町プラザ	★ キャナルシティ博多	● 福岡歯科大学	★ ポンラバス花畑
★ ソラリアプラザB1	★ 博多リバレイン	★ サニー重留店	★ 柏原
★ イオンショッピング福岡店	博多区役所	福岡市西区	
福岡市役所	日本タングステン	★ 姪浜駅	★ ダイキョープラザ
中央区役所	博多港センタービル	★ イオンマリナタウン	★ マルシヨク鶴田店
★ アクロス福岡	● ヒノデビルディング	★ マリノアシティ福岡	★ 福岡赤十字病院
● KBCビル	★ 呉服町	★ 小戸	福岡市東区
★ 済生会病院	警察本部	★ 福重	★ 九州大学病院
★ ヤフオクドーム	★ 国保会館前	★ サニー下山門店	★ ゆめタウン博多
★ 鳥飼	★ ワイジェイカードビル	★ 白十字病院	★ 香椎駅前通り
★ イオン笹丘店	福岡合同庁舎	★ イオンモール福岡伊都	★ みゆき通り
★ サニー小笹店	★ マルシヨク諸岡店	★ ハローパーク周船寺	★ イオンモール香椎浜
電気ビル	金隈病院	★ サニー姪浜店	★ JR千早駅
★ サニー那の川店	★ 千代町	★ 木の葉モール橋本	★ サニー舞松原店
★ 平尾山荘通り	★ 西日本新聞製作センター	● 九大伊都キャンパス	★ 西鉄ストア香椎花園店
★ 西鉄薬院駅	★ JR南福岡駅	★ 九大伊都キャンパス第2	● 九州産業大学
● 浜の町病院	パビヨン24	● 九大伊都キャンパス第3	● 九産大新1号館
★ マークイズ福岡もちもち	★ エキサイド博多	福岡市城南区	
	★ フォレオ博多	● 福大バスターミナル	★ 奈多
	★ 福岡空港地下鉄アクセスホール	★ 福岡大学病院	★ 三苫駅前
		★ サニー茶山店	★ サトー食鮮館和白店
		★ ナフコ堤店	★ 若宮5丁目
			★ ミスターマックス土井店
			● 福岡工業大学

●：土曜日でもご利用いただけます。(日曜日と祝日は稼働いたしません)
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

- ★ エフコープ新宮店
- 福岡和白病院
- ★ 名島
- ★ 福岡市立こども病院
- ★ 福岡女子大学
- ★ 福岡市青果市場
- ★ 香椎駅前2丁目
- 福岡市近郊
- ★ ザ・モール春日
- ★ ミスターマックス春日SC
- ★ サニー宝町
- 春日市役所
- ★ イオン大野城店
- ★ イオン乙金ショッピングセンター
- ★ 白木原駅前
- 大野城市役所
- ★ 西鉄ストア牛頸店
- ★ 大野東
- 筑紫女学園
- ★ 五条
- ★ マミーズ太宰府西店
- ★ ゆめタウン筑紫野
- ★ シュロアモール筑紫野
- ★ イオンモール筑紫野
- ★ 福岡大学筑紫病院
- ★ 筑紫野ベレッサ
- ★ 西鉄筑紫駅
- ★ イオン二日市店
- 筑紫野市役所
- 済生会二日市病院
- ★ エフコープ那珂川店
- 宇美町役場

- ★ イオン福岡東店
- 志免町役場
- 須恵町役場
- ★ イオンモール福岡
- ★ ミスターマックス粕屋店
- 粕屋町役場
- ★ トリアス久山
- ★ ゆめ마트新宮店
- ★ サンリブ古賀
- 古賀市役所
- ★ 花見
- 宗像市役所
- ★ レガネット東郷店
- ★ ゆめタウン宗像
- ★ サンリブくりえいと宗像
- 福岡教育大学
- ★ 自由ヶ丘
- 宗像水光会総合病院
- ★ 東福岡
- ★ イオンモール福津
- ★ レガネットガーデン福津
- ★ サニー前原店
- 糸島市役所本庁舎
- ★ 糸島市役所二文庁舎
- ★ イオンスーパーセンター志摩

北九州地区

- 小倉北区・小倉南区
- ★ チャチャタウン小倉
- ★ 小倉駅
- ★ モノレール小倉駅前
- ★ 小倉駅前アイム
- 医療センター
- ★ 小倉西
- 小倉北区役所
- ★ リバーウォーク北九州
- ★ スピナマート中井店
- ★ サンリブ西小倉
- 九州歯科大学
- 九州労災病院
- 小倉南区役所
- 北九州市立大学
- ★ サンリブシティ小倉
- ★ 北九州空港
- ★ サンリブきふね
- ★ 上吉田1丁目
- ★ ハローパーク大手町
- ★ サニーサイドモール小倉
- ★ ハローデイ徳力本店
- ★ ドラッグコスモスにれの木店
- 戸畑区・若松区
- 北九州学術・研究都市
- ★ ショッピングパーク鞘ヶ谷
- 九州工業大学
- 北九州テクノセンター
- ★ イオン戸畑店
- ★ 戸畑共立病院前
- ★ 沢見
- 新日鐵戸畑西門
- ★ サンリブ若松

- 若松区役所
- ★ サンリブ高須
- ★ イオン若松店
- 八幡東区・八幡西区
- 八幡東区役所
- 製鉄記念八幡病院
- ★ イオンモール八幡東
- 済生会八幡総合病院
- 九州国際大学
- ★ スピナ枝光店
- ★ スピナマートさくら通り店
- ★ メイト黒崎
- ★ コムシティ
- ★ ミスターマックス本城店
- ★ エフコープ折尾店
- ★ ミスターマックス八幡西店
- 福原学園内
- 産業医科大学病院
- ★ サンリブ木屋瀬
- ★ ホームワイド永犬丸店
- ★ サンリブ三ヶ森
- ★ イオンタウン黒崎
- ★ サンリブ折尾
- 北九州市近郊
- ★ ショッパーズモールなかま
- 中間市役所
- ★ 梅ノ木ブラザ
- ★ 芦屋町役場
- ★ ゆめタウン遠賀
- 岡垣町役場
- ★ イオン岡垣店

京築地区

- ★ ゆめタウン行橋
- 行橋市役所
- ウイズゆくはし
- ★ コスタ行橋
- 苅田町役場
- ★ サンリブ苅田
- ★ マルショク豊津店
- ★ 犀川駅前
- 築上町役場
- 豊前市役所
- ★ スーパーセンタートライアル豊前店
- 小波瀬病院
- ★ ゆめタウン南行橋

筑豊地区

- ★ ミスターマックス飯塚花瀬店
- ★ 飯塚病院
- 九工大情報工学部
- ★ コスモス伊岐須店
- 飯塚市役所
- 飯塚市立病院
- ★ イオン穂波店
- ★ イオン穂波店第2
- ★ 飯塚市役所穂波支所
- 飯塚市役所庄内支所
- ★ 顛田
- ★ JR新飯塚駅
- 済生会飯塚嘉穂病院
- 直方市役所
- 直方市役所第2
- 直方南
- ★ イオンモール直方
- ★ ルミエール宮田店
- ★ 若宮駐在所前
- 田川市役所
- 田川市立病院
- ★ サンリブ田川
- 社会保険田川病院
- ★ 一本松
- 川崎町役場
- ★ 道の駅うすい
- 嘉麻市役所稲築庁舎

久留米市

- ★ 西鉄久留米駅前
- ★ 西鉄久留米駅ビル
- ★ 御井旗崎
- 久留米大学医療センター
- 久留米大学病院1階
- 久留米大学病院本館3階
- 久留米大学御井学舎
- ★ サニーみいまち
- ★ サニー善導寺
- ★ エフコープ久留米店
- ★ サンリブ久留米
- ★ 西久留米
- ★ ゆめタウン久留米
- ★ マックスバリュ田主丸店
- 城島
- ★ 聖マリア病院
- ★ ハローデイ国分店

久留米市以外の 県南地区

- 小郡市役所
- ★ イオン小郡ショッピングセンター
- ★ レガネット美鈴の杜店
- 朝倉市役所
- ★ イオン甘木店
- 朝倉医師会病院
- うきは市役所
- ★ ゆめマートうきは
- ★ サンピットバリュー浮羽店
- 公立八女総合病院
- 八女市役所

- ★ ゆめタウン八女
- ★ マミーズ西牟田店
- ★ サンリブ筑後店
- 筑後市役所
- 筑後市立病院
- ★ くらかず
- ★ マミーズ船小屋店
- ★ 水田
- ★ ゆめモール筑後
- ★ イオンスーパーセンター大木
- ★ ゆめタウン大川
- 大川市役所
- 高木病院
- 柳川市役所
- ★ マミーズ柳川店
- ★ ゆめモール柳川
- ★ 沖端

- みやま市役所
- みやま市役所山川支所

- ★ ヨコクラ病院
- 大牟田市役所
- 大牟田市立病院
- 済生会大牟田病院
- ★ ゆめタウン大牟田
- ★ イオンモール大牟田
- 大牟田天領病院

福岡県外

- ★ イオンタウン荒尾
- ★ 荒尾中央病院
- ★ フレスポ鳥栖

●：土曜日でもご利用いただけます。（日曜日と祝日は稼働いたしません）
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

ローンセンター(福岡銀行)

福岡銀行ローンセンター

福岡銀行では、8カ所に設置したローンセンターで、専門スタッフがお客様の住宅資金などローンに関するご質問・ご相談にわかりやすくお応えします。

●福岡銀行ローンセンター(平日および毎週土・日曜日も営業)

福岡ローンセンター [本店営業部2階]

住所 福岡市中央区天神2-13-1
電話 092-723-2231
FAX 092-725-1540

福岡東ローンセンター [千早支店2階]

住所 福岡市東区水谷2-51-10
電話 092-410-9214
FAX 092-672-7515

福岡西ローンセンター [姪浜支店2階]

住所 福岡市西区姪浜駅南1-7-1
電話 092-881-2641
FAX 092-881-2675

福岡南ローンセンター [大橋支店2階]

住所 福岡市南区大橋1-10-18
電話 092-551-2141
FAX 092-551-2148

北九州ローンセンター [小倉支店4階]

住所 北九州市小倉北区船場町2-1
電話 093-541-2720
FAX 093-541-1724

北九州西ローンセンター [黒崎支店2階]

住所 北九州市八幡西区黒崎3-2-2
電話 093-642-5326
FAX 093-642-5370

久留米ローンセンター [久留米営業部1階]

住所 久留米市日吉町16-18
電話 0942-32-4641
FAX 0942-32-4787

飯塚ローンセンター [飯塚支店1階]

住所 飯塚市片島1-2-25
電話 0948-22-5992
FAX 0948-22-7513

※土曜日は営業しておりません。

※祝日および年末年始(12月31日~1月3日)はお休みさせていただきます。

※土曜日と祝日が重なった場合の土曜日は営業いたします。

※日曜日と祝日が重なった場合は日曜日を営業日とし、振替休日を休業日とします。

店舗一覧(熊本銀行)

熊本県

熊本市内

外画	代理 信託	住構 証券	★本	店	〒862-8601 熊本市中央区水前寺6-29-20	096-385-1112
			★麻	生田	〒861-8081 熊本市北区麻生田3-3-66	096-337-2800
	代理 信託	住構 証券	★植	木	〒861-0132 熊本市北区植木町植木東2-205-1	096-272-0109
	代理 信託	住構 証券	★薄	場	〒861-4131 熊本市南区薄場3-4-5	096-358-3131
外画	代理 信託	住構 証券	★大	江白川	〒862-0971 熊本市中央区大江3-2-34	096-371-6000
	代理 信託	住構 証券	★川	尻	〒861-4115 熊本市南区川尻4-3-52	096-357-9654
	代理 信託	住構 証券	★京	町台	〒860-0074 熊本市西区出町2-26	096-354-2300
			★楠		〒861-8003 熊本市北区楠2-1-60	096-338-2211
外画	代理 信託	住構 証券	★健	軍	〒862-0911 熊本市東区健軍3-48-22	096-368-2161
			★県	庁	〒862-8601 熊本市中央区水前寺6-29-20 ◆(本店内にて営業中)	096-385-1112
	代理 信託	住構 証券	★子	飼橋	〒860-0851 熊本市中央区子飼本町6-25	096-343-5151
			★桜	木	〒861-2118 熊本市東区花立3-15-22	096-367-5711
	代理 信託	住構 証券	★清	水	〒861-8072 熊本市北区室園町10-30	096-343-6111
外画	代理 信託	住構 証券	★下	通	〒860-0808 熊本市中央区手取本町5-10	096-353-0171
	代理 信託	住構 証券	★浄	行寺	〒860-0863 熊本市中央区坪井4-19-18	096-343-4121
	代理 信託	住構 証券	★新	大江	〒862-0972 熊本市中央区新大江3-19-14	096-384-3222
外画	代理 信託	住構 証券	★水	前寺	〒862-0956 熊本市中央区水前寺公園1-1	096-383-3177
	代理 信託	住構 証券	★西	山中学前	〒860-0046 熊本市中央区横手1-2-95	096-353-2288
外画	代理 信託	住構 証券	★崇	城大学通	〒860-0079 熊本市西区上熊本3-16-6	096-352-9611
	代理 信託	住構 証券	★第	二空港通	〒862-0916 熊本市東区佐土原1-1-23	096-365-7575
	代理 信託	住構 証券	★託	麻	〒861-8034 熊本市東区八反田1-1-5	096-382-4530
外画	代理 信託	住構 証券	★田	崎	〒860-0053 熊本市西区田崎2-2-33	096-354-3531
	代理 信託	住構 証券	★田	迎	〒862-0963 熊本市南区出仲間3-3-1	096-378-1232
	代理 信託	住構 証券	★近	見	〒861-4101 熊本市南区近見1-3-7	096-359-2300
	代理 信託	住構 証券	★中	央	〒860-0806 熊本市中央区花畑町12-24 ◆(花畑支店内にて営業中)	096-325-6111
外画	代理 信託	住構 証券	★日	赤通	〒862-0920 熊本市東区月出1-8-19	096-381-1211

	代理 信託	住構 証券	★白	山通	〒862-0976 熊本市中央区九品寺5-8-21	096-371-4747
外画	代理 信託	住構 証券	★花	畑	〒860-0806 熊本市中央区花畑町12-24	096-325-6111
外画	代理 信託	住構 証券	★東	託麻	〒861-8035 熊本市東区御領2-7-33	096-389-3434
	代理 信託	住構 証券	★保	田達	〒861-8034 熊本市東区八反田1-1-5 ◆(託麻支店内にて営業中)	096-382-4530
	代理 信託	住構 証券	★南	熊本	〒860-0831 熊本市中央区八王寺町30-1	096-370-1331
外画	代理 信託	住構 証券	★武	蔵ヶ丘	〒861-8001 熊本市北区武蔵ヶ丘3-10-1	096-339-3131

熊本市外

	代理 信託	住構 証券	★阿	蘇	〒869-2301 阿蘇市内牧258	0967-32-0735
外画	代理 信託	住構 証券	★天	草	〒863-0022 天草市栄町3-7	0969-22-5258
	代理 信託	住構 証券	★荒	尾	〒864-0054 荒尾市大正町1-1-20	0968-62-1151
	代理 信託	住構 証券	★い	つわ	〒863-0022 天草市栄町3-7 ◆(天草支店内にて営業中)	0969-22-5258
	代理 信託	住構 証券	★牛	深	〒863-1901 天草市牛深町字新瀬崎73-4	0969-73-2173
外画	代理 信託	住構 証券	★宇	土	〒869-0433 宇土市新小路町143-2	0964-22-0671
外画	代理 信託	住構 証券	★大	津	〒869-1235 菊池郡大津町大字室261-7	096-293-3251
	代理 信託	住構 証券	★大	矢野	〒869-3602 上天草市大矢野町上1503-1	0964-56-1301
	代理 信託	住構 証券	★小	国	〒869-2501 阿蘇郡小国町大字宮原1784-1	0967-46-3125
	代理 信託	住構 証券	★鏡		〒869-4203 八代市鏡町鏡21-1	0965-52-1011
	代理 信託	住構 証券	★嘉	島	〒861-3106 上益城郡嘉島町大字上島2078-5	096-237-5100
	代理 信託	住構 証券	★菊	池	〒861-1331 菊池市隈府558-10	0968-25-4161
	代理 信託	住構 証券	★菊	南	〒861-1102 合志市須屋672-1	096-345-1121
			★菊	陽	〒869-1101 菊池郡菊陽町大字津久礼2947-2	096-233-0015
	代理 信託	住構 証券	★合	志	〒861-1112 合志市幾久富1758-292	096-248-8121
外画	代理 信託	住構 証券	★玉	名	〒865-0051 玉名市繁根木91	0968-73-3144
	代理 信託	住構 証券	★多	良木	〒868-0501 球磨郡多良木町大字多良木985-3	0966-42-2019
	代理 信託	住構 証券	★天	水	〒861-5401 玉名市天水町小天6718-2	0968-82-2471
	代理 信託	住構 証券	★南	関	〒861-0803 玉名郡南関町関町1387-6	0968-53-2141
	代理 信託	住構 証券	★浜	町	〒861-3518 上益城郡山都町浜町165-5	0967-72-1125

※自動サービスコーナーの稼働状況は次のとおりです。
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

外画：外貨両替取扱店
(取扱通貨は店舗によって異なります)
証券：証券仲介業務取扱店
代理：福岡銀行の銀行代理業務取扱店

住構：住宅金融支援機構業務取扱店(融資受付店)
※当行はフラット35のみのお取り扱いとなります。
住証：住宅金融支援機構業務取扱店(融資業務は取り扱いません)
信託：信託業務取扱店(取扱商品は店舗によって異なります)

代理 信託	住構 証券	★ 人吉	〒868-0005 人吉市上青井町144	0966-22-4115
代理 信託	住構 証券	★ 益城	〒861-2233 上益城郡益城町惣領1440-9	096-286-8181
代理 信託	住構 証券	★ 松江通	〒866-0875 八代市横手新町20-2	0965-35-3303
代理 信託	住構 証券	★ 松島	〒861-6102 上天草市松島町合津4276-291	0969-56-1118
代理 信託	住構 証券	★ 松橋	〒869-0502 宇城市松橋町松橋965-1	0964-32-1010
代理 信託	住構 証券	★ 三角	〒869-3207 宇城市三角町三角浦1159-36	0964-52-3131
代理 信託	住構 証券	★ 水俣	〒867-0066 水俣市古賀町1-2-5	0966-63-3171
代理 信託	住構 証券	★ 宮地	〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地1871-5	0967-22-0521
代理 信託	住構 証券	★ 宮原(出)	〒869-4203 八代市鏡町鏡21-1 ◆(鏡支店内にて営業中)	0965-52-1011
外函 代理 信託	住構 証券	★ 八代	〒866-0844 八代市旭中央通り17-7	0965-32-2103
代理 信託	住構 証券	★ 山鹿	〒861-0501 山鹿市山鹿992-1	0968-43-2108

福岡県

代理 信託	住構 証券	福岡	〒812-0026 福岡市博多区上川端町9-166	092-281-0323
代理 信託	住構 証券	諸岡	〒812-0026 福岡市博多区上川端町9-166 ◆(福岡営業部内にて営業中)	092-281-0323
代理 信託	住構 証券	久留米	〒830-0032 久留米市東町36-7	0942-33-1346
代理 信託	住構 証券	★ 大牟田	〒836-0807 大牟田市旭町11-1-1	0944-53-3153

鹿児島県

代理 信託	住構 証券	鹿児島	〒890-0053 鹿児島市中央町13-1	099-259-6111
代理 信託	住構 証券	出水	〒899-0202 出水市昭和町11-1	0996-62-0581
代理 信託	住構 証券	川内	〒895-0027 薩摩川内市西向田町3-9	0996-22-4148

その他

信託 証券	営業推進部	〒862-8601 熊本市中央区水前寺6-29-20	096-385-1141
信託 証券	ソリューション営業部	〒862-8601 熊本市中央区水前寺6-29-20	096-385-1280

店舗 (2019年6月30日現在)	
熊本県	63 (本店1 支店61 出張所 1)
福岡県	4 (支店4)
鹿児島県	3 (支店3)
合計	70 (本店1 支店68 出張所 1)
海外駐在員事務所	0

現金自動設備設置台数

ATM (現金自動預入支払機)	239台
うち店舗外	66台
CD (現金自動支払機)	16台
うち店舗外	16台
為替振込機	0台
うち店舗外	0台
合計	255台
うち店舗外	82台

(2019年6月30日現在)

●店舗・ATMについての詳細は、ホームページをご覧ください。

熊本銀行 <https://www.kumamotobank.co.jp>

※自動サービスコーナーの稼働状況は次のとおりです。
●：土曜日もご利用いただけます。(日曜日と祝日は稼働いたしません)
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

(出)：出張所

外函：外貨両替取扱店
(取扱通貨は店舗によって異なります)
証券：証券仲介業務取扱店
代理：福岡銀行の銀行代理業務取扱店

住構：住宅金融支援機構業務取扱店 (融資受付店)
※当行はフラット35のみのお取り扱いとなります。
住構：住宅金融支援機構補業務取扱店 (融資業務は取り扱いしません)
信託：信託業務取扱店 (取扱商品は店舗によって異なります)

店舗外自動サービスコーナー(熊本銀行)

熊本市内

- ★ 秋津レークタウン
- ★ ウエッキー
- 帯山
- ★ 上通
- 熊本学園
- 熊本県立大学
- 熊本市役所
- 熊本大学
- ★ 熊本大学医学部附属病院
- 熊本地方合同庁舎
- 熊本中央病院
- 県庁本館
- ★ COCOSA
- ★ 湖東
- ★ 済生会熊本病院
- ★ 桜十字病院
- ★ サテライトプラザいつわ
- サテライトプラザ県庁
- ★ サテライトプラザ保田窪
- ★ サテライトプラザ宮原
- ★ サンリブシティくまなん
- ★ サンリブしみず
- ★ JR熊本駅
- ★ 下通ファミリープラザ
- ★ シュロアモール長嶺
- 崇城大学
- 田崎市場
- ★ 中央支店駐車場内
- ★ 鶴屋
- ★ 日赤病院

- ★ ホームセンターダイキ東バイパス店
- ★ ホームセンターダイキ本山店
- ★ 本店CDコーナー
- ★ ミスターマックス熊本インター店
- ★ ミスターマックス熊本北店
- ★ 御幸田迎
- ★ ゆめタウンサンピアン
- ★ ゆめタウンはません
- ★ ゆめマート清水
- ★ ゆめマート城山
- ★ ゆめマート水前寺駅
- ★ ゆめマート新外

- ★ イオン熊本店
- ★ イオン錦店
- ★ イオンモール宇城
- ★ イオンモール熊本
- ★ イオン八代ショッピングセンター
- 宇城市役所
- ★ 宇土シティ
- 嘉島町役場
- ★ 八代市役所鏡支所
- ★ ゆめタウン八代
- ★ ゆめマート松橋

天草地区

- ★ イオン天草店
- ★ リンドモール太陽

熊本市外

城北地区

- ★ 阿蘇温泉病院
- ★ 阿蘇市役所
- ★ あらおシティモール
- 荒尾市役所
- ★ イオン大津店
- ★ イオン菊陽店
- ★ 大津町役場
- 菊池市役所
- ★ 熊本県阿蘇総合庁舎
- ★ ミスターマックス山鹿店
- ★ 山鹿市役所
- ★ ゆめタウン玉名
- ★ ゆめタウン光の森
- ★ ゆめタウン光の森南館

城南地区

- ★ 阿蘇くまもと空港

福岡県

- ★ イオンモール大牟田

●：土曜日でもご利用いただけます。(日曜日と祝日は稼働いたしません)
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

ローンセンター(熊本銀行)

熊本銀行 ローンセンター

熊本銀行では、平日にご来店できないお客さまのために、土曜日・日曜日でも住宅ローンのほか、各種ローンに関するご相談にお応えするローンセンターを設置しています。

[ローンセンター営業時間]

平日 9:00~17:00、土曜・日曜日 10:00~17:00

休業日 水曜日、祝日、年末年始(12/31~1/3)

※ただし、日曜日と祝日が重なった場合は日曜日を営業日とし、振替休日を休業日とします。

くまもとローンセンター [水前寺支店2階]

住所 熊本市中央区水前寺公園1-1

電話 096-385-2424

FAX 096-385-9344

合志ローンセンター [合志支店2階]

住所 合志市幾久富1758-292

電話 096-248-4722

FAX 096-247-4670

荒尾ローンセンター [荒尾支店1階]

住所 荒尾市大正町1-1-20

電話 0968-62-7377

FAX 0968-62-7370

※土曜日は営業していません。

八代ローンセンター [八代支店1階]

住所 八代市旭中央通り17-7

電話 0965-32-7077

FAX 0965-32-7822

※土曜日は営業していません。



店舗一覽(親和銀行)

長崎県

佐世保市

外両 代理 信託	住構 証券	★本	店	〒857-0806	佐世保市島瀬町10-12	0956-24-5115
外両 代理 信託	住構 証券	★佐世保		〒857-0863	佐世保市三浦町1-26	0956-22-4126
代理 信託	住構 証券	★大宮		〒857-0841	佐世保市大宮町3-4	0956-31-2131
外両 代理 信託	住構 証券	★浜田町		〒857-0051	佐世保市浜田町2-2	0956-22-8171
代理 信託	住構 証券	★宮田町		〒857-0032	佐世保市宮田町4-2	0956-22-8146
外両 代理 信託	住構 証券	★大野		〒857-0134	佐世保市瀬戸越4-7-19	0956-49-3736
代理 信託	住構 証券	★日野		〒858-0925	佐世保市椎木町343-1	0956-47-5111
外両 代理 信託	住構 証券	★卸本町		〒857-1162	佐世保市卸本町12-1	0956-31-4301
代理 信託	住構 証券	★相浦		〒858-0918	佐世保市相浦町1638	0956-47-3181
代理 信託	住構 証券	★日宇		〒857-1151	佐世保市日宇町708	0956-31-6101
外両 代理 信託	住構 証券	★早岐		〒859-3223	佐世保市広田3-1-4	0956-38-2101
代理 信託	住構 証券	★花高		〒859-3212	佐世保市花高1-4-20	0956-38-1101
代理 信託	住構 証券	★黒髪		〒857-1152	佐世保市黒髪町9-22	0956-32-4811
代理 信託	住構 証券	★大野中央		〒857-0134	佐世保市瀬戸越2-18-9	0956-40-9741
代理 信託	住構 証券	★吉井		〒859-6326	佐世保市吉井町立石499	0956-64-3131
代理 信託	住構 証券	★江迎		〒859-6101	佐世保市江迎町長坂144	0956-66-3161
代理 信託	住構 証券	★宇久		〒857-4901	佐世保市宇久町平3033-3	0959-57-3151
代理 信託	住構 証券	★佐世保市役所		〒857-0028	佐世保市八幡町1-10	0956-22-4217

長崎市

外両 代理 信託	住構 証券	★長崎		〒850-0876	長崎市賑町6-6	095-824-6111
外両 代理 信託	住構 証券	★大波止		〒850-0036	長崎市五島町4-16	095-822-8151
外両 代理 信託	住構 証券	★浜町		〒850-0853	長崎市浜町10-16	095-822-7151
外両 代理 信託	住構 証券	★浦上		〒852-8105	長崎市目覚町8-3	095-844-1235
外両 代理 信託	住構 証券	★住吉		〒852-8154	長崎市住吉町2-22	095-844-3164
外両 代理 信託	住構 証券	★旭町		〒852-8003	長崎市旭町6-1	095-861-5235
代理 信託	住構 証券	★馬場		〒850-0022	長崎市馬場町84-1	095-824-2500
外両 代理 信託	住構 証券	★大浦		〒850-0918	長崎市大浦町2-2	095-821-1125
代理 信託	住構 証券	★富士見町		〒852-8022	長崎市富士見町3-21	095-862-3311
代理 信託	住構 証券	★本原		〒852-8132	長崎市扇町2-20	095-847-2412
代理 信託	住構 証券	★野母		〒851-0505	長崎市野母町2152	095-893-1121
代理 信託	住構 証券	★滑石		〒852-8061	長崎市滑石5-2-25	095-856-3711
外両 代理 信託	住構 証券	★東長崎		〒851-0133	長崎市矢上町8-21	095-839-2425
代理 信託	住構 証券	★西町		〒852-8042	長崎市白鳥町3-28	095-846-1132
代理 信託	住構 証券	★葉山		〒852-8053	長崎市葉山1-5-1	095-856-1756
代理 信託	住構 証券	★新戸町		〒850-0954	長崎市新戸町2-6-17	095-879-2030
代理 信託	住構 証券	★平和町		〒852-8116	長崎市平和町5-25	095-848-5591
外両 代理 信託	住構 証券	★深堀		〒851-0301	長崎市深堀町1-145-24	095-871-0331
代理 信託	住構 証券	★長崎漁港		〒851-2211	長崎市京泊3-10-19	095-850-3591
代理 信託	住構 証券	★日見		〒851-0121	長崎市宿町31-1	095-839-3413
代理 信託	住構 証券	★チトセピア		〒852-8135	長崎市千歳町5-1	095-848-1011
代理 信託	住構 証券	★県庁		〒850-0058	長崎市尾上町3-1	095-821-3095
代理 信託	住構 証券	★長崎市役所		〒850-0031	長崎市桜町2-22	095-825-2529

※自動サービスコーナーの稼働状況は次のとおりです。
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

外両：外貨両替取扱店
代理：福岡銀行の銀行代理業務取扱店
住構：住宅金融支援機構業務取扱店
信託：信託業務取扱店
証券：証券仲介業務取扱店

西海市

外商	代理	住構	★大瀬戸	〒857-2302 西海市大瀬戸町瀬戸豊浦郷2278-28	0959-22-0003
	信託	証券			
	代理	住構	★大崎	〒857-2427 西海市大島町1850-2	0959-34-2045
	信託	証券			
	代理	住構	★大串	〒851-3305 西海市西彼町娘場郷130-11	0959-27-1860
	信託	証券			

西彼杵郡

外商	代理	住構	★時津	〒851-2105 西彼杵郡時津町浦郷260-2	095-882-2111
	信託	証券			
	代理	住構	★長与	〒851-2126 西彼杵郡長与町吉無田郷412-1	095-883-4111
	信託	証券			

諫早市

外商	代理	住構	★諫早	〒854-0025 諫早市八坂町2-1	0957-22-0300
	信託	証券			
	代理	住構	★諫早駅前	〒854-0071 諫早市永昌東町17-1	0957-22-5811
	信託	証券			
	代理	住構	★多良見	〒859-0401 諫早市多良見町化屋710-1	0957-43-1151
	信託	証券			
	住構	★西諫早	〒854-0074 諫早市山川町1-5	0957-26-8000	
	信託	証券			
外商	代理	住構	★諫早中核団地	〒854-0065 諫早市津久葉町5-116	0957-26-7000
	信託	証券			

島原市

外商	代理	住構	★島原	〒855-0805 島原市堀町180	0957-62-4111
	信託	証券			
	住構	★島原湊	〒855-0822 島原市中組町1	0957-62-3221	
	信託	証券			

雲仙市

	代理	住構	★吾妻	〒859-1107 雲仙市吾妻町牛口名692-1	0957-38-3115
	信託	証券			
	代理	住構	★国見	〒859-1306 雲仙市国見町神代己352-1	0957-78-3232
	信託	証券			
	住構	★千々石	〒854-0405 雲仙市千々石町戊237-1	0957-37-3131	
	信託	証券			

南島原市

	代理	住構	★深江	〒859-1504 南島原市深江町丁2160-1	0957-72-3511
	信託	証券			
	代理	住構	★南島原	〒859-2206 南島原市有家町中須川155	0957-82-3111
	信託	証券			
	代理	住構	★口之津	〒859-2502 南島原市口之津町甲2162	0957-86-3211
	信託	証券			

大村市

外商	代理	住構	★大村	〒856-0826 大村市東三城町4-2	0957-52-2111
	信託	証券			
	代理	住構	★竹松	〒856-0804 大村市大川田町958	0957-55-7104
	信託	証券			
	住構	★西大村	〒856-0814 大村市松並1-109-1	0957-52-3191	
	信託	証券			

東彼杵郡

	代理	住構	★彼杵	〒859-3808 東彼杵郡東彼杵町蔵本郷1878-1	0957-46-0010
	信託	証券			
	代理	住構	★川棚	〒859-3608 東彼杵郡川棚町栄町56	0956-82-3141
	信託	証券			
	代理	住構	★波佐見	〒859-3715 東彼杵郡波佐見町宿郷字宿632-3	0956-85-3010
	信託	証券			

平戸市

	代理	住構	★平戸	〒859-5112 平戸市宮の町572	0950-23-2121
	信託	証券			
	代理	住構	★田平	〒859-4825 平戸市田平町山内免282	0950-57-0501
	信託	証券			
	代理	住構	★生月	〒859-5703 平戸市生月町里免3021-1	0950-53-2121
	信託	証券			

松浦市

外商	代理	住構	★松浦	〒859-4502 松浦市志佐町里免栗毛田342-1	0956-72-0131
	信託	証券			

北松浦郡

- 代理 信託 住構 証券 ★ 佐々 々 〒857-0311 北松浦郡佐々町本田原免187-5 0956-62-2111
- 信託 住構 小 値 賀 〒857-4701 北松浦郡小値賀町苗吹郷1887 0959-56-3151

五島市

- 外画 代理 信託 住構 ★ 福 江 〒853-0017 五島市武家屋敷3-4-1 0959-72-2151

南松浦郡

- 代理 信託 住構 ★ 新 上 五 島 〒857-4404 南松浦郡新上五島町青方郷1110-39 0959-52-2017

壱岐市

- 外画 代理 信託 住構 ★ 壱 岐 中 央 〒811-5132 壱岐市郷ノ浦町東船643-5 0920-47-1150

対馬市

- 外画 代理 信託 住構 ★ 対 馬 〒817-0021 対馬市厳原町今屋敷681 0920-52-7600

福岡県

福岡市近郊

- 外画 代理 信託 住構 証券 ★ 福 岡 〒810-8734 福岡市中央区西中洲6-27 092-731-0091
- 外画 代理 信託 住構 証券 ★ 西 新 〒814-0005 福岡市早良区祖原1-9 092-841-2636
- 代理 信託 住構 証券 ★ 塩 原 〒815-0035 福岡市南区向野2-2-15 092-512-3211

久留米市

- 外画 代理 信託 住構 証券 ★ 久 留 米 〒830-0031 久留米市六ツ門町2-1 0942-33-8341

北九州市

- 外画 代理 信託 住構 証券 ★ 小 倉 〒802-0006 北九州市小倉北区魚町2-6-10 093-521-1481

長崎県外・福岡県外

- 代理 信託 住構 証券 ★ 伊 万 里 〒848-0047 伊万里市伊万里町甲366 0955-22-2121
- 代理 信託 住構 証券 ★ 嬉 野 〒843-0301 嬉野市嬉野町大字下宿乙928-1 0954-42-1139
- 外画 代理 信託 住構 証券 ★ 佐 賀 中 央 〒840-0824 佐賀市呉服元町3-12 0952-23-5161
- 代理 信託 住構 証券 ★ 武 雄 〒843-0024 武雄市武雄町大字福岡7754-4 0954-23-2161
- 信託 住構 ★ 鹿 島 〒849-1311 鹿島市大字高津原3981-1 0954-62-2181
- 代理 信託 住構 証券 ★ 唐 津 〒847-0054 唐津市米屋町1656 0955-74-4144
- 代理 信託 住構 証券 ★ 東 京 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-7 福岡ビル2階 03-3277-2600

その他

- 代理 代理 ※ 電話受付センター 〒857-0051 佐世保市浜田町2-2 (浜田町ビル) 0956-76-8034

※ 福岡銀行・熊本銀行の受電業務に関する銀行代理業務取扱店

- 信託 代理 証券 営業推進部 〒857-0806 佐世保市島瀬町10-12 0956-23-3603
- 〒850-0876 長崎市賑町6-6 095-824-6168

- 信託 代理 証券 ソリューション営業部 〒857-0806 佐世保市島瀬町10-12 0956-23-3607
- 〒850-0876 長崎市賑町6-6 095-824-6164

店 舗 (2019年6月30日現在)	
長 崎 県	76 (本店1 支店75)
福 岡 県	5 (支店5)
九州域内の 長崎・福岡県外	6 (支店6)
九 州 域 外	1 (支店1)
合 計	88 (本店1 支店87)
(支店には、振込管理専用支店1を含む)	
現金自動設備設置台数	
ATM (現金自動預入支払機)	519台
うち店舗外	256台
CD (現金自動支払機)	0台
うち店舗外	0台
為替振込機	0台
うち店舗外	0台
合計	519台
うち店舗外	256台
(2019年6月30日現在)	

●店舗・ATMについての詳細は、ホームページをご覧ください。

親和銀行 <https://www.shinwabank.co.jp>

※自動サービスコーナーの稼働状況は次のとおりです。
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

外画：外貨両替取扱店 (取扱通貨は店舗によって異なります)
代理：福岡銀行の銀行代理業務取扱店 (取扱商品は店舗によって異なります)
信託：信託業務取扱店
証券：証券仲介業務取扱店
住構：住宅金融支援機構業務取扱店

店舗外自動サービスコーナー(親和銀行)

長崎県

佐世保市

- ★ 佐世保玉屋
- ★ 佐世保市総合医療センター
- 佐世保共済病院
- ★ 俵町商店街
- ★ エレナ山祇店
- トゥインクル西沢
- ★ 京坪
- 万津町
- ★ 京町
- ★ 佐世保駅
- ★ コメダ珈琲店佐世保駅前店
- ★ させば五番街
- ★ 佐世保中央病院
- ★ 天神
- ★ エレナ名切店
- 赤崎
- ★ エレナminiサンクル店
- ★ マックスバリュ池野店
- ★ ダイレックス・まつばや矢峰店
- 長崎労災病院
- ★ エレナ吉岡店
- ★ マックスバリュ中里店
- ★ エレナ大野店
- ★ ララプレイス佐世保
- ★ まるたかもみじが丘店
- ★ 大塔
- ★ ホームセンターコーナン大塔店
- ★ イオン大塔店
- ★ まつばや相浦店

- ★ エレナ相浦店
- ★ 上相浦
- ★ マックスバリュ白岳店
- ★ イオン佐世保白岳店
- ★ 三川内
- ★ まるたか早岐店(休業中)
- ★ エレナ早岐店
- ★ マックスバリュ早岐店
- ★ エレナ広田店
- ★ ハウステンボス入国棟
- ★ マルキョウ早岐店
- ★ 長崎国際大学
- 万徳町
- 小佐々
- ★ まつばや吉井店
- 徳田病院
- ★ 世知原
- ★ まつばや江迎店
- 鹿町

長崎市

- 住友生命ビル
- ★ 浜屋百貨店
- ★ 有川ビル
- ★ メルカつきまち
- ★ 夢彩都
- ★ アミュプラザ長崎
- ★ ホテルニュー長崎
- ★ 長崎みなとメディカルセンター
- 活水学院
- ★ マックスバリュ南長崎店

- 高島
- ★ エレナ上小島店
- ★ ララプレイス愛宕
- ★ 浜町商店街
- ★ 観光通り電停前
- 三菱重工業長崎造船所
- ★ 飽の浦
- ★ フレスポ福田
- 三菱電機長崎製作所
- ★ 稲佐
- ★ 新大工町
- ★ エレナ小江原店
- ★ まるたか小江原店
- ★ マックスバリュメルクス長崎店
- ★ 城山
- ★ LaLaなめし
- ★ 西友道の尾店
- ★ 道ノ尾病院
- ★ マックスバリュ矢上団地店
- ★ LaLa矢上
- ★ エレナ日見店
- ★ イオン東長崎店
- ★ コスモスダイヤランド店
- ★ 長崎県庁行政棟内
- 長崎市役所別館
- ★ みらい長崎店
- ★ 長崎大学病院
- ★ 長崎大学
- ★ 香焼
- ★ エレナ三和店

- ★ がんぱランド

- ★ マックスバリュ琴海店

西海市

- 大島造船所
- 崎戸
- ★ エレナ西海店
- ★ 西海
- ★ 西彼総合支所
- ★ スーパーウエスト本店

西彼杵郡

- 三菱電機時津工場
- ★ イオン時津店
- ★ 長崎百合野病院
- 時津町役場
- ★ マルキョウ時津店
- ★ 青雲学園
- ★ ミスターマックス時津店
- ★ 日並
- ★ エレナ長与店
- ★ マックスバリュ長与店
- ★ LaLaながよ
- 長与町役場
- ★ イオンタウン長与

福岡県

諫早市	大村市	北松浦郡	福岡市近郊
★ 福田町	★ マックスバリュ溝陸店	★ マックスバリュ佐々店	春日市役所共同
諫早市役所	★ 長崎空港	佐々町役場	糸島市役所共同
★ まるたか幸町店	★ サンスパおおむら	★ エレナ佐々店	
★ もみのき村	大村市民病院	佐々ショッピングデパート	
★ なかよし村有喜店	大村市役所		
★ エレナ高来店	★ 国立病院長崎医療センター	五島市	
諫早総合病院	★ エレナ久原店	五島市役所	
★ エレナアゼリア店	★ イオン大村店	★ ゲオ福江店	
★ ソーセミコンダクタ長崎テクノロジーセンター	★ マックスバリュ大村諏訪店	三井楽	
★ マルキョウウ山台店	★ 市民交流プラザ	奈留	
★ マックスバリュ長崎インター店	★ TSUBAKIYA大村店	★ 新栄町通り商店街	
島原市	★ LaLa 富の原	南松浦郡	
★ エレナ島原店	★ まるたか富の原店	新上五島町役場 若松支所	
島原市役所 (休業中)	★ かとりストアー	★ 奈良尾	
★ イオン島原店	★ マックスバリュ空港通り店	★ エレナFC有川店	
★ 島原ショッピングモールウィルビー	★ エレナ大村中央店	上五島病院	
★ エレナ島原栄町店	東彼杵郡	新上五島町役場	
★ まるたか有明店	★ エレナ川棚店	★ 浦桑ショッピングプラザ	
雲仙市	★ エレナ波佐見店	壱岐市	
★ 雲仙	平戸市	★ マルエー郷ノ浦店	
★ 小浜	★ マルセイ中部店	★ ニューイチャマ店	
★ 南串山	★ 館浦	★ 壱岐ショッピングセンター	
★ エレナ国見店	松浦市	対馬市	
★ 愛野	松浦鷹島	★ スーパーサイキ美津島店	
● 愛野記念病院	★ ハイマート松浦店	佐賀県	
南島原市	松浦市役所	★ エレナ嬉野店	
布津	★ 御厨	伊万里市役所	
★ 西有家ショッピングセンターCREA		● 済生会唐津病院	
★ 有家ツインプラザ			

●：土曜日もご利用いただけます。(日曜日と祝日は稼働いたしません)
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

ローンセンター(親和銀行)

親和銀行・十八銀行ローンセンター

ローンセンターでは、豊富な業務知識と経験を持つ専門スタッフが住宅取得に関わる資金計画等のご相談にわかりやすくお応えします。また平日の時間延長や土曜日、日曜日の営業も行っています。

[ローンセンター営業時間]

平日および土曜日・日曜日 10:00~18:00

(定休日:祝日、正月3が日および5月3日~5日、12月31日)

佐世保ローンセンター

住所 佐世保市三浦町1-26 (FFG佐世保ビル3F)

TEL 0120-45-4862

FAX 0956-22-4837

長崎ローンセンター

住所 長崎市賑町6-6 (長崎営業部2F)

TEL 0120-74-4862

FAX 095-824-3355

大村ローンセンター

住所 大村市東三城町4-2 (大村支店2F)

TEL 0120-48-6279

FAX 0957-53-3153

諫早ローンセンター

住所 諫早市八坂町2-1 (諫早支店2F)

TEL 0120-18-1503

FAX 0957-21-6318



(2019年7月16日現在)

※2019年7月16日より、ローンセンターでは親和銀行・十八銀行どちらのローンもお取扱いいたします。

店舗一覧(十八銀行)

長崎県

長崎市

外画	住構	★	本	店	〒850-0841	長崎市銅座町1番11号	095-824-1818		
	住構		県	庁	〒850-0058	長崎市尾上町3番1号	095-822-7096		
	住構		長崎市役所		〒850-0031	長崎市桜町2番22号	095-823-1824		
外画	住構	証券	★	北	〒850-0057	長崎市大黒町14番5号	095-825-1800		
	住構		★	稲	佐	〒852-8004	長崎市丸尾町1番1号	095-861-9181	
	住構		★	稲佐中央通	〒852-8008	長崎市曙町13番5号	095-861-1036		
外画	住構		★	浦	上	〒852-8116	長崎市平和町10番8号	095-844-4121	
外画	住構		★	大学病院前	〒852-8102	長崎市坂本1丁目5番2号	095-845-7175		
	住構		★	城	山	〒852-8034	長崎市城栄町13番10号	095-845-6211	
			★	小江原(出)	〒851-1132	長崎市小江原2丁目41番25号	095-845-3685		
	住構		★	本	原	〒852-8133	長崎市本原町3番19号	095-845-4135	
	住構		★	昭	和	町	〒852-8131	長崎市文教町9番7号	095-848-1818
外画	住構	証券	★	住	吉	〒852-8155	長崎市中園町1番6号	095-844-1221	
	住構			大	橋	〒852-8134	長崎市大橋町8番28号	095-845-2108	
	住構		★	滑	石	〒852-8061	長崎市滑石5丁目1番50号	095-856-1818	
	住構		★	道の尾	〒852-8053	長崎市葉山1丁目3番10号	095-857-2001		
	住構		★	長崎漁港	〒851-2211	長崎市京泊3丁目9番20号	095-850-3518		
	住構		★	新大工町	〒850-0017	長崎市新大工町6番21号	095-822-6141		
	住構		●	桜	町	〒850-0031	長崎市桜町4番1号	095-822-9148	
	住構		★	観光通	〒850-0852	長崎市万屋町3番17号	095-822-3233		
外画	住構	証券	★	思案橋	〒850-0832	長崎市油屋町1番1号	095-826-4281		
	住構		★	田	上	〒851-0251	長崎市田上2丁目7番1号	095-824-2181	
	住構		★	大	浦	〒850-0918	長崎市大浦町9番24号	095-822-7171	
	住構		★	戸	町	〒850-0952	長崎市戸町4丁目1番15号	095-878-5121	
	住構		★	新	戸	町	〒850-0954	長崎市新戸町2丁目9番3号	095-879-5333
外画	住構		★	深	堀	〒851-0301	長崎市深堀町1丁目161番地33	095-871-3161	
	住構			茂	木	〒851-0241	長崎市茂木町1590番地54	095-836-0018	
外画	住構		★	東	長	崎	〒851-0133	長崎市矢上町20番8号	095-838-2121

住構	★	日	見	〒851-0121	長崎市宿町40番地1	095-839-7118	
住構		三	和	町	〒851-0403	長崎市布巻町111番地1	095-892-1815
住構		野	母	〒851-0505	長崎市野母町2151番地6	095-893-1818	
住構	★	琴	海	〒851-3102	長崎市琴海村松町704番地12	095-884-2518	

西彼杵郡

住構	★	時	津	〒851-2105	西彼杵郡時津町浦郷303番地1	095-882-3480
住構	★	長	与	〒851-2128	西彼杵郡長与町郷里郷461番地	095-883-5111

西海市

住構	★	大	瀬	戸	〒857-2302	西海市大瀬戸町瀬戸椋浦郷2253番地	0959-23-3318
----	---	---	---	---	-----------	--------------------	--------------

佐世保市

外画	住構	証券	佐	世	保	〒857-0052	佐世保市松浦町2番13号	0956-24-1818
			佐世保市役所(出)	〒857-0028	佐世保市八幡町1番10号	0956-22-1855		
外画	住構		★	佐世保駅前	〒857-0863	佐世保市三浦町1番6号	0956-22-7181	
外画	住構		★	早	岐	〒859-3215	佐世保市早岐1丁目2番22号	0956-38-3218
			★	権常寺(出)	〒859-3214	佐世保市権常寺1丁目4番10号	0956-39-1818	
	住構		★	佐世保俵町	〒857-0016	佐世保市俵町11番5号	0956-22-0018	
	住構		★	大	宮	〒857-0841	佐世保市大宮町18番18号	0956-31-8181
	住構		★	大	野	〒857-0134	佐世保市瀬戸越4丁目11番13号	0956-49-7100
外画	住構		★	大	塔	〒857-1161	佐世保市大塔町1866番地1	0956-31-1818
	住構		★	日	野	〒858-0923	佐世保市日野町1874番地1	0956-28-2418

平戸市

住構	★	平	戸	〒859-5113	平戸市木引田町459番地	0950-23-2181
----	---	---	---	-----------	--------------	--------------

北松浦郡

住構	★	佐	々	〒857-0312	北松浦郡佐々町市場52番地	0956-62-2918
----	---	---	---	-----------	---------------	--------------

松浦市

住構	★	松	浦	〒859-4501	松浦市志佐町浦免1489番地1	0956-72-4118
----	---	---	---	-----------	-----------------	--------------

※自動サービスコーナーの稼働状況は次のとおりです。
 ●：土曜日でもご利用いただけます。(日曜日と祝日は稼働いたしません)
 ★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

(出)：出張所

外画：外貨両替取扱店
 住構：住宅金融支援機構業務取扱店(フラット35のお取り扱い可)
 証券：証券仲介業務取扱店
(取扱通貨は店舗によって異なります)

東彼杵郡

- 住構** ★ 波 佐 見 〒859-3711 東彼杵郡波佐見町井石郷 0956-2228番地1 85-3018
- 住構** ★ 川 棚 〒859-3608 東彼杵郡川棚町栄町34番地 0956-83-3118
- 住構** ★ 東 彼 杵 〒859-3808 東彼杵郡東彼杵町蔵本郷 0957-1714番地3 47-0088

諫早市

- 外函** **住構** ★ 諫 早 〒854-0012 諫早市本町5番1号 0957-23-1818
- 住構** ★ 諫 早 駅 前 〒854-0071 諫早市永昌東町2番20号 0957-23-0018
- 住構** ★ 西 諫 早 〒854-0074 諫早市山川町1番地5 0957-26-1800
- 住構** 貝 津 〒854-0063 諫早市貝津町1659番地5 0957-25-1881
- 住構** ★ 東 諫 早 〒854-0001 諫早市福田町5番11号 0957-22-7788
- 住構** ★ 多 良 見 町 〒859-0401 諫早市多良見町化屋1882番地 0957-43-1818
- 住構** ★ 飯 盛 〒854-1112 諫早市飯盛町開1925番地3 0957-48-1858
- 住構** 高 来 〒859-0132 諫早市高来町三部巻291番地1 0957-32-2018

大村市

- 外函** **住構** ★ 大 村 〒856-0832 大村市本町397番地8 0957-52-3171
- ★ 諏 訪 (出) 〒856-0024 大村市諏訪2丁目520番地3 0957-53-0118
- 住構** ★ 西 大 村 〒856-0814 大村市松並1丁目283番地6 0957-53-4171
- 住構** ★ 竹 松 〒856-0811 大村市原口町642番地1 0957-55-8811

島原市

- 外函** **住構** ★ 島 原 〒855-0805 島原市堀町192番地 0957-62-2181
- 住構** ★ 湊 〒855-0825 島原市広馬場町390番地 0957-62-3181
- 住構** 有 明 〒859-1415 島原市有明町大三東戊1349番地5 0957-68-1118

雲仙市

- 住構** ★ 愛 野 〒854-0302 雲仙市愛野町乙558番地2 0957-36-0006
- 住構** ★ 瑞 穂 〒859-1206 雲仙市瑞穂町西郷辛1053番地3 0957-77-3818
- 住構** 国 見 〒859-1322 雲仙市国見町多比良乙143番地 0957-78-2118
- 住構** ★ 小 浜 〒854-0514 雲仙市小浜町北本町905番地12 0957-74-3181
- ★ 南 串 山 (出) 〒854-0703 雲仙市南串山町丙10340番地1 0957-88-3838

南島原市

- 住構** ★ 深 江 〒859-1503 南島原市深江町丙62番地4 0957-72-6118
- 住構** ★ 有 家 〒859-2202 南島原市有家町山川1133-4 0957-82-3018
- 北 有 馬 (出) 〒859-2305 南島原市北有馬町戊2743番地9 0957-84-3118
- 住構** 西 有 家 〒859-2212 南島原市西有家町須川492番地1 0957-82-1818
- 住構** ★ 有 馬 〒859-2412 南島原市南有馬町乙941番地 0957-85-3118
- 住構** ★ 口 之 津 〒859-2502 南島原市口之津町甲1651番地 0957-86-2118
- 住構** ★ 加 津 佐 〒859-2601 南島原市加津佐町己3173番地 0957-87-2018

五島市

- 外函** **住構** ★ 福 江 〒853-0002 五島市中央町5番地9 0959-72-2131
- 富 江 (出) 〒853-0201 五島市富江町富江303番地2 0959-86-2155

南松浦郡

- 住構** ★ 上 五 島 〒857-4404 南松浦郡新上五島町青方郷 0959-1372番地17 52-3456

壱岐市

- 外函** **住構** ★ 壱 岐 〒811-5135 壱岐市郷ノ浦町郷ノ浦59番地1 0920-47-0018
- 芦 辺 (出) 〒811-5301 壱岐市芦辺町芦辺浦277番地1 0920-45-1218

対馬市

- 外函** **住構** ★ 対 馬 〒817-0021 対馬市厳原町今屋敷684番地2 0920-52-0018
- ★ 美 津 島 (出) 〒817-0322 対馬市美津島町鶏甲442番地1 0920-54-4418
- 住構** ★ 豊 玉 〒817-1201 対馬市豊玉町仁位1317番地1 0920-58-0118
- 住構** ★ 比 田 勝 〒817-1701 対馬市上対馬町比田勝839番地 0920-86-2056

長崎県外

福岡

外貨	住構	● 福	岡	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通2丁目1番10号	092-761-5765		
	住構		博	多	〒812-0024	福岡市博多区綱場町8番27号	092-281-1331	
	住構		東	福	岡	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目11番1号	092-411-0018
	住構		西	福	岡	〒814-0011	福岡市早良区高取1丁目1番40号	092-843-2818
	住構		大	野	城	〒816-0935	大野城市錦町2丁目3番5号	092-574-1718
	住構		久	留	米	〒830-0045	久留米市小頭町12番地12	0942-32-1618
	住構		北	九	州	〒802-0005	北九州市小倉北区赤坂1丁目2番16号	093-521-6281

熊本・下関・大阪・東京

住構	熊	本	〒860-0806	熊本市中央区花畑町9番24号	096-354-4541
	下	関	〒750-0018	下関市豊前田町2丁目7番13号	083-223-4131
	大	阪	〒542-0086	大阪市中央区西心斎橋2丁目1番5号 日本生命御堂筋八幡町ビル2階	06-6213-7118
	東	京	〒103-0027	東京都中央区日本橋2丁目3番 4号日本橋プラザビル6階	03-5200-0630

店舗 (2019年7月1日現在)

長崎県 89 (本店1 支店79 出張所9)

福岡県 7 (支店7)

九州域内の
長崎・福岡県外 1 (支店1)

九州域外 3 (支店3)

合計 100 (本店1 支店90 出張所9)

(支店には、振込専用支店1、インターネット専用支店1を含む)

現金自動設備設置台数

ATM(現金自動預入支払機)	462台
うち店舗外	196台
CD(現金自動支払機)	0台
うち店舗外	0台
為替振込機	0台
うち店舗外	0台
合計	462台
うち店舗外	196台

(2019年7月1日現在)

●店舗・ATMについての詳細は、ホームページをご覧ください。

18bank 十八銀行 <https://www.18bank.co.jp/>

※自動サービスコーナーの稼働状況は次のとおりです。

- ：土曜日もご利用いただけます。(日曜日と祝日は稼働いたしません)
- ★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

(出)：出張所

外貨：外貨両替取扱店
(取扱通貨は店舗によって異なります)

住構：住宅金融支援機構業務取扱店（フラット35のお取り扱い可）

証券：証券仲介業務取扱店

店舗外自動サービスコーナー(十八銀行)

長崎市

長崎市

★ 浜町アーケード	★ ジョイフルサン木鉢店	★ 矢上団地	★ えきマチ1丁目佐世保
★ ベルナード観光通り	★ 飽の浦	★ LaLa矢上	★ させぼ五番街
★ 長崎バスターミナル	三菱重工業長崎造船所	★ 三和地域センター	★ イオン佐世保白岳店
★ 長崎みなとメディカルセンター	★ フレスポ福田	三和中央病院	★ マックスバリュ白岳店
広馬場	もりまちハートセンター		★ まるたかもみじが丘店
★ メットライフ生命長崎ビル	★ 長崎原爆病院	★ イオン時津店	★ イオン大塔店
★ エレナ上小島店	★ みらい長崎	三菱電機時津工場	★ エレナ大塔店
★ ララブレイス愛宕	HCS長崎ビル	時津町役場	★ マックスバリュ早岐店
★ まるたか矢の平店	★ 宝栄町	★ ミスターマックス時津店	★ エレナ広田店
長崎女子短期大学	★ マックスバリュメルクス長崎	★ マックスバリュ時津店	★ ハウステンボス
★ メルカつきまち	★ 長崎大学病院	長崎北病院	★ エレナ大野店
住友生命ビル	★ 純心大学	長崎学院	長崎労災病院
★ 夢彩都	★ まるたか小江原店	★ LaLaながよ	★ マックスバリュ池野店
済生会長崎病院	★ まるたか西町店	長与町役場	★ ダイレックス・まつばや矢峰店
★ コスモスダイヤモンド店	★ 長崎大学	★ マルキョウ長与店	★ マックスバリュ中里店
★ マックスバリュ南長崎店	★ 聖フランシスコ病院	★ 大門サニーピア店	★ ララブレイス佐世保
★ ジョイフルサン江川店	★ ジョイフルサン本原店	★ マックスバリュ長与店	★ エレナ相浦店
★ フレスポ深堀	★ 千歳	★ ウエルタウン長与	★ まつばや江迎店
長崎記念病院	★ LaLaなめし	★ イオンタウン長与	★ まつばや吉井店
★ バリュース平山店	★ 横尾		
★ 馬町	★ 西友道の尾店	西海市	平戸市
長崎市役所別館	★ 道ノ尾病院	★ 西彼総合支所	★ たけだスピリッツ
★ 旧公会堂前	★ ダンクユー光風台店	★ エレナ西海店	★ フレッシュマートアリーナ
★ 長崎駅前商店街	★ がんばランド	★ 大島造船所	
★ 宝町	★ マックスバリュ琴海店		北松浦郡
★ 長崎県庁行政棟内	卸センター	佐世保市	★ マックスバリュ佐々店
★ アミュプラザ長崎	● 中央市場	佐世保市役所本庁舎内	佐々町役場
	★ イオン東長崎店	★ サンブラザ商店街	
		★ 島瀬	東彼杵郡
		★ 京坪	★ 大川ストアー
			★ エレナ川棚店

- ★ エレナ波佐見店
- 長崎キャノン
- 諫早市**
- 諫早市役所
- 諫早総合病院
- ★ エレナアゼリア店
- ★ まるたか幸町店
- ★ アクロスプラザ諫早
- ★ ソニーセミコンダクタ九州Fab
- ★ マックスバリュ長崎インター店
- ★ まるたか多良見店
- ★ なかよし村有喜店
- ★ HIヒロセ諫早バイパス店
- ★ まるたか小野店
- 森山
- ★ エレナ高来店
- ★ 小長井
- 大村市**
- ★ マックスバリュ溝陸店
- ★ 長崎医療センター
- ★ エレナ久原店
- 大村市役所
- ★ イオン大村店
- ★ 大村駅
- ★ エレナ大村中央店
- ★ 長崎空港
- ★ マックスバリュ空港通り店
- ★ マックスバリュ大村諏訪店

- ★ まるたか池田店
- ★ LaLa富の原
- ★ まるたか富の原店
- ★ エレナ竹松店
- ★ TSUBAKIYA大村店
- SUMCO TECHXIV長崎工場
- 島原市**
- 島原市役所(休業中)
- ★ 島原ショッピングモールウィルビー
- ★ エレナ島原店
- ★ まるたか有明店
- 雲仙市**
- 雲仙市役所
- ★ エレナ国見店
- ★ フーズビーブル千々石店
- ★ 大門小浜マリーナ店
- ★ 雲仙
- 南島原市**
- ★ 有家ツインプラザ
- ★ 西有家ショッピングセンターCREA
- ★ 北有馬パロス
- ★ 口之津ショッピングセンターサンピア
- 五島市**
- 五島市役所
- ★ ビッグヒライ
- 南松浦郡**
- 新上五島町役場
- ★ 浦 桑

- 壱岐市**
- ★ マルエー郷ノ浦店
- ★ スーパーヤマグチ
- ★ 壱岐ショッピングセンター
- ★ マリンバル壱岐
- 対馬市**
- ★ 峰
- ★ 佐須奈

長崎県外
佐田病院

●：土曜日でもご利用いただけます。(日曜日と祝日は稼働いたしません)
★：土曜日、日曜日と祝日もご利用いただけます。

ローンセンター・保険プラザ(十八銀行)

親和銀行・十八銀行ローンセンター

ローンセンターでは、豊富な業務知識と経験を持つ専門スタッフが住宅取得に関わる資金計画等のご相談にわかりやすくお応えします。また平日の時間延長や土曜日、日曜日の営業も行っています。

[ローンセンター営業時間]

平日および土曜日・日曜日 10:00~18:00

(定休日:祝日、正月3が日および5月3日~5日、12月31日)

長崎ローンセンター 住所 長崎市賑町6-6(親和銀行長崎営業部2F) TEL 0120-74-4862 FAX 095-824-3355	佐世保ローンセンター 住所 佐世保市三浦町1-26(FFG佐世保ビル3F) TEL 0120-45-4862 FAX 0956-22-4837
諫早ローンセンター 住所 諫早市八坂町2-1(親和銀行諫早支店2F) TEL 0120-18-1503 FAX 0957-21-6318	大村ローンセンター 住所 大村市東三城町4-2(親和銀行大村支店2F) TEL 0120-48-6279 FAX 0957-53-3153

(2019年7月16日現在)

※十八銀行ローンプラザは2019年7月16日より、親和銀行と同じ拠点で営業を行います。

※新たなローンセンターでは親和銀行・十八銀行、どちらのローンもお取扱いいたします。

保険プラザ

保険のプロが、さまざまな保険会社から、お客さまのライフプランに合わせてオーダーメイドの保険プランづくりをお手伝いいたします。平日は夕方6時まで営業(除く水曜日)、土曜日・日曜日・祝日も営業しております。

[保険プラザ営業時間]

平日(水曜日を除く)・土曜日・日曜日・祝日 10:00~18:00

(定休日:水曜日、正月3が日および5月3日~5日、12月31日)

保険プラザ長崎 住所 長崎市銅座町1-11(十八銀行本店内2F) TEL 0120-180-107	保険プラザ佐世保 住所 佐世保市大塔町18-18 2F (イオン大塔ショッピングセンター敷地内) TEL 0120-180-127
--	---

[わたしたちのお客さまとの約束]

あなたのいちばんに。

いちばん身近な銀行

お客さまの声に親身に心から耳を傾け、対話し、共に歩みます。

いちばん頼れる銀行

豊富な知識と情報を活かし、お客さま一人ひとりに最も適したサービスを提供します。

いちばん先を行く銀行

金融サービスのプロ集団として、すべての人の期待を超える提案を続けます。

